

公立大学法人宮城大学
業務実績報告書
附属資料

(令和6年度)
【事業年度評価】

(令和3年度～令和6年度)
【中期目標期間暫定評価】

令和7年6月
公立大学法人宮城大学

I 法人の基礎的数値・中期計画に数値目標を掲げている項目等(6年間程度の推移が分かるもの)	
第1 教育研究の質向上に関する数値	
1 教育	
(1) 入学者の受入	
イ 学士課程	
① 志願倍率	P 5
② 実質競争倍率	P 5
③ 入学率	P 6
④ 県内高校生の入学者比率	P 6
⑤ 入学者の定員超過率	P 6
⑥ 本学を第一志望とする入学者数の割合〔指標〕	P 7
⑦ 社会人入学者	P 7
⑧ 研究生等入学者	P 7
ロ 大学院課程	
① 志願倍率	P 8
② 実質競争倍率	P 8
③ 入学率	P 9
④ 入学者の定員充足率〔指標〕	P 9
⑤ 社会人入学者	P 10
⑥ 研究生等入学者	P 10
(2) 教育の内容等	
イ 学士課程	
① 学生の状況	P 11
② 学生満足度調査の回収率	P 12
③ 期間中の地域連携型実践教育科目履修者（アソシエイト取得者）総数〔指標〕	P 12
④ 地域連携型実践教育科目履修者の自己評価〔指標〕	P 12
ロ 大学院課程	
① 学生の状況	P 13
(3) 教育実施体制等	
ロ 教員・教員組織	
① 専任教員	P 14
② 非常勤講師等	P 15
③ 専任教員の担当科目比率	P 16
④ 教員採用時の公募制実施率	P 16
⑤ 教員選考時のプレゼンテーション実施率	P 16
⑥ 教員比率	P 16
⑦ 授業評価の科目実施率	P 17
⑧ 対象科目に係る授業評価の実施率	P 17
⑨ 学生の授業評価の回答率	P 17
⑩ 教員のFD参加率	P 17
(4) 学生への支援	
イ 学修・生活支援	
① 学生の休学率・退学率	P 18
② 生活支援	P 18
③ 経済的支援（奨学金受入）	P 18
④ 経済的支援（授業料減免）	P 19
ロ キャリア形成支援	
① 卒業生就職率（学群）〔指標〕	P 20
② 卒業者に対する就職者の割合（学群）	P 20
③ 卒業者に対する進学者の割合（学群）	P 21

④ 県内就職者比率（学群）	P 22
⑤ 国家資格試験合格率（看護師・保健師）〔指標〕	P 23
⑥ 各種免許資格取得者数（養護教諭（一種））	P 23
⑦ 就職支援	P 23
⑧ 就職率（大学院）	P 24
⑨ 修了者に対する就職者の割合（大学院）	P 24
⑩ 県内就職者比率（大学院）	P 25
2 研究	
（1）研究水準（研究成果）の状況及び教員一人あたりの研究成果発表件数〔指標〕	P 26
（2）外部研究資金の受入状況〔指標〕	P 28
（3）科学研究費補助金の応募・採択状況	P 29
（4）外部教育資金の受入状況	P 29
（5）奨学寄附金等の受入状況	P 29
（6）外部資金獲得総額	P 29
3 教育研究等環境の整備	
（1）蔵書数	P 30
（2）図書館への入館者数	P 30
（3）図書の館外貸出冊数	P 30
第2 地域貢献等に関する数値	
1 地域貢献	
（1）公開講座等の開催（延べ参加者数含む）〔指標〕	P 31
（2）単位互換授業の状況	P 31
（3）連携協定等	P 32
（4）市町村等の各種委員・講師の派遣件数〔指標〕	P 32
（5）市町村や企業等との連携事業・受託事業数〔指標〕	P 32
2 国際交流	
（1）協定締結数	P 33
（2）外国人留学生数	P 33
（3）海外派遣学生枠〔指標〕	P 34
第3 業務運営の改善及び効率化に関する数値	
1 人事の適性化	
（1）職員（教員を除く）及び非常勤職員等の状況	P 35
第4 その他業務運営に関する数値	
1 安全管理	
（1）個人情報漏洩事故件数〔指標〕	P 36
第5 県の規則で定める業務運営に関する数値	
1 施設整備に関する計画	
（1）土地	P 37
（2）建物	P 37
II 法人が策定した指針・計画等	P 39
III 各審議会・委員会等の名簿	P 103
IV その他業務実績評価の実施に当たり根拠となる資料	
1 MYU GUIDE 2026	別冊

I 法人の基礎的数値・中期計画に数値目標を掲げている
項目等（6年間程度の推移が分かるもの）

第1 教育研究の質向上に関する数値
1 教育

(1) 入学者の受入
イ 学士課程

①志願倍率

(単位：倍)

		2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
全選抜方法	学群計	4.0	4.2	4.2	4.0	4.1	4.2	
	看護学群	4.4	4.3	4.1	4.6	4.4	4.0	
	事業構想学群	3.9	4.5	4.0	4.1	3.6	4.4	
	食産業学群	4.0	3.7	4.8	3.5	4.5	4.0	
うち一般選抜	学群計	5.1	5.4	5.4	5.1	5.1	5.3	
	看護学群	4.9	4.5	4.2	5.5	4.6	4.3	
	事業構想学群	4.8	6.0	5.1	5.0	4.5	5.4	
	食産業学群	5.9	5.3	6.9	4.9	6.5	5.8	

※志願倍率 = 志願者数 ÷ 入学者数 (募集人員) × 100 小数点以下第2位を四捨五入

②実質競争倍率

(単位：倍)

		2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
全選抜方法	学群計	2.3	2.4	2.4	2.2	2.3	2.6	
	看護学群	2.7	2.9	2.5	3.0	3.1	2.7	
	事業構想学群	2.4	2.7	2.4	2.4	2.2	2.8	
	食産業学群	1.8	1.6	2.4	1.5	2.0	2.1	
うち一般選抜	学群計	2.2	2.4	2.5	2.0	2.2	2.6	
	看護学群	2.4	2.4	1.8	2.8	2.5	2.1	
	事業構想学群	2.4	2.9	2.5	2.1	2.1	2.8	
	食産業学群	1.8	1.7	3.0	1.4	2.3	2.4	

※実質競争倍率 = 受験者数 ÷ 合格者数 × 100 小数点以下第2位を四捨五入

※総合型選抜入試に係る受験者数については、第二次選考の受験者数を計上し、算定。

③入学率

		2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
全選抜方法	学群計	92. 0%	95. 6%	93. 9%	92. 9%	95. 1%	96. 7%	
事業構想学群	看護学群	97. 2%	99. 0%	99. 0%	96. 0%	98. 0%	98. 0%	
食産業学群	事業構想学群	93. 8%	96. 0%	92. 1%	94. 7%	96. 8%	98. 6%	
うち一般選抜	学群計	85. 6%	92. 6%	93. 2%	88. 2%	90. 7%	92. 9%	
	看護学群	89. 6%	93. 3%	90. 9%	89. 6%	92. 3%	95. 6%	
	事業構想学群	95. 5%	98. 4%	98. 4%	93. 8%	96. 7%	96. 8%	
	食産業学群	92. 8%	93. 8%	88. 8%	92. 7%	95. 0%	98. 6%	
		82. 1%	89. 3%	88. 9%	82. 4%	86. 0%	90. 3%	

※入学率＝入学者数÷合格者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

④県内高校生の入学者比率

		2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
学群計		66. 6%	61. 6%	63. 8%	55. 6%	60. 2%	55. 2%	
看護学群		71. 8%	62. 4%	69. 6%	60. 8%	68. 7%	58. 2%	
事業構想学群		71. 7%	67. 4%	70. 0%	61. 7%	65. 0%	60. 3%	
食産業学群		54. 2%	51. 8%	50. 0%	42. 2%	46. 0%	44. 6%	

※県内高校生の入学者比率＝県内高校からの入学者数÷入学者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑤入学者の定員超過率

		2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
学群計		106. 2%	107. 9%	107. 1%	106. 2%	106. 4%	105. 2%	
看護学群		108. 4%	106. 3%	107. 4%	102. 1%	101. 1%	103. 2%	
事業構想学群		106. 0%	107. 5%	105. 0%	107. 0%	107. 0%	107. 0%	
食産業学群		104. 8%	109. 6%	110. 4%	108. 0%	109. 6%	104. 0%	

※入学者の定員超過率＝入学者数÷募集人員（募集人員）×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑥本学を第一志望とする入学者数の割合（66%以上/年）【指標】

	入学年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
学群計				67.9%	62.9%	70.7%	69.5%	
看護学群				74.5%	67.0%	84.4%	69.4%	
事業構想学群				68.4%	62.9%	72.0%	74.2%	
食産業学群				62.3%	60.0%	59.1%	62.0%	

⑦社会人入学者

	2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
学群計	0.2%	0.4%	0.2%	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%
看護学群	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業構想学群	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	
食産業学群	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	

⑧研究生等入学者

	2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
学群	3	1	2	5	1	2	
研究生	0	0	2	1	0	0	
科目等履修生	3	1	0	1	1	1	
特別聴講生	0	0	0	3	0	1	

(単位：人)

□ 大学院課程

(単位：倍)

		2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
全選抜方法	大学院計	0.8	0.8	0.9	0.7	0.8	1.0	
看護学研究科	博士課程前期	1.2	0.4	1.1	0.5	0.7	1.2	
	博士課程後期	1.4	0.4	1.2	0.4	0.8	1.0	
事業構想学研究科	博士課程前期	0.3	0.3	0.7	0.7	0.3	1.7	
	博士課程後期	0.6	0.8	0.5	0.3	0.8	0.9	
食産業学研究科	博士課程前期	0.6	0.9	0.4	0.2	0.8	0.9	
	博士課程後期	0.7	0.7	1.0	1.0	1.0	0.7	
	大学院計	0.7	1.1	1.4	1.4	0.9	0.9	
全選抜方法	博士課程前期	0.8	1.1	1.7	1.6	0.9	1.0	
	博士課程後期	0.3	1.0	0.3	0.3	0.7	0.7	

※志願倍率 = 志願者数 ÷ 入学者数 (募集人員) × 100 小数点以下第2位を四捨五入

②実質競争倍率

		2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
全選抜方法	大学院計	1.1	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1	
看護学研究科	博士課程前期	1.1	1.3	1.4	1.2	1.0	1.3	
	博士課程後期	1.1	1.3	1.5	1.3	1.0	1.1	
事業構想学研究科	博士課程前期	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.7	
	博士課程後期	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	1.1	
食産業学研究科	博士課程前期	1.0	1.1	1.0	1.0	1.1	1.1	
	博士課程後期	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	大学院計	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	
全選抜方法	博士課程前期	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	1.1	
	博士課程後期	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	

※実質競争倍率 = 受験者数 ÷ 合格者数 × 100 小数点以下第2位を四捨五入

③入学率

		2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
大学院計		100.0%	97.2%	100.0%	96.8%	94.9%	97.7%	
看護学研究科	博士課程前期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	88.9%	100.0%	
全選抜方法	博士課程後期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	
事業構想学研究科	博士課程前期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	博士課程後期	100.0%	94.1%	100.0%	85.7%	100.0%	100.0%	
食産業学研究科	博士課程前期	100.0%	93.3%	100.0%	75.0%	100.0%	100.0%	
	博士課程後期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	90.0%	90.9%	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

※入学率=入学者数÷合格者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

④入学者の定員充足率【指標】

		2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
大学院計		71.2%	67.3%	73.1%	57.7%	71.2%	80.8%	
看護学研究科	博士課程前期	107.7%	30.8%	69.2%	38.5%	61.5%	84.6%	
全選抜方法	博士課程後期	130.0%	30.0%	80.0%	30.0%	70.0%	80.0%	
事業構想学研究科	博士課程前期	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	100.0%	
	博士課程後期	52.2%	69.6%	47.8%	26.1%	78.3%	82.6%	
食産業学研究科	博士課程前期	55.0%	70.0%	40.0%	15.0%	75.0%	85.0%	
	博士課程後期	33.3%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	
		68.8%	93.8%	112.5%	118.8%	68.8%	75.0%	
		76.9%	92.3%	130.8%	138.5%	69.2%	76.9%	
		33.3%	100.0%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	

※入学者の定員超過率=入学者数÷募集人員（募集人員）×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑤社会人入学者

	2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
大学院計	43.2%	31.4%	31.6%	33.3%	48.7%	50.0%	
看護学研究科							
社会人の受入比率	71.4%	75.0%	77.8%	100.0%	100.0%	100.0%	
事業構想学研究科							
社会人の受入比率	50.0%	37.5%	27.2%	66.7%	44.4%	42.1%	
食産業学研究科							
社会人の受入比率	0.0%	13.3%	11.1%	5.3%	18.2%	16.7%	

※社会人の受入比率=社会人入学者数÷入学者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑥研究生等入学者

	2020	2021	2022	2023	2024	2025	備考
大学院	4	3	3	6	0	0	
研究生	2	1	1	3	0	0	
科目等履修生	2	2	2	3	0	0	
特別聴講生	0	0	0	0	0	0	

(単位：人)

(2) 教育の内容等
イ 学士課程

①学生の状況

(新年度の状況)		R6			R7			R8			R9		
		在籍者数(b)		収容定員(a)	在籍者数(b)	男	女	在籍者数(b)	男	女	計	在籍者数(b)	男
看護学群	380	22	380	402	380	21	382	403	21	382	403	106.	1%
事業構想学群	800	357	514	871	800	343	533	876	—	—	876	109.	5%
事業プランニング学類	240	78	132	210	240	74	132	206	—	—	206	—	—
地域創生学類	240	99	106	205	240	89	118	207	—	—	207	109.	5%
価値創造デザイン学類	320	105	167	272	320	93	179	272	—	—	272	—	—
学群一括募集分	—	75	109	184	—	87	104	191	—	—	191	—	—
食産業学群	500	178	371	549	500	177	370	547	—	—	547	109.	4%
食資源開発学類	186	34	41	75	186	6	6	12	—	—	12	—	—
フードマネジメント学類	252	38	178	216	252	33	183	216	—	—	216	109.	4%
生物生産学類	62	62	75	137	62	96	107	203	—	—	203	—	—
学群一括募集分	—	44	77	121	—	42	74	116	—	—	116	—	—
合 計	1,680	557	1,265	1,822	1,680	541	1,285	1,826	—	—	1,826	108.	7%

(過年度の状況)		R2			R3			R4			R5			
		在籍者数		収容定員	在籍者数	男	女	在籍者数	男	女	計	在籍者数	男	女
看護学群	380	26	380	406	380	24	379	403	28	383	411	380	27	381
事業構想学群	800	370	490	860	800	372	494	866	800	373	486	859	800	370
事業構想学科	—	6	3	9	—	0	1	1	—	0	0	0	0	0
デザイン情報学科	—	4	9	13	—	0	2	2	—	0	0	0	0	0
事業プランニング学類	240	75	128	203	240	88	119	207	240	84	124	208	240	86
地域創生学類	240	96	97	193	240	102	100	202	240	101	100	201	240	99
価値創造デザイン学類	320	104	153	257	320	101	168	269	320	103	172	275	320	107
学群一括募集分	—	85	100	185	—	81	104	185	—	85	90	175	—	78
食産業学群	500	156	366	522	500	170	368	538	500	170	374	544	500	172
フームビジネス学科	—	0	0	0	—	1	0	1	—	0	0	0	0	0
フードビジネス学科	—	2	3	5	—	1	2	3	—	1	1	2	—	0
環境システム学科	—	0	0	0	—	0	0	0	—	1	2	—	0	0
食資源開発学類	248	78	122	200	248	83	121	204	186	81	114	195	186	60
フードマネジメント学類	252	42	165	207	252	43	170	213	252	48	169	217	252	40
生物生産学類	—	34	76	110	—	42	75	117	—	32	83	115	—	38
学群一括募集分	—	34	76	110	—	42	75	117	—	32	83	115	—	38
合 計	1,680	552	1,236	1,788	1,680	566	1,241	1,807	1,680	571	1,243	1,814	1,680	569

②学生満足度調査の回収率

	卒業・修了年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学計	11.5%	21.0%	26.0%	47.0%	82.9%	83.9%	2018年度までは卒業式当日に紙媒体で実施、2019年度よりウェブ回答。	
学群卒業者	10.6%	21.2%	24.8%	45.9%	82.6%	83.3%		
大学院修了者	25.0%	18.2%	39.5%	63.0%	86.2%	92.6%		

③期間中の地域連携型実践教育科目履修者（アソシエイト取得者）総数（210名 令和8年度）【指標】

	CPアソシエイト授与年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
累計値	目標		35人	70人	105人	140人	毎年35名、6年間で延べ210名輩出することを目標とする。	
	実績		41人	75人	93人	123人		
単年度	実績		41人	34人	18人	30人		

※各年度に記載する実績値は、当該年度の「CPアソシエイト修了書授与者」

④地域連携型実践教育科目履修者の自己評価（平均A:85点以上 令和8年度）【指標】

	CPアソシエイト授与年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
	目標		75点	80点	80点	80点	80点	
	実績		84点	86点	88点	88点	88点	

①学生の状況

(単位:人)

(新年度の状況)		R7			定員 (b/a)	充足率 (b/a)	備考		
		収容定員 (a)	在籍者数(b)	男 女 計			男 女 計	男 女 計	男 女 計
看護学研究科	29	1	21	22	75.9%				
博士課程前期	20	0	14	14	70.0%				
博士課程後期	9	1	7	8	88.9%				
事業構学研究科	49	30	12	42	85.7%				
博士課程前期	40	23	10	33	82.5%				
博士課程後期	9	7	2	9	100.0%				
食産業学研究科	35	9	16	25	71.4%				
博士課程前期	26	6	15	21	80.8%				
博士課程後期	9	3	1	4	44.4%				
合 計	113	40	49	89	78.8%				

(過年度の状況)		R2			R3			R4			R5			R6						
		収容定員	在籍者数	男 女 計																
看護学研究科	29	6	24	30	29	5	22	27	29	1	15	16	29	2	15	29	2	16	18	
博士課程前期	20	5	16	21	20	4	16	20	20	0	12	12	20	1	10	11	20	1	11	12
博士課程後期	9	1	8	9	9	1	6	7	9	1	3	4	9	1	5	6	9	1	5	6
事業構学研究科	49	18	8	26	49	20	13	33	49	22	10	32	49	16	6	22	49	23	10	33
博士課程前期	40	15	4	19	40	16	9	25	40	16	6	22	40	10	3	13	40	16	7	23
博士課程後期	9	3	4	7	9	4	4	8	9	6	4	10	9	6	3	9	9	7	3	10
食産業学研究科	35	11	15	26	35	13	19	32	35	16	20	36	35	17	24	41	35	12	19	31
博士課程前期	26	9	9	18	26	8	13	21	26	12	18	30	26	12	24	36	26	6	19	25
博士課程後期	9	2	6	8	9	5	6	11	9	4	2	6	9	5	0	5	9	6	0	6
合 計	113	35	47	82	113	38	54	92	113	39	45	84	113	35	45	80	113	37	45	82

(3) 教育実体制等

□ 教員・教員組織

①専任教員

(単位：人)

(過年度/新年度の状況)		R3	R4	R5	R6	R7	
	計	副学長 助教 助手 講師 准教授 教授	副学長 助教 助手 講師 准教授 教授	副学長 助教 助手 講師 准教授 教授	副学長 助教 助手 講師 准教授 教授	副学長 助教 助手 講師 准教授 教授	
看護学群	48	1 13 9 10 12 3 47 1 10 12 7 13 4 48 1 11 13 7 13 3 47 0 11 11 7 14 4 50 0 13 11 8 14 4 3					
事業構想学群	34	2 21 7 2 2 0 35 2 19 10 1 3 0 38 1 19 13 1 4 0 33 2 16 10 1 4 0 31 1 18 8 0 4 0 ▲ 2					
事業プランニング学類	9	0 7 0 2 0 0 10 0 7 2 1 0 0 11 0 8 2 1 0 0 8 0 6 1 1 1 0 0 8 0 7 1 0 0 0					
地域創生学類	12	1 6 4 0 1 0 11 1 5 4 0 1 0 12 1 4 5 0 2 0 11 1 4 4 0 2 0 9 0 5 2 0 2 0					
価値創造デザイン学類	13	1 8 3 0 1 0 14 1 7 4 0 2 0 15 0 7 6 0 2 0 14 1 6 5 0 2 0 14 1 6 5 0 2 0					
食産業学群	40	1 23 7 3 6 0 38 1 21 10 2 4 0 37 1 21 8 3 4 0 37 3 19 9 3 3 0 39 2 22 10 3 2 0					
生産生態学類(資源開発学専攻)	22	0 13 4 3 2 0 21 0 12 6 2 1 0 21 0 12 6 2 1 0 22 1 11 6 2 2 0 23 1 13 5 2 2 0					
フードマネジメント学類	18	1 10 3 0 4 0 17 1 9 4 0 3 0 16 1 9 2 1 3 0 15 2 8 3 1 1 0 16 1 9 5 1 0 0					
基盤教育群	14	0 6 6 1 1 0 14 0 7 5 2 0 0 13 0 5 6 2 0 0 13 0 5 6 2 0 0 13 0 5 6 2 0 0 0					
研究施設・附属共創センター (地域連携センター)	1	0 0 1 0 0 0 1 0 0 1 0 0 0 1 0 0 0 1 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 ▲ 1					
合 計	137	4 63 30 16 21 3 135 4 57 38 12 20 4 137 3 56 41 13 21 3 131 5 51 37 13 21 4 133 3 58 35 13 20 4 2					

※「教授」のうち副学長は「副学長」の欄にカウント

(過年度の状況)		H30	R1	R2	
	計	副学長 助教 助手 講師 准教授 教授	副学長 助教 助手 講師 准教授 教授	副学長 助教 助手 講師 准教授 教授	
看護学群	48	— 17 6 6 19 — 51 1 15 9 6 19 1 46 1 13 9 5 15 3			
事業構想学群	31	— 20 8 1 2 — 34 2 21 6 3 2 0 33 2 20 8 2 1 0			
事業計画学科	15	— 9 5 1 0 — 10 0 8 0 2 0 0 9 0 7 0 2 0 0			
デザイン情報学科	16	— 11 3 0 2 — 7 1 2 3 1 0 0 9 1 3 5 0 0			
食産業学群	42	— 25 10 3 4 — 17 1 11 3 0 2 0 15 1 10 3 0 1 0			
ファームビジネス学科	15	— 10 2 1 2 — 40 1 22 10 2 5 0 37 1 20 6 3 7 0			
フードビジネス学科	14	— 8 5 1 0 — 23 0 15 3 2 3 0 20 0 12 2 3 3 0			
環境システム学科	13	— 7 3 1 2 — 17 1 7 7 0 2 0 17 1 8 4 0 4 0			
地域連携センター	1	— 0 1 0 0 — 1 0 0 1 0 0 0 15 0 6 6 2 1 0			
基盤教育群/共通教育センター	15	— 6 6 2 1 — 15 0 6 6 2 1 0 0 1 0 1 0 0 0			
合 計	137	— 68 31 12 26 — 141 4 64 32 13 27 1 132 4 59 30 12 24 3			

(過年度／新年度の状況)		R3				R4				R5				R6				R7													
		計	教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手	前年度 との差					
看護学群	6	2	3	1	0	0	11	6	4	1	0	11	7	3	1	0	14	8	5	1	0	10	5	4	1	0	▲ 4				
看護学群（特任教員）	1	1	0	0	0	0	2	1	0	1	0	3	1	0	1	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	▲ 1					
看護学研究科	6	4	1	1	0	0	18	10	5	2	1	0	9	5	2	0	0	10	4	3	3	0	0	24	9	7	8	0	0		
事業構想学群	56	30	14	12	0	0	106	52	23	23	8	0	123	69	17	29	8	0	157	84	40	33	0	0	127	70	34	23	0	▲ 30	
事業構想学群（特任教員）	16	6	5	5	0	0	33	14	8	7	4	0	24	15	7	2	0	0	35	18	9	8	0	0	33	18	9	6	0	▲ 2	
地域創生学類	25	17	4	4	0	0	38	17	9	10	2	0	66	36	9	21	0	0	83	44	20	19	0	0	60	34	16	10	0	▲ 23	
価値創造マネジメント学類	15	7	5	3	0	0	35	21	6	6	2	0	33	18	1	6	8	0	39	22	11	6	0	0	34	18	9	7	0	▲ 5	
事業構想学群（特任教員）	3	0	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	16	6	9	0	1	0		
事業構想学研究科	12	5	5	2	0	0	25	8	8	9	0	0	12	8	2	2	0	0	15	10	3	2	0	0	10	6	2	2	0	▲ 5	
食産業学群	8	2	5	1	0	0	27	17	7	3	0	0	43	23	14	6	0	0	46	22	16	8	0	0	21	11	4	6	0	▲ 25	
食資源開発学類	5	2	2	1	0	0	7	3	3	1	0	0	4	1	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0		
フードマネジメント学類	3	0	3	0	0	0	20	14	4	2	0	0	33	24	9	3	0	0	32	19	10	3	0	0	7	5	1	1	0	▲ 25	
生物生産													6	1	3	2	0	0	13	2	6	5	0	0	13	5	3	5	0	0	
食資源学群（特任教員）	3	1	1	1	0	0	4	2	1	1	0	0	7	3	1	2	1	0	9	6	2	1	0	0	8	5	2	1	0	▲ 1	
食産業学研究科	3	3	0	0	0	0	6	5	1	0	0	0	9	8	0	1	0	0	8	7	0	1	0	0	4	4	4	0	0	▲ 4	
基盤教育群	23	8	1	14	0	0	20	6	1	13	0	0	20	7	2	11	0	0	22	7	2	13	0	0	19	7	2	10	0	▲ 3	
基盤教育群（特任教員）	3	2	0	0	1	0	2	1	0	1	0	0	5	1	1	1	0	0	3	0	1	0	1	0	0	1	0	0	▲ 3		
合 計	124	58	32	33	1	0	223	108	50	54	11	0	244	132	42	55	15	0	289	149	73	64	3	0	241	124	65	51	1	0	
(過年度の状況)		R30				R31				R32				R33				R34				R35									
看護学群	11	9	1	1	0	0	15	9	2	4	0	0	9	5	4	0	0	2	1	0	9	6	2	1	0	0	8	5	2	1	0
看護学群	4	3	0	1	0	0	(1)	0	0	0	0	0	9	8	0	1	0	0	8	7	0	1	0	0	4	4	4	0	0	▲ 4	
看護学群（特任教員）	7	6	1	(1)	0	0																									
看護学群																															
看護学研究科																															
事業構想学群	48	22	23	3	0	0	44	26	10	8	0	0	65	38	19	8	0	0	22	10	7	5	0	0	22	10	7	5	0	0	
事業構想学類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	18	12	5	1	0	0	18	12	5	1	0	0	
地域創生学類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	16	7	2	0	0	25	16	7	2	0	0	
価値創造サイン学類	1	1	0	0	0	0	0	8	5	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業構造学類	29	11	16	2	0	0	11	6	4	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
デザイナーズ学類	19	11	7	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	4	1	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業構想学類（特任教員）																															
事業構想学研究科																															
食産業学群	14	11	3	0	0	0	52	42	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	57	46	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
食資源開発学類	0	0	0	0	0	0	0	20	13	7	0	0	0	0	0	0	0	0	24	15	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
フードマネジメント学類	0	0	0	0	0	0	0	26	24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	33	31	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生物生産																															
ファーミング＆ス科学	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フードビジネス学科	6	5	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境システム学科	5	3	2	0	0	0	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食産業学群（特任教員）																															
食産業学研究科																															
基盤教育群	13	5	0	8	0	0	15	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤教育群（特任教員）																															
合 計	86	47	27	12	0	0	185	121	31	33	0	0	231	144	53	34	0	0	241	124	65	51	1	0	0	0	0	0	0	0	0

③専任教員の担当科目比率

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
専任教員の担当科目比率 (学士課程開設科目中・学部科目)	90.9%	—	—	—	—	—	2017年の学部改組により学群・学類制に移行しており、2020年に完成年度を迎えたため
専任教員の担当科目比率 (学士課程開設科目中・学群科目)	92.9%	90.8%	91.3%	89.7%	88.8%	82.8%	科目数 基盤:52 看護:77 事業:136 食産:120

④教員採用時の公募制実施率

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
教員採用時の公募制実施率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

⑤教員選考時のプレゼンテーション実施率

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
教員採用時のプレゼンテーション実施率	83.3%	75.0%	61.5%	78.6%	62.5%	63.6%	

助教・助手除く

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
看護学群	看護学専門の男性教員率	21.6%	21.7%	25.5%	22.9%	27.7%	26.0%
	女性教員率	2.9%	0.0%	2.7%	2.6%	2.9%	3.1%
事業構想学群	女性教員率	14.6%	16.2%	23.6%	24.3%	24.3%	23.1%
	女性教員率	33.3%	33.3%	35.7%	35.7%	38.5%	38.5%

⑥教員比率

⑦授業評価の科目実施率

		2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学計		73.1%	87.9%	90.0%	87.5%	89.3%	91.0%	
学部		27.1%	—	—	—	—	—	2017年の学部改組により学群・学類制に移行しており、2020年に完成年度を迎える科目として開講する科目が無くなつたため
学群		88.9%	87.9%	90.0%	87.7%	89.3%	91.0%	科目数 基盤:83 看護:100 事業構想:179 食産業:137
大学院		—	—	—	—	—	—	

※授業評価の科目実施率とは、全開講科目のうち授業評価アンケートを実施した科目の占める割合を表す。

⑧対象科目に係る授業評価の実施率

		2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
学部		100.0%	—	—	—	—	—	2017年に学部改組により学群・学類制に移行しており、2020年に完成年度を迎える、学部として開講する科目が無くなつたため
学群		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	科目数 基盤:80 看護:34 事業構想:166 食産業:124

※対象科目とは、履修者（実際に授業に出席している者）が5名未満の科目または実習形式の科目等、授業評価の実施が不適当な科目を除いて、授業評価アンケートの実施対象となる科目を表す。

※対象科目に係る授業評価の実施率とは、上記の定義による対象科目のうち授業評価アンケートを実施した科目の占める割合を表す。

⑨学生の授業評価の回答率

		2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
学群		94.8%	95.7%	97.5%	98.2%	95.8%	94.2%	回答数31112/33019

※学生の授業評価の回答率は、授業評価アンケートを実施した科目の総履修者数（延べ人數）のうち、授業評価アンケートに回答した人数（科目ごとの回答者の延べ人數）の占める割合を表す。

※H28以降は紙媒体からウェブ上で実施される授業評価アンケート実施に移行。

⑩教員のFD参加率

		2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
教員のFD参加率		97.8%	83.5%	94.2%	85.7%	87.0%	97.7%	参加数 125/128

(4) 学生への支援

イ 学修・生活支援

①学生の休学率・退学率

		2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
休学率	大学計	2.5%	2.5%	1.8%	3.0%	4.2%	3.3%	
	学群	2.3%	1.7%	1.7%	3.0%	3.8%	3.0%	
大学院	大学	6.2%	14.2%	4.4%	2.7%	11.5%	8.0%	
	院	1.0%	0.6%	1.6%	1.1%	1.8%	1.1%	
退学率	大学計	0.7%	0.5%	1.3%	0.7%	1.6%	0.8%	
	学群	5.3%	1.7%	7.1%	6.2%	5.3%	5.3%	
※休学率=休学者数÷収容定員×100 ※退学率=退学者数÷収容定員×100								
小数点以下第2位を四捨五入 小数点以下第2位を四捨五入								

②生活支援

		2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
学生相談室への相談件数(件)		1,630	1,230	2,311	2,446	2,268	1,872	

※相談件数は、延べ件数

③経済的支援(奨学金受入)

		2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
対象件数(件)		862	1091	1079	1023	990	955	
支給対象学生数(人)		862	1091	1079	797	778	745	
支給総額(千円)		-	-	-	-	-	-	

※日本学生支援機構の奨学金対象者のみ記載。

④経済的支援（授業料減免）

修学支援新制度 支援区分	補填の有無	本学独自制度	備考		2019	2020	2021	2022	2023	2024
第I区分				人数(人)		221	266	262	257	223
				金額(千円)		59,206	71,262	70,190	68,850	59,742
第II区分	補填なし			人数(人)		88	89	85	91	87
				金額(千円)		15,717	15,896	15,181	16,253	15,538
	補填あり	経済減免		人数(人)		11	7	0	2	0
				金額(千円)		2,947	1,876	0	536	0
			うち修学支援		1,965	1,251	0	357	0	
			うち本学独自		982	625	0	179	0	
		震災減免		人数(人)		5	5	3	0	2
				金額(千円)		1,340	1,340	804	0	535,800
			うち修学支援		893	893	536	0	357	
			うち本学独自		447	447	268	0	178	
第III区分	補填なし			人数(人)		55	65	70	63	59
				金額(千円)		4,912	5,805	6,251	5,626	5,269
	補填あり	経済減免	全額減免	人数(人)		2	1	0	0	0
				金額(千円)		536	268	0	0	0
			うち修学支援		179	89	0	0	0	
			うち本学独自		357	179	0	0	0	
		震災減免	全額減免	人数(人)		14	8	1	0	0
				金額(千円)		1,876	1,072	134	0	0
			うち修学支援		1,251	715	89	0	0	
			うち本学独自		625	357	45	0	0	
			半額減免	人数(人)		7	5	5	5	4
				金額(千円)		1,876	1,340	1,340	1,340	1,072
			うち修学支援		625	447	447	447	357	
			うち本学独自		1,251	893	893	893	714	
			半額減免	人数(人)		2	2	1	2	3
				金額(千円)		268	268	134	268	402
			うち修学支援		179	179	89	179	268	
			うち本学独自		89	89	45	89	134	
不採用・支援停止	補填あり	経済減免	全額減免	人数(人)		0	0	1	0	0
				金額(千円)		0	0	268	0	0
			半額減免	人数(人)		2	1	0	0	0
				金額(千円)		268	134	0	0	0
		震災減免	全額減免	人数(人)		3	0	2	0	0
				金額(千円)		804	0	536	0	0
			半額減免	人数(人)		5	1	0	0	0
				金額(千円)		670	134	0	0	0
家計急変者	補填なし			人数(人)		3	4	5	0	0
				金額(千円)		670	834	804	0	0
途中休学	補填なし			人数(人)		0	1	0	0	0
				金額(千円)		0	134	0	0	0
	補填あり	経済減免	全額減免	人数(人)		0	1	0	0	0
				金額(千円)		0	268	0	0	0
			うち修学支援		0	89	0	0	0	
			うち本学独自		0	179	0	0	0	
			半額減免	人数(人)		0	0	0	0	0
				金額(千円)		0	0	0	0	0
申請なし		経済減免	全額減免	人数(人)	30	6	5	6	3	2
				金額(千円)	8,037	1,608	1,340	1,607	804	536
			半額減免	人数(人)	158	42	31	20	15	18
				金額(千円)	21,164	5,626	4,153	2,679	2,009	2,411
		震災減免	全額減免	人数(人)	169	146	122	105	92	83
				金額(千円)	45,275	39,114	32,684	28,130	24,647	22,236
			半額減免	人数(人)	131	129	109	79	81	67
				金額(千円)	17,446	17,280	14,601	10,582	10,850	8,975
		緊急減免	前期充当あり	人数(人)		11				
				金額(千円)		1,474				
			前期充当なし	人数(人)		2				
				金額(千円)		134				

【補足】

- ・人数、金額ともに前期後期の合計
- ・2020年度から修学支援新制度が施行された。本学独自の減免制度（経済減免、震災減免）と併せて申請が可能であり、最終的な減免額はいずれか大きい減免額の値となる（修学支援新制度による減免額に補填する形）
(例：修学支援新制度にて2/3減免、震災減免にて全額減免の場合、最終的な減免額は全額減免となる。この場合、修学支援新制度にて2/3減免し、残り1/3を震災減免にて補填する)
- ・緊急減免は令和2年度のみ実施された制度

①卒業生就職率（学群）（100%/年）【指標】

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
学群計	99.7%	98.0%	97.9%	99.5%	100.0%	99.7%	
看護学群	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
事業構想学群	99.4%	95.9%	96.2%	98.9%	100.0%	99.5%	
事業プランニング学類		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
地域創生学類		100.0%	96.4%	98.2%	100.0%	100.0%	
価値創造デザイン学類		89.6%	93.0%	98.6%	100.0%	98.5%	
食産業学群	100.0%	100.0%	99.1%	100.0%	100.0%	100.0%	
食資源開発学類		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
フードマネジメント学類		100.0%	98.3%	100.0%	100.0%	100.0%	

※就職率=就職者数÷就職希望者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

②卒業者に対する就職者の割合（学群）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
学群計	89.8%	90.5%	86.2%	90.0%	90.1%	89.8%	
看護学群	91.0%	92.0%	90.1%	93.8%	89.8%	94.6%	
事業構想学群	89.1%	92.2%	86.1%	92.9%	90.7%	90.2%	
事業プランニング学類		96.8%	90.9%	94.8%	95.6%	97.0%	
地域創生学類		96.7%	86.9%	91.8%	91.5%	94.8%	
価値創造デザイン学類		85.2%	81.5%	92.4%	85.7%	81.3%	
食産業学群	90.1%	86.6%	83.5%	82.3%	89.5%	85.7%	
食資源開発学類		84.2%	78.7%	77.6%	84.2%	79.0%	
フードマネジメント学類		88.7%	87.9%	86.4%	94.0%	92.2%	

※卒業者（進学者・家業從事・家事手伝い等就職を希望しない卒業者を含む）に対する就職者の割合=就職者数÷卒業者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

③卒業者に対する進学者の割合（学群）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
学群計	5. 5%	6. 4%	6. 8%	6. 0%	5. 9%	6. 9%	
看護学群	7. 0%	8. 0%	7. 7%	5. 2%	8. 2%	4. 3%	
事業構想学群	3. 0%	2. 9%	3. 8%	1. 5%	4. 4%	6. 4%	
事業計画学科	1. 9%						
デザイン情報学科	4. 3%						
事業プランニング学類		1. 6%	1. 5%	0. 0%	1. 5%	0. 0%	
地域創生学類		1. 6%	1. 6%	1. 6%	1. 7%	3. 4%	
価値創造デザイン学類		4. 9%	7. 4%	2. 5%	9. 1%	13. 8%	
食産業学群	8. 4%	10. 9%	11. 0%	13. 7%	6. 5%	9. 5%	
ファームビジネス学科	13. 6%						
フードビジネス学科	2. 0%						
環境システム学科	10. 8%						
食資源開発学類		14. 0%	16. 4%	17. 2%	8. 8%	12. 9%	
フードマネジメント学類		8. 0%	6. 1%	10. 6%	4. 5%	6. 3%	

*卒業者に対する進学者の割合=大学院等進学者数÷卒業者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

④県内就職者比率（学群）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
学群計	45.8%	47.0%	50.7%	51.5%	47.1%	52.5%	
看護学群	70.3%	59.8%	69.5%	76.9%	69.3%	73.6%	
事業構想学群	51.1%	51.6%	49.4%	50.0%	43.8%	53.3%	
事業計画学科	48.4%						
デザイン情報学科	54.1%						
事業プランニング学類		48.3%	46.7%	40.0%	41.5%	43.8%	
地域創生学類		52.5%	60.4%	58.9%	42.6%	61.8%	
価値創造デザイン学類		53.6%	43.1%	50.7%	47.0%	55.4%	
食産業学群	18.6%	27.2%	38.7%	31.4%	35.1%	34.3%	
ファームビジネス学科	11.1%						
フードビジネス学科	18.4%						
環境システム学科	27.3%						
食資源開発学類		20.8%	41.7%	31.1%	54.2%	46.9%	
フードマネジメント学類		32.7%	36.2%	31.6%	20.6%	23.7%	

※県内就職者比率 = 県内就職者数 ÷ 就職者数 × 100 小数点以下第2位を四捨五入

⑤国家資格試験合格率（看護師・保健師）(100%/年) 【指標】

	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
看護師	宮城大学	98.9%	100.0%	98.9%	99.0%	100.0%	97.8%	
	全国平均	94.7%	95.4%	96.5%	95.5%	93.2%	95.9%	
保健師	宮城大学	100.0%	100.0%	92.7%	100.0%	100.0%	100.0%	
	全国平均	96.3%	97.4%	93.0%	96.8%	97.7%	96.4%	

※全国平均は厚生労働省発表新卒者値を記載。

⑥各種免許資格取得者数（養護教諭（一種））

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
養護教諭（一種）	20	12	12	8	15	14	

⑦就職支援

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学主催の合同企業等説明会の開催数 (件)	3	2	2	2	2	2	8
インターンシップ参加率 (事業構想学群)	31.0%	9.4%	20.8%	11.9%	76.2%	68.1%	配当年次の学生数

⑧就職率（大学院）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学院計	100.0%	75.0%	71.4%	83.3%	94.1%	93.3%	
看護学研究科	—	—	100.0%	—	100.0%	100.0%	
博士課程前期	—	—	100.0%	—	100.0%	100.0%	
博士課程後期	—	—	—	—	—	—	
事業構想学研究科	100.0%	33.3%	50.0%	50.0%	50.0%	66.7%	
博士課程前期	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	66.7%	
博士課程後期	—	100.0%	—	—	—	—	
食産業学研究科	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
博士課程前期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
博士課程後期	—	—	—	—	—	100.0%	

*就職率 = 就職者数 ÷ 就職希望者数 × 100 小数点以下第2位を四捨五入

⑨修了者に対する就職者の割合（大学院）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学院計	25.0%	26.1%	27.0%	37.0%	55.2%	48.3%	
看護学研究科	0.0%	0.0%	5.9%	—	16.7%	25.0%	
博士課程前期	0.0%	0.0%	7.1%	—	20.0%	25.0%	
博士課程後期	0.0%	0.0%	0.0%	—	—	—	
事業構想学研究科	30.0%	11.1%	36.4%	14.3%	16.7%	28.6%	
博士課程前期	33.3%	0.0%	40.0%	16.7%	20.0%	28.6%	
博士課程後期	0.0%	100.0%	0.0%	—	—	—	
食産業学研究科	66.7%	71.4%	55.6%	72.7%	82.4%	68.8%	
博士課程前期	66.7%	71.4%	71.4%	80.0%	82.4%	71.4%	
博士課程後期	—	—	0.0%	—	—	50.0%	

*修了者（進学者・家業従事・家事手伝い等就職を希望しない修了者を含む）に対する就職者の割合 = 就職者数 ÷ 修了者数 × 100 小数点以下第2位を四捨五入

⑩県内就職者比率（大学院）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学院計	28.6%	16.7%	40.0%	20.0%	50.0%	21.4%	
看護学研究科	—	—	100.0%	—	100.0%	100.0%	
博士課程前期	—	—	100.0%	—	100.0%	100.0%	
博士課程後期	—	—	—	—	—	—	
事業構想学研究科	66.7%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	
博士課程前期	66.7%	—	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	
博士課程後期	—	0.0%	—	—	—	—	
食産業学研究科	0.0%	20.0%	20.0%	12.5%	42.9%	9.1%	
博士課程前期	0.0%	20.0%	20.0%	12.5%	42.9%	10.0%	
博士課程後期	—	—	—	—	—	0.0%	

*県内就職者比率 = 県内就職者数 ÷ 就職者数 × 100 小数点以下第2位を四捨五入

(単位：件)

(1) 研究水準（研究成果）の状況及び教員一人あたりの研究成果発表件数(2件/年 合和8年度)【指標】

国際ジャーナル論文掲載数	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考	
看護学群								
事業構想学群	6	10	14	14	19	18		
食産業学群	1	5	5	10	11	7		
基盤教育群	12	39	44	16	16	22		
研究推進・地域未来共創センター	0	1	1	1	5	2		
論文誌（全国）論文掲載数								
看護学群	24	36	23	14	21	28		
事業構想学群	26	11	28	25	13	9		
食産業学群	29	33	31	8	13	10		
基盤教育群	1	2	2	4	1	1		
研究推進・地域未来共創センター	-	-	0	1	0	0		
学術専門図書刊行数								
看護学群	7	5	16	10	6	8		
事業構想学群	6	8	9	5	5	10		
食産業学群	7	3	10	5	8	3		
基盤教育群	3	1	0	5	1	4		
研究推進・地域未来共創センター	-	-	0	0	0	0		
機関リポジトリへの論文登録数								
看護学群			27	1	12	6		
事業構想学群			15	29	12	8		
食産業学群			7	8	11	13		
基盤教育群			0	0	1	0		
研究推進・地域未来共創センター			0	0	0	0		

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
プレスリース件数							
看護学群			10	13	8	9	
事業構想学群			25	24	162	21	
食産業学群			4	7	22	10	
基盤教育群			0	0	0	0	
研究推進・地域未来共創センター			1	1	1	0	
制作作品発表数							
看護学群			0	0	0	0	
事業構想学群			10	11	11	6	
食産業学群			0	0	0	0	
基盤教育群			0	0	0	0	
研究推進・地域未来共創センター			0	0	0	0	
取得特許数							
事業構想学群	0	0	0	0	1	0	
食産業学群	0	1	0	1	1	2	
合計			283	216	361	198	
教員一人あたりの研究成果発表件数			2.1	1.6	2.7	1.5	

*教員一人あたりの研究成果発表件数は、当該年度の「研究成果発表件数」を「教員数」で除した値

(2) 外部研究資金の受入状況【指標】

(単位：件、円)

		2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
受託研究	件数	21	20	19	27	25	24	
	うち宮城県及び福島県東北地域	4	7	4	8	4	5	
	金額	65,238,000	59,256,600	49,940,138	106,157,750	129,212,000	113,931,200	
	教員1人当たり金額	498,000	452,340	361,885	792,222	943,153	863,115	
共同研究	件数	17	18	22	22	24	23	
	うち宮城県及び福島県東北地域	5	4	9	5	6	4	
	金額	12,426,500	12,707,298	17,448,778	19,980,000	25,350,000	31,055,681	
	教員1人当たり金額	94,858	97,002	126,440	149,104	185,036	235,270	
補助金	件数	3	4	3	4	5	2	
	うち宮城県及び福島県東北地域	0	0	0	0	1	0	
	金額	21,954,000	16,386,000	13,017,000	18,343,000	19,520,200	17,821,200	
	教員1人当たり金額	167,588	125,084	94,326	136,888	142,483	135,009	
奨学寄附金	件数	15	13	20	16	12	8	
	うち宮城県及び福島県東北地域	0	1	1	1	2	1	
	金額	15,785,000	12,222,500	24,030,650	16,570,000	8,880,000	7,223,320	
	教員1人当たり金額	120,496	93,302	174,135	123,657	64,818	54,722	
科学研究費補助金	件数	89	86	111	108	111	113	
	金額	91,664,291	57,868,095	71,261,483	54,622,162	74,522,322	59,014,677	
	教員1人当たり金額	699,727	441,741	516,388	407,628	543,959	447,081	
	その他助成金	0	0	0	0	0	0	
合計	件数	0	0	0	0	0	0	
	うち宮城県及び福島県東北地域	0	0	0	0	0	0	
	金額	0	0	0	0	0	0	
	教員1人当たり金額	0	0	0	0	0	0	
	件数	145	141	175	177	177	170	
	うち宮城県及び福島県東北地域	9	12	14	14	13	10	
	金額	207,067,791	158,440,493	175,698,049	215,672,912	257,484,522	229,046,078	
	教員1人当たり金額	1,580,670	1,209,469	1,273,174	1,609,499	1,879,449	1,735,198	

(3) 科学研究費補助金の応募・採択状況

(単位：件、%)

	申請年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
新規採択応募件数		69	69	74	76	75	61	
新規応募者率（講師以上の教員）		57.5%	50.5%	52.7%	50.0%	50.0%	42.5%	
新規採択件数	9	14	9	15	15	15	14	
新規採択者率（講師以上の教員）	8.9%	20.0%	13.8%	21.4%	20.0%	17.8%		

※令和5年度新規採択件数・採択率は令和6年4月1日時点。一部の研究種目についてば、令和6年7月以降に審査結果が通知される。

(4) 外部教育資金の受入状況

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
受託事業 件数	1	1	1	1	3	2	2
受託事業 金額	4,905,600	4,173,143	3,827,004	52,457,359	4,287,500	4,448,250	
補助金 件数		4	3	2	2	2	1
補助金 金額	44,072,468	47,513,557	7,425,700	13,104,149	7,195,560	3,142,980	
合計 件数		5	4	3	5	4	3
合計 金額	48,978,368	51,686,700	11,252,704	65,561,508	11,483,060	7,591,230	

(5) 奨学金等の受入状況

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
ネクストリーダーズ基金 金額	5,731,000	3,875,519	3,378,490	3,156,498	548,730	20,000	

(6) 外部資金獲得総額 ((2), (4), (5) の合計)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
合計 金額	272,217,159	214,002,712	230,304,106	284,390,918	269,516,312	236,657,308	
教員1人当たり金額	2,077,996	1,633,608	1,668,870	2,122,320	1,967,272	1,792,858	

3 教育研究等環境の整備

(単位：冊)						
	2019	2020	2021	2022	2023	2024
蔵書数（学生1人当たり）	106.3	106.6	107.6	107.1	107.3	108.6

(単位：人)						
	2019	2020	2021	2022	2023	2024
入館者数（利用者数）	89,631	10,988	30,952	39,917	41,906	39,813

(単位：冊)						
	2019	2020	2021	2022	2023	2024
館外貸出冊数	14,915	13,997	5,262	10,267	7,381	6,873

※視聴覚資料については含みます。

(1) 公開講座等の開催【指標】

		年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
公開講座	延べ開催数計(企画)	54	25	38	44	44	39		
	テーマ件数(件)	30	12	22	23	23	25	オンライン7テーマ、基礎教育群6テーマ、 看護学群1テーマ、食産業学群1テーマ、 看護人材育成支援室5テーマ、連携自治体等(大崎市)5テーマ	
	開催箇所(箇所)	53	21	38	40	41	36	オンライン7箇所・企画、基礎6箇所・企画、看護1箇所・企画、食産1箇所・企画、看護人材16箇所・企画、連携自治体等(大崎市)5箇所・企画	
	延べ開催数(企画)	53	21	38	40	41	36	オンライン再生回数8,588人(※再生回数1回を参加者1人とカウント)、基礎企画150人、看護企画82人、食産企画20人、看護人材企画474人、連携自治体等(大崎市)企画194人	
	延べ受講者数(人)	1,406	1,968	7,787	9,490	7,265	9,508		
	シノボリジウム等	1	3	4	4	3	3	フォーラム1件、シンポジウム14件、セミナー1件	
シノボリジウム等	開催箇所(箇所)	1	4	4	4	3	3	フォーラム1箇所・企画、シンポジウム1箇所・企画、シンポジウム1箇所・企画	
	延べ開催数(企画)	1	4	4	4	3	3		
	延べ受講者数(人)	29	121	336	293	243	293	フォーラム227人、シンポジウム45人、セミナー21人	

(2) 単位互換授業の状況

		年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
単位互換授業	派遣人数(人)	34	6	23	19	18	5		
	提供科目数(科目)	270	196	206	207	281	265		

(単位：件)

(3)連携協定等

	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
試験研究機関との連携協定数 (食産業学研究科)		0	0	0	0	0	0	
市町村との連携協定数	14	14	14	15	14	14	14	①大崎市 (泉区他大学等5機関) ②気仙沼市 ③白石市 ④南三陸町 ⑤仙台市 (泉区他大学等5機関) ⑥加美町 ⑦美里町 ⑧福島県下郷町 ⑨大和町 ⑩利府町 ⑪角田市 ⑫富谷市 ⑬鹽竈市 ⑭玉町 ⑮要原市
公的機関等との連携協定数	14	14	17	15	17	15	19	①宮城県及び県内他大学等9機関 ②佛ホーランド ③宮城県教員会 ④佛ホーランド ⑤宮城県商工会連絡協議会 ⑥泉バーン町内会・自治会 ⑦日本政策金融公庫仙台支店 ⑧仙台商工会議所 ⑨仙台商工大学 ⑩東北医科薬科大学 ⑪宮城県議会 ⑫宮城県議会 ⑬宮城県議会 ⑭水産研究・教育機関 ⑮三陸地所 ⑯三陸銀行 ⑰七十七銀行 ⑱農業協同組合 ⑲開発法人水産研究・教育機関 ⑳仙台病院 ㉑社会福祉法人 ㉒行政法人地城医療機能推進機構 ㉓仙台市社会福祉協議会 ㉔人来田学区連合町内会 ㉕宮城県信用保証協会 ㉖人オントクラブ ㉗県立広島大学 ㉘マーセントクラブ ㉙県立広島大学

(4)市町村等の各種委員・講師の派遣件数 (300件/年) 【指標】

	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
派遣件数				414	680	718	653	

*当該年度の「兼業許可（知識提供）」の件数

(5)市町村や企業等との連携事業・受託事業数 (17事業/年 合和8年度) 【指標】

	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
合計		13	8	20	26	24	23	
市町村		5	2	7	12	10	9	(令和8年度受託事業) ①柴田町 ②塩竈市 ③利府町 ④宮城県 ⑤宮城県教育厅 ⑥大崎市 ⑦⑧仙台市泉区 (2件) ⑨利府町
企業等		8	6	13	14	14	14	(令和8年度受託事業) ①(公財)イギリス・アートクリフ ②河川財団 ③七十七銀行 ④泉バーンタウン ⑤国立国会図書館 ⑥KCM・やぎ ⑦東京都健康長寿医療センター ⑧仙台市産業振興事業団 ⑨まるしげ ⑩(株)東北、イカート・リサイクル ⑪(有) カンド・ヨー ⑫福島大学 ⑬上山製紙 (株) 他 ⑭(令和8年度連携事業) ⑬上山製紙 (株) 他 ⑮(株)島地

(1) 协定締结数	
年度	2019
大学間国際交流協定締結数	10
備考	

(2) 外国人留学生数	
年度	2019
外国人留学生数	30
中国	21
韓国	1
ベトナム	4
モンゴル	1
ルワンダ	
台湾	1
マレーシア	2
ブルキナファソ	1
セネガル	
インドネシア	1
フィンランド	1
備考	

(3) 海外派遣学生枠 (200人/年 合計8年度) 【指標】

	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
年度計				52 (13)	62 (28)	80 (32)	124 (23)	
国際センタープログラム (長期：3か月以上)				8 (0)	8 (0)	16 (4)	54 (2)	
国際センタープログラム (短期：3か月以下)				39 (7)	49 (21)	49 (17)	53 (19)	※オンラインプログラム含む
学群・研究科プログラム				5 (6)	5 (7)	15 (11)	17 (2)	※オンラインプログラム含む

※各項目下段のカッコ書きは参加者数

1 人事の適性化

(1) 職員（教員を除く）及び非常勤職員等の状況（各年度5月1日現在）

(単位：件)

		年 度							
		R1	R2	R3	R4	R5	R6	備 考	
正職員 (a)		62	62	62	62	68	68		
県からの派遣職員		10	10	9	11	12	12		
法人の採用職員 (b)		52	52	53	51	56	55		
正職員に占める法人採用職員の割合 (b/a)		83.9%	83.9%	85.5%	82.3%	82.4%	79.7%		
有期雇用職員等 (c)		53	54	40	40	36	44		
第一種有期雇用職員		21	22	18	17	17	17	業務限定職員3人含む	
第二種有期雇用職員		32	32	22	23	19	27	業務限定職員1人含む	
合 計 (a+c)		115	116	102	102	104	113		

第4 その他業務運営に関する数値

1 安全管理

(1)個人情報漏洩事故件数(0件/年) [指標]

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
個人情報漏洩事故件数		0	0	0	0	1	

(単位：件)

第5 県の規則で定める業務運営に関する数値
1 施設整備に関する計画

(1) 土地

(単位 : m²、円)

区分	所在地	前年度末 現在高	当該年度中増減高 増 減	決算年度末 現在高	価格	備考
大和キヤンバス	黒川郡大和町学苑	200,884.00	0.00	0.00	200,884.00	2,556,313,800
教員宿舎	仙台市泉区高森	7,448.62	0.00	0.00	7,448.62	455,855,544
太白キヤンバス	仙台市太白区旗立	164,585.00	0.00	0.00	164,585.00	1,394,034,950
坪沼農場	仙台市太白区坪沼	326,885.66	0.00	0.00	326,885.66	224,461,357
計		699,803.28	0.00	0.00	699,803.28	4,630,665,651

(2) 建物
(単位 : m² (延床面積)、円)

区分	所在地	前年度末 現在高	当該年度中増減高 増 減	決算年度末 現在高	価格	備考
大和キヤンバス	黒川郡大和町学苑	42,480.61	0.00	0.00	42,480.61	4,049,154,579
教員宿舎	仙台市泉区高森	3,303.46	0.00	0.00	3,303.46	205,684,450
太白キヤンバス	仙台市太白区旗立	23,102.11	0.00	0.00	23,102.11	914,492,478
坪沼農場	仙台市太白区坪沼	2,853.10	0.00	0.00	2,853.10	7,962,585
計		71,739.28	0.00	0.00	71,739.28	5,177,294,092

(当該年度中増減があった内容)

所在地	名称	構造	前年度末 現在高	当該年度中 増減高	決算年度末 現在高	増減理由
黒川郡大和町学苑	令和6年度宮城大学大和IC本部棟外衛生設備更新工事		0	0	0	建物価値の増加 (51,844,002円)
仙台市太白区旗立	システムキッチン一式		0	0	0	建物価値の増加 (1,712,150円)
仙台市太白区旗立	太白キヤンバス実験棟スタディルーム1給排気等設備工事		0	0	0	建物価値の増加 (4,405,500円)
仙台市太白区旗立	太白キヤンバス実験棟スタディルーム1電気設備工事		0	0	0	建物価値の増加 (2,256,100円)
仙台市太白区旗立	令和6年度太白キヤンバス北研究棟5階空調設備改修工事		0	0	0	建物価値の増加 (6,378,171円)
仙台市太白区旗立	実験棟1F特殊機器室空調更新		0	0	0	建物価値の増加 (1,320,000円)
仙台市太白区旗立	令和6年度宮城大学太白Cレスタン棟空調設備改修工事		0	0	0	建物価値の増加 (33,631,960円)
仙台市太白区旗立	令和6年度宮城大学太白Cモガルホール女子トイレ洋式化工事		0	0	0	建物価値の増加 (2,913,260円)

II 法人が策定した指針・計画等

令和6年度中に施行された規則、規程、指針等一覧

No.	規則、規程、指針等の名称	理事会		施行日等		備考
		回	開催日	施行日	適用日	
1	令和6年度科目担当教員の配置並びに令和6年度非常勤講師人件費予算及び任用方針	203	令和5年9月27日	—	—	策定
2	令和6年度年度計画策定の基本方針	205	令和5年11月29日	—	—	策定
3	令和6年度予算編成の基本方針	205	令和5年11月29日	—	—	策定
4	宮城大学大学院アドミッション・ポリシー	206	令和5年12月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
5	公立大学法人宮城大学役員等報酬規程	206	令和5年12月27日	令和5年12月27日	令和6年4月1日	一部改正
6	公立大学法人宮城大学賃金規程	206	令和5年12月27日	令和5年12月27日	令和6年4月1日	一部改正
7	令和6年度当初予算原案	208	令和6年2月28日	—	—	策定
8	学士課程(全学)カリキュラムポリシー	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
9	看護学群カリキュラムポリシー	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
10	事業構想学群カリキュラムポリシー	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
11	食産業学群カリキュラムポリシー	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
12	看護学研究科カリキュラム・ポリシー	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
13	事業構想学研究科カリキュラム・ポリシー	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
14	食産業学研究科カリキュラム・ポリシー	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
15	宮城大学学則	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
16	宮城大学履修規程	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
17	宮城大学大学院学則	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
18	宮城大学大学院看護学研究科履修規程	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
19	宮城大学大学院事業構想学研究科履修規程	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
20	宮城大学大学院食産業学研究科履修規程	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
21	宮城大学学生納付金規程	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
22	宮城大学学生納付金の減免等に関する規程	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
23	公立大学法人宮城大学業務アシスタント取扱規程	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
24	公立大学法人宮城大学施設等管理使用規程	208	令和6年2月28日	令和6年4月1日	—	一部改正
25	令和6年度年度計画	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
26	令和6年度当初予算	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
27	公立大学法人宮城大学基本規則	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
28	公立大学法人宮城大学教育研究審議会運営規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
29	公立大学法人宮城大学事務組織規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
30	公立大学法人宮城大学学系組織運営規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
31	公立大学法人宮城大学評価委員会運営規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
32	公立大学法人宮城大学教育研究評価委員会運営規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正

令和6年度中に施行された規則、規程、指針等一覧

No.	規則、規程、指針等の名称	理事会		施行日等		備考
		回	開催日	施行日	適用日	
33	公立大学法人宮城大学広報委員会規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
34	宮城大学カリキュラムセンター運営規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
35	宮城大学ステューデントサービスセンター運営規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
36	宮城大学キャリア・インターンシップセンター運営規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
37	宮城大学キャンパス整備委員会運営規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
38	公立大学法人宮城大学学術情報センター運営規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
39	公立大学法人宮城大学情報公開規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
40	公立大学法人宮城大学の保有する個人情報の保護に関する規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
41	公立大学法人宮城大学危機管理規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
42	公立大学法人宮城大学公印規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
43	公立大学法人宮城大学文書規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
44	公立大学法人宮城大学行政文書管理規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
45	公立大学法人情報戦略推進会議運営規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
46	公立大学法人宮城大学業務アシスタント取扱規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
47	宮城大学日本学生支援機構奨学金返還免除候補者選考規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
48	公立大学法人宮城大学教員人事規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
49	宮城大学学生の懲戒に関する取扱規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	制定
50	宮城大学学生ボランティア取扱規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
51	公立大学法人宮城大学研究委員会運営規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
52	公立大学法人宮城大学研究倫理審査規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
53	公立大学法人宮城大学発明等取扱規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
54	公立大学法人宮城大学利益相反管理規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
55	公立大学法人宮城大学遺伝子組換え実験安全管理規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
56	公立大学法人宮城大学薬品等管理規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
57	公立大学法人宮城大学における研究論理の保持並びに研究活動上の不正行為及び研究費の不正使用の防止等に関する規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
58	公立大学法人宮城大学における公的研究費の不正防止計画	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
59	公立大学法人宮城大学受託研究取扱規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
60	公立大学法人宮城大学共同研究取扱規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
61	公立大学法人宮城大学研究推進・地域未来共創センター運営規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
62	公立大学法人宮城大学定年規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	制定
63	公立大学法人宮城大学賃金規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
64	公立大学法人宮城大学退職手当規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正

令和6年度中に施行された規則、規程、指針等一覧

No.	規則、規程、指針等の名称	理事会		施行日等		備考
		回	開催日	施行日	適用日	
65	公立大学法人宮城大学職員再雇用規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
66	公立大学法人宮城大学就業規則	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
67	公立大学法人宮城大学業務限定職員就業規則	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
68	公立大学法人宮城大学職員服務規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
69	公立大学法人宮城大学事務局長等の職に宮城県職員を任用する場合の就業条件の特例に関する規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
70	公立大学法人宮城大学職員の服務の宣誓に関する規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
71	事務局職員昇給取扱要綱	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
72	事務局職員評価要綱	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
73	公立大学法人宮城大学会計規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
74	公立大学法人宮城大学債権管理規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
75	公立大学法人宮城大学資金管理規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
76	公立大学法人宮城大学契約事務取扱規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
77	公立大学法人宮城大学入札保証金の免除の特例に関する規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
78	公立大学法人宮城大学会計規程実施規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
79	公立大学法人宮城大学震災復興基金規程	209	令和6年3月27日	令和6年4月1日	—	一部改正
80	宮城大学学則	210	令和6年4月24日	令和6年5月1日	—	一部改正
81	宮城大学学部教授会運営規程	211	令和6年5月30日	令和6年5月30日	—	廃止
82	宮城大学看護学部履修規程	211	令和6年5月30日	令和6年5月30日	—	廃止
83	宮城大学事業構想学部履修規程	211	令和6年5月30日	令和6年5月30日	—	廃止
84	宮城大学食産業学部履修規程	211	令和6年5月30日	令和6年5月30日	—	廃止
85	公立大学法人宮城大学情報システム及び情報資産の利用等並びに情報セキュリティ対策に関する規程	211	令和6年5月30日	令和6年5月30日	—	一部改正
86	宮城大学入学金の減免等の特例に関する規程	211	令和6年5月30日	令和6年5月30日	—	一部改正
87	宮城大学アドミッション・ポリシー	211	令和6年5月30日	令和6年5月30日	—	一部改正
88	令和5年度業務実績報告書	212	令和6年6月26日	—	—	策定
89	令和5年度決算報告書	212	令和6年6月26日	—	—	策定
90	公立大学法人宮城大学基本規則	212	令和6年6月26日	令和6年6月26日	—	一部改正
91	公立大学法人宮城大学有期雇用職員就業規則	212	令和6年6月26日	令和6年6月26日	令和6年4月1日	一部改正
92	公立大学法人宮城大学業務限定職員就業規則	212	令和6年6月26日	令和6年6月26日	令和6年4月1日	一部改正
93	宮城大学無料職業紹介業務運営規程	212	令和6年6月26日	令和6年6月26日	—	一部改正
94	有期雇用職員評価要綱	212	令和6年6月26日	令和6年6月26日	—	策定
95	事務局職員評価要綱	212	令和6年6月26日	令和6年6月26日	—	一部改正
96	公立大学法人宮城大学における国民年金保険料学生納付特例の申請に関する事務取扱規程	213	令和6年7月31日	令和6年7月31日	—	策定

令和6年度中に施行された規則、規程、指針等一覧

No.	規則、規程、指針等の名称	理事会		施行日等		備考
		回	開催日	施行日	適用日	
97	令和6年度9月補正予算	215	令和6年9月25日	—	—	策定
98	公立大学法人宮城大学業務アシスタント取扱規程	215	令和6年9月25日	令和6年10月1日	—	一部改正
99	宮城大学学生納付金規程	217	令和6年11月27日	令和6年12月1日	—	一部改正
100	宮城大学学生納付金の減免等に関する規程	217	令和6年11月27日	令和6年12月1日	—	一部改正
101	宮城大学日本学生支援機構奨学金返還免除候補者選考規程	217	令和6年11月27日	令和6年12月1日	—	一部改正
102	会計規程実施規程	217	令和6年11月27日	令和6年11月27日	—	一部改正
103	公立大学法人宮城大学役員報酬等規程	218	令和6年12月25日	令和6年12月25日	令和6年4月1日	一部改正
104	公立大学法人宮城大学賃金規程	218	令和6年12月25日	令和6年12月25日	令和6年4月1日	一部改正
105	令和6年度最終補正予算	219	令和7年1月30日	—	—	策定

※ 上表中、No.3~20、26~28、62~64、73、80~84、87、89、90、97、103~105(網掛け部分)については、規程等の「改正の概要」等を添付。

【参考】「公立大学法人宮城大学定款」第4章 審議機関

第1節 経営審議会(第22条)、第2節 教育研究審議会(第26条)に定める審議事項 ※関係部分のみ要約

■予算の編成、執行、決算に関する事項 ■学部、大学院など重要な組織の設置、改廃のうち、教育研究に関するもの

■法人の基本的な規則(経営に関するもの。)及び会計規程、役員報酬・職員給与の基準等経営に係る重要な規程の制定、改廃

■法人の基本的な規則(教育研究に関するもの。)及び教育研究に係る重要な規程の制定、改廃

令和6年度予算編成の基本方針（案）

令和5年11月29日
理事長 佐野 好昭

会計規程第13条及び財務運営要綱第7条に基づき、令和6年度予算編成の基本方針を策定するもの。

1. 予算編成方針について

令和5年度は、エネルギー価格の高騰による光熱水費急増及び施設・設備の老朽化対応などから支出規模が膨らみ、法人化以来最も厳しい財政状況に直面する中で、前例のない財源制約の状況で予算編成を行ったところである。

令和6年度においては、第3期中期計画の4年目となることから、老朽化や物価高騰の対策と並行して、計画策定期からの状況の変化に対応した各種事業の展開や設備投資を進めていく必要がある。

こうした現状認識のもと、令和6年度当初予算は、昨年度削減した教育研究予算の復元・引き上げをはかり、教育・研究活動の活性化を図ると共に、新たに支出に関して「課題解決枠」を設けることで、社会状況の変化を捉えた教育・研究活動や環境整備に力を入れていく所存である。

2. 収入予算要求について

収入予算を堅実に見積もるため、原則、実績等に基づき適切に要求を行うこと。併せて、以下（1）－（3）の検討を引き続き進めること。

- (1) 科学研究費補助金及び受託研究等の研究資金、並びに補助事業等について、戦略的な外部資金獲得を行うとともに、受託研究等に係る間接経費の引き上げを図るなど、自己財源の増強・確保に努めること。
- (2) エネルギー価格や物価の高騰を踏まえ、施設賃料（空調利用料等を含む）を始め、大学の裁量で融通が可能な収入予算項目については、自己財源の積み上げに繋がる見直しを進めること。
- (3) 第3期中期計画期間に掲げた授業料等の適正化については、諸般の社会・経済情勢及び他国公立大学法人等の対応状況を注視するとともに、収入予算確保の中長期的な対策として、授業料等の改定も念頭に、具体的な検討を進めること。

3. 支出予算要求について

中期計画に掲げた事業の遂行が滞ることのないように留意しながら、年間の所要額を確実に計上すること。

なお、予算要求にあたっては、前例を踏襲した安易な要求は厳に慎み、部門予算責任者の責任において、過年度決算の実績を十分に考慮するとともに、スクラップアンドビルトを念頭にメリハリのある予算要求を行うこと。

その他、以下（1）－（2）のとおりとするが、要求額の妥当性等については役員ヒアリング等において改めて精査を行うこととする。

（1）各部門からの予算要求については、原則「要求基礎額（別紙1）」の範囲内で要求を行うこと。なお、教職員の人物費については、ベースアップによる増額等も考慮し、要求基礎額を超えた要求はやむを得ないものとする。

【要求基礎額の基本的な考え方】

- ①令和6年度要求基礎額は、令和5年度要求基礎額を基準にしており、以下②～⑤に該当しないものについては、同額としている。
- ②令和5年度当初予算及び9月補正予算にて、令和5年度要求基礎額を超過して予算が配分されたもので、一過性ではないものについては、令和5年度当初予算額又は9月補正予算額を令和6年度要求基礎額の基準としている。
- ③教育経費・研究経費・教育研究支援経費のうち、令和5年度にシーリング対象となった予算科目については、一部復元することとし、令和5年度要求基礎額×1.5%を加算している。なお、契約済みで確定している金額や交付金の精算対象となる金額については加算対象から除いている。
- ④令和5年度の一過性の経費等、令和6年度に発生しないことが見込まれる特殊要因については、令和6年度要求基礎額から除いている。
- ⑤上記に寄らず、個別に取り扱った予算科目については、「予算科目個別の取扱い（別紙2）」に記載のとおり。

（2）「課題解決枠」として、要求基礎額とは別に、以下のようないくつかの経費について、広く要求を受け付ける。なお、課題解決枠は、既存事業を十分精査した上で要求を行うこととし、業務量の負荷も十分勘案の上、無理のない事業提案を行うこと。

【課題解決枠の要求例】

- ①第3期中期計画の目標を達成するため新たに取り組むべき事業・拡充すべき事業
 - ②第3期中期計画策定以降に発生した社会状況等の変化により必要となった事業・設備投資
 - ③教育・研究活動に支障をきたしかねない実験実習機器や教育機器の老朽更新・修繕
 - ④建物・施設の老朽対策や安全確保に向けた改修
 - ⑤生産性・効率性の向上にむけたシステムの構築・改修
 - ⑥今後の取り組むべき方向を検討するための調査
- ※③及び④については、1件あたり500万円以内の案件を対象とする。

4. 「予算要求調書」の作成・提出について

- ・本法人は、部門予算責任者が担当予算科目の要求、執行について責任を持つ体制となっていることを踏まえ、必要経費について要求漏れがないよう、かつ、積算根拠やその必要性が明瞭となるよう留意し、年度計画との関係性を十分に確認のうえ、今年度の実績見込みも考慮し、積算・要求を行うこと。その上で、「予算要求調書の作成について（別紙3）」を参照し、期限までに必要資料を提出すること（期限厳守）。
- ・「課題解決枠」については、予算要求調書は別建てとせずに、課題解決枠で要求する事業及び金額がわかるように明示すること。また、当該事業に係る見積書及び必要性がわかる資料を別途提出すること（任意様式）。
- ・教育経費・研究経費・教育研究支援経費については、提出前に学長への説明を行い、要求内容を確認いただくこと。
- ・予算科目が存在しない事業について要求がある場合は、必ず事前に財務課宛て相談すること（予算要求調書の提出締切を個別に融通することはしないので、期限に余裕を持って相談すること）。

〔参考：令和6年度当初予算編成スケジュール〕

令和5年11月中旬	基本方針（案）を各部門予算責任者へ共有（作業開始）
11月29日（水）	理事会で基本方針を決定 基本方針を各部門予算責任者へ通知
令和6年1月11日（木）	予算要求調書の提出期限【厳守】
1月22日（月）～	理事長・副理事長・理事によるヒアリング
2月28日（水）	予算原案を理事会へ付議
2月下旬～3月上旬	部門予算責任者へ予算内示
3月18日（月）	予算原案に基づく予算案を教育研究審議会へ報告
3月22日（金）	予算原案に基づく予算案を経営審議会へ付議
3月27日（水）	予算案を理事会へ付議（決定）

令和6年度当初予算 要求基礎額

【色分けについて】

令和5年度要求基礎額が基準 運営費交付金精算対象案件 もしくは外部資金	令和5年度当初予算額又は9月補正予算額が基準 個別の取扱い
---	----------------------------------

(単位:千円)

款	項	目	細目	細々目	R5要求基礎額	R5当初予算額	R6要求基礎額	R6要求基礎額参考
01教育経費	01学群経費	11看護学群教育費	12,606	12,759	12,948	12,759+(R5要求基礎額(SUS経費移管後)*0.015) 12,759/(12,606*0.015)≈12,948 ※コピー代除く		
			23,481	22,505	23,833		R5要求基礎額*1.015	
			36,087	35,264	36,781			
			14,840	15,246	15,469	R5当初+(R5要求基礎額(SUS経費移管後)*0.015) 15,246+(14,840*0.015)≈15,469 ※コピー代除く		
			5,094	5,094	5,170	R5要求基礎額*1.015		
			691	690	0	課題解決枠での要求を前提とするため、要求基礎額は0円とする		
			20,625	21,030	20,639			
			15,319	15,319	15,549	R5要求基礎額(SUS経費移管後)*1.015 ※コピー代除く		
			19,476	19,476	20,532	R5要求基礎額*1.015 実験実習機器修繕費 19,476*1.015+764≈20,532 ※実験実習機器修繕費は総額が4,500千円となるように算出 4,500*(3,681*1.015)≈764		
			12,036	13,021	12,217	R5要求基礎額*1.015 ※R5当初には特需要因(牛購入費:1,000千円)が含まれたため、R5要求基礎額を採用		
			46,831	47,816	48,298			
			11,260	11,259	11,429	R5要求基礎額(SUS経費移管後)*1.015 ※コピー代除く		
			1,854	1,851	1,882	R5要求基礎額*1.015		
	02研究科経費	学群経費計	116,657	117,220	119,029			
		11看護学研究科教育費	3,905	3,884	3,964	R5要求基礎額*1.015		
01 経常費用	02研究科経費	21事業構想学研究科教育費	2,065	2,065	2,096	R5要求基礎額*1.015		
		29事業構想学研究科教育改善経費	965	964	0	課題解決枠での要求を前提とするため、要求基礎額は0円とする		
		31食産業学群教育費	2,955	2,955	2,999	R5要求基礎額*1.015		
		研究科経費計	9,890	9,868	9,059			
	03全学務費	11アドミッションセンター経費	29,597	30,116	30,501	R5当初+(R5要求基礎額-契約済額)*0.015 30,116-(29,597-3,955)*0.015≈30,501		
		12カリキュラムセンター経費	8,293	7,995	8,417	R5要求基礎額(移管後)*1.015		
		13スクエアードサービスセンター経費	19,048	17,180	19,315	R5要求基礎額(移管後)-契約済額*1.015+契約済額 19,048-1,243*1.015+1,243≈19,315		
		14キャリア・インセンシップセンター経費	8,699	8,699	8,828	R5要求基礎額-契約済額*1.015+契約済額 8,699-110*1.015+110≈8,828		
		15地域連携実践教育費	14,985	14,985	9,854	R5要求基礎額-契約済額-特殊要因(特任調査研究員人件費)*1.015+契約済額 (14,985-480-5,270)*1.015+480≈9,854		
		全学務費計	80,622	78,975	76,915			
	01 業務費	教育経費計	207,169	206,063	205,003			
		01基礎的研究費	35,000	35,000	35,000	R5要求基礎額と同額		
02 研究経費	01教員研究費・海外旅費	02特別研究費	35,890	35,000	35,000	R5当初と同額		
		03国際研究費		2,000	2,000	R5当初と同額		
		教員研究費計	70,890	72,000	72,000			
		04国際学会等派遣旅費	1,455	1,500	1,500	R5当初と同額		
	02共通研究経費	02共通研究費	10,318	9,712	9,806	R5研究推進・地域未来共创推進費について、左記要求基礎額においてはR5当初と同額 (3,92)で設定しているが、当該分については、R5.12月の研究委員会で報告した科研費開拓 経費便用便益額の25%の金額を要求すること(最終的にはR6.1月の研究委員会での報告數 25%を配分する予定) ・上記以外の部分については、上記を除くR5要求基礎額*1.015 5,777*1.015≈5,864に收めること		
		研究経費計	82,663	83,212	83,306			
	03 教育研究支援経費	01学術情報センター経費	72,926	77,062	82,244	R5当初+(R5要求基礎額-契約済額-交付金精算対象(授業目的公衆送信権金))*0.015+ 77,062-(72,926-25,663-1,513)*0.015+4,496≈82,244 為替要因		
		02情報システムセンター経費	184,233	184,209	190,664	R5要求基礎額-契約済額*1.015+契約済額+特殊要因(情報NW更新増及びAdobe更新増) (184,233-136,551)*1.015+136,551+4,644+1,072≈190,664千円		
		03国際交流・留学生センター経費	6,996	6,535	8,197	R59月補正後+(R5要求基礎額*0.015)*為替要因 7,485*(6,996*0.015)+607≈8,821		
		04研究推進・地域未来共创センター経費	40,506	36,323	36,427	・うち人件費(常勤職員3名、非常勤職員1名):29,312(R5当初予算を自安額として設定して いるが実績に基づき要求すること) ・うち受託事業費:1,005(R5当初予算を自安額として設定しているが実態に基づき要求するこ う) ・うちその他経費:R5要求基礎額*1.015 6,020*1.015≈6,110		
		06学外者教育費	1,972	1,522	1,522	専門研修受講料収入の見込額を踏まえた上で、要求すること(左記はR5当初予算額) ※収支同額である必要はない		
		02リカレント教育推進経費	0	0	10,000	リカレント教育事業に係る経費の自安額として10,000千円を設定する リカレント教育事業推進本部の運営費用も含む		
		07高大連携事業費	702	702	713	R5要求基礎額*1.015		
		08情報戦略推進室経費	0	1,101	1,101	R5当初と同額 ※R5要求基礎額が設定されておらず、また、R59月補正における要求は特殊要因(分析支援 サービスの試行)であるため、R5当初を採用		
		教育研究支援経費計	307,335	307,454	330,868			
	04 受託研究費	01受託研究費(直接経費)	72,000	76,500	76,500	直接経費部分は収支同額で要求すること(左記はR5当初)		
		02共同研究費(直接経費)	0	0	0	直接経費部分は収支同額で要求すること(左記はR5当初)		
05 受託研究費(直接経費)	受託研究費(直接経費)			72,000	76,500	76,500		
	01受託事業費	01大学入学共通テスト実施経費	3,977	3,977	3,977	受託事業収入の見込額に基づき、収支同額で要求すること(左記はR5当初)		
	受託事業費計			3,977	3,977	3,977		
	06補助金事業費	01補助金事業費	0	3,400	0	案件がある場合は補助事業毎に要求するものとし、直接経費部分は収支同額で要求し、間接経費がある場合はその部分を明示すること		
	補助金事業費計			0	3,400	0		
	07寄附金事業費	01奖学寄附金研究経費(直接経費)	13,680	14,013	14,013	直接経費部分は収支同額で要求すること(左記はR5当初)		
		02宮城大学ネクストリーダーズ基金事業費	3,000	3,000	0	ネクストリーダーズ基金事業計画専門委員会で採択された事業について、事業ごとに要求す ること		

令和6年度当初予算 要求基礎額

【色分けについて】

令和5年度要求基礎額が基準 運営費交付金精算対象案件 もしくは外部資金	令和5年度当初予算額又は9月補正予算額が基準 個別の取扱い
---	----------------------------------

(単位:千円)

款	項	目	細目	細々目	R5要求基礎額	R5当初予算額	R6要求基礎額	R6要求基礎額備考	
		寄附金事業費計			16,680	17,013	14,013		
		08役員人件費	01理事長・副理事長・理事人件費		51,240	55,048	56,240	宮城県に直近で報告しているR6年度執行見込額と同額で要求すること (左記は直近の所要見込額)	
			02監事人件費		945	945	945	R6要求基礎額と同額(目安額)	
		役員人件費計			52,185	55,993	57,185		
		09教員人件費	01教員人件費		1,572,111	1,525,637	1,572,111	宮城県に直近で報告しているR6年度執行見込額と同額で要求すること (左記は第3期中期計画額)	
			02非常勤教員人件費		37,073	45,460	45,460	R6当初予算額と同額(目安額)	
			03特任教員人件費		41,645	40,644	41,645	宮城県に直近で報告しているR6年度執行見込額と同額で要求すること (左記は第3期中期計画額)	
		教員人件費計			1,650,829	1,611,741	1,659,216		
		10事務職員人件費	01事務職員人件費		433,517	473,840	464,210	宮城県に直近で報告しているR6年度執行見込額と同額で要求すること (左記は直近の所要見込額)	
			02非常勤事務職員人件費		142,386	138,296	142,386	R6要求基礎額と同額(目安額)	
		事務職員人件費計			575,903	612,136	606,596		
		人件費計			2,278,917	2,279,870	2,322,997		
		業務費計			2,968,741	2,977,489	3,036,664		
01 経常費用	01一般管理費	01法人費用	01役員等費用		1,537	1,859	1,859	R6当初と同額	
			02経営審議会費		261	187	261	R6要求基礎額と同額	
			04弁護士・社労士・会計士・税理士費用		3,595	3,597	4,136	R6月補正後と同額	
			05会計監査人費用		7,986	7,986	7,986	R6要求基礎額と同額	
			07評議会開催費用		437	437	437	R6要求基礎額と同額	
			法人費用計		13,816	14,066	14,679		
		02事務経費	01庁舎管理経費		306,127	281,700	287,358	R6当初コロナ関連業務費+太白C施設総合管理業務委託更新増額見込 281,700-7,914+13,572=287,358	
			02光熱水費		259,212	279,472	197,040	現状に合わせて調整	
			03公用車等経費		5,014	26,931	5,014	R6要求基礎額と同額 ※R5当初には特種要因(太白バス購入費:22,019千円)が含まれるため、R6要求基礎額を採用	
			04事務局経費		28,219	27,916	28,219	R6要求基礎額と同額	
			05財務会計システム運営費		4,356	6,050	4,356	R6要求基礎額と同額 ※R5当初には特殊要因(インボイス対応改修費:1,694千円)が含まれるため、R6要求基礎額を採用	
			06給与計算アウトソーシング		634	634	634	R6要求基礎額と同額	
			07銀行振込手数料		1,611	1,051	1,051	R6当初と同額 ※R5要求基礎額には減免対象であった給与振込手数料が含まれるため、R5当初を採用	
			08職員健康診断費		733	677	3,611	R6要求基礎額と同額	
			09職員採用経費		1,533	1,533	2,009	過去の補正額等を踏まえて、年間で必要な経費を要求すること (左記はR4最終補正後)	
			10産業医		1,536	1,536	1,536	R6要求基礎額と同額	
			11公租公課		8,243	7,085	8,243	要求基礎額を超過した要求もやむを得ないものとし、適切に要求すること	
			12事務局職員研修経費		1,589	1,589	1,589	R6要求基礎額と同額	
			13学務管理システム運営費		24,654	13,242	13,906	R6当初予算要求時の提出資料記載のR6所要見込額	
			14人事給与システム運営費		4,672	4,246	4,246	R6当初と同額 ※R5当初予算要求書記載のR6所要見込額と同額のため、R5当初を採用	
		事務経費計			648,133	653,662	558,812		
		03維持修繕費	01建物設備維持管理経費		36,957	33,957	36,957	R6要求基礎額と同額	
			02施設・環境整備費		30,000	41,715	20,000	左記の金額内で、キャンパス整備委員会で要望を整理の上、要求すること	
			維持修繕費計		66,957	75,672	56,957		
			04企画・広報費		34,408	34,408	34,408	R6要求基礎額と同額	
			05教員宿舎費		3,690	2,265	3,690	R6要求基礎額と同額	
		一般管理費計			767,004	780,073	668,546		
経常費用計(退職金を除く)					3,735,745	3,757,562	3,705,210		
02退職手当費用					54,458	54,458	71,897	宮城県に直近で報告しているR6年度執行見込額と同額で要求すること (左記は第3期中期計画額)	
経常費用計(退職金を含む)					3,790,203	3,812,020	3,777,107		
03大規模修繕費					284,563	284,563	388,948	・運営費補てん分:379,912については、宮城県に報告しているR6年度執行見込額と同額で要求すること ・自己財源分(登録者支援業務):9,036については契約済額 ・要求時には財源を明確に分けて要求すること(調書は1枚で良い)	
04実験実習機器更新費					58,830	58,830	62,250	宮城県に報告しているR6年度執行見込額と同額で要求すること (左記はR5.10月に県へ報告したR6執行見込額)	
課題解決枠					0	0	30,000		
合計					4,133,596	4,155,413	4,258,305		

令和6年度当初予算要求に係る予算科目個別の取扱い

令和6年度当初予算編成において、以下の予算科目については、個別の取扱いを設定するので、以下の内容に応じて要求すること。

〔収入予算科目〕

・運営費交付金、補助金等収益（宮城県から交付を受けるものに限る）

宮城県から交付される運営費交付金および補助金については、宮城県が算定する予算額に基づき適正に要求すること。

・授業料収入、入学金収入

収入予算を堅実に見積もる目的から、近年の実績等に基づき適正に要求すること。なお、大学院生の人数の算定については、学務課と企画・入試課で調整のうえ、整合を取ること。また、修学支援新制度および震災減免による減免費用については、財務課と調整のうえ、宮城県が算定する補てん分の予算額を反映すること（震災減免については、現時点では国の支援の打ち切り等が確定していないことから、当該制度が継続することを前提として予算編成を行うもの）。

・受託研究等収入（共同研究含む）、奨学寄附金収入、科学研究費補助金間接経費収入

年度計画の目標数値で要求することは妨げないが、いずれも事業本体の費用（直接経費）以外に係る間接経費収入を含むため、近年の実績との乖離が大きく見受けられる場合などは、収入予算を堅実に見積もる目的から、財務課にて減額査定を行う可能性もある旨、留意すること。

・専門研修受講料

収入予算を堅実に見積もる目的から、収支同額でなくて良いので、近年の実績等に基づき適正に要求すること。

・地域振興寄附金取崩

令和4年度末時点の地域振興寄附金残高は57,549千円であり、令和5年度の取崩予算額は29,312千円であることから、28,237千円を要求上限額とする。

〔支出予算科目〕

・学群経費、研究科経費

学群経費及び研究科経費については、同学群・研究科の要求基礎額の総額の範囲で、適宜、要求基礎額を移管してよい。

・事業構想学群教育改善経費、事業構想学研究科教育改善経費

教育改善経費は他の予算科目に当てはまらない案件を割り当てるものであるため、要求基礎額は0円とする。なお、要求がある場合は、課題解決枠での要求を行うこと。

・食産業学群実験実習費

近年の実績を基に、1件あたり1,000千円未満の実験実習機器の修繕費用として、4,500千円を確保できるように要求基礎額を設定している。1件あたり1,000千円以上の実験実習機器の修繕が見込まれる場合や修繕費用が不足する場合は、課題解決枠にて要求すること。

・地域連携実践教育費

令和5年度当初予算要求基礎額から、雇用終了予定の特任調査研究員の人事費を差し引いた金額を基準に、1.5%を加算した金額とする。なお、契約済みの公用車のリース料金分は加算の対象外とする。

・共通研究費

前年度科研費間接経費獲得実績の25%を「研究推進・地域未来共創推進費」として配分するため、当該経費については、12月の研究委員会で報告した獲得実績に基づいて要求を行うこと。なお、実際の配分時には、1月の研究委員会で報告された獲得実績の25%を配分する（毎年度1月の研究委員会で報告された獲得実績に基づき配分するもの）。

上記以外の部分については、「研究推進・地域未来共創推進費」を差し引いた部分（5,777千円）を基準に、1.5%加算したものをおもに要求基礎額とする。

・学術情報センター経費

為替要因による海外関係支出の増額を加味し、1.5%の加算後の金額に、4,496千円（令和5年度当初予算要求における海外関係支出－令和4年度当初予算要求における海外関係支出）を加算したものを要求基礎額とする。

・情報システムセンター経費

契約更新に伴う増額（情報ネットワークシステム：4,644千円、Adobe ソフトウェア使用許諾契約：1,072千円）を加味し、1.5%の加算後の金額に5,716千円を加えたものを要求基礎額とする。

・国際交流・留学生センター経費

令和5年度9月補正予算後の予算額を基準に1.5%を加算している。また、為替要因による海外関係支出の増額を加味し、更に607千円（令和5年度当初予算要求における海外関係支出×13%（US ドル円の上昇率）+令和5年度9月補正予算要求における海外関係支出

×7% (US ドル円の上昇率)) を加算したものを要求基礎額とする。

・研究推進・地域未来共創センター経費

当該予算下における人件費（常勤事務職員3名・非常勤事務職員1名分）については、令和5年度当初予算と同額を要求基礎額とするが、人件費部分に限り、要求基礎額を超過した要求もやむを得ないものとする。なお、地域振興寄附金取崩財源分と収支同額にしなくてもよい。

また、受託事業費部分については、「研究推進・地域未来共創センター収入」と収支同額で要求すること。

上記以外の部分については、令和5年度当初予算要求基礎額から人件費および受託事業費を差し引いた金額をベースに、1.5%のシーリング戻しを行った金額を要求基礎額とする。

・専門研修経費

専門研修受講料収入の見込額を踏まえた上で、専門研修に要する経費を要求すること。なお、必ずしも収支同額にしなくてもよい。

・リカレント教育推進経費

10,000千円を目安額として設定するので、リカレント教育推進本部にて要望を整理の上、要求すること。なお、こちらには各学群のリカレント教育事業に要する経費の他、リカレント教育推進本部の運営に要する経費も含む。

・情報戦略推進室経費

令和5年度に新設された予算科目であり、令和5年度要求基礎額が設定されていないため、令和5年度当初予算を要求基礎額とする。なお、令和5年度9月補正予算における分析支援サービスについては、1度きりの導入（試行）として、要求基礎額からは除いているため、令和6年度以降も継続して使用する場合は、課題解決枠にて要求すること。

・受託研究費、共同研究費、受託事業費、補助金事業費、奨学寄付金研究経費

上記外部資金等については、要求基礎額は設定しないが、直接経費部分については収支同額で要求を行うこと（「別紙1」に記載している「要求基礎額」は目安額とする）。

・宮城大学ネクストリーダーズ基金事業費

令和5年12月に開催予定のネクストリーダーズ基金事業計画専門委員会で採択された事業について、事業の担当者が事業ごとに要求すること。

・理事長・副理事長・理事人件費、教員人件費、特任教員人件費、事務職員人件費、退職手

当費用、大規模修繕費、実験実習機器更新費

運営費交付金の精算対象となっている上記予算科目については、要求基礎額は設定しないため、県に報告している令和5年度執行見込額に基づいて要求を行うこと（「別紙1」に記載している「要求基礎額」は目安額とする）。

・監事人件費、非常勤教員人件費、非常勤事務職員人件費

要求基礎額は、令和5年度当初予算要求基礎額と同額とするが、要求基礎額を超過した要求もやむを得ないものとする。

・庁舎管理経費

令和5年度当初予算から新型コロナウイルス感染症対策に係る委託費用を削減し、令和6年度の契約更新に係る増額見込分を加味したものと要求基礎額とする。

・光熱水費

現時点での所要見込額を要求基礎額とする。

・職員健康診断費

健康診断の業務委託に係る契約更新に伴う増額が見込まれることから、第3期中期計画における令和6年度予算額を要求基礎額とする。

・職員採用経費

最終補正予算での増額要求が続いているため、当初予算要求にて、年間を通して必要な経費を要求するよう努めること。要求基礎額は、令和4年度最終補正後の予算額を目安として設定する。

・公租公課

税金については納税義務があるため、要求基礎額を超過した要求もやむを得ないものとし、適切に要求すること（「別紙1」に記載している「要求基礎額」は目安額とする）。

・学務管理システム運営費

令和5年度当初予算要求時に提出された資料に記載されている令和6年度所要見込額を要求基礎額とする。

・施設・環境整備費

20,000千円を上限額として設定するので、キャンパス整備委員会にて要望を整理した上で要求すること。

議案 1

概要書

(議案 1 - 1)

宮城大学アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）の一部改正について

令和5年12月27日
第206回理事会資料

1. 趣旨

令和4年度中に機関決定され、公表した「令和7年度大学入学者選抜における利用教科・科目等について」第1報、第2報（以下「予告」という。）に基づき、宮城大学アドミッション・ポリシーを一部改正するとともに、一部文言を整える。

2. 主な改正点

- (1) 一般選抜での大学入学共通テストの利用教科・科目数
- (2) 学校推薦型選抜での大学入学共通テストの利用教科・科目数
- (3) 全学アドミッション・ポリシーに関する文言の整理

3. 改正内容

別添「宮城大学アドミッション・ポリシー新旧対照表」のとおり

4. 施行年月日

令和6年4月1日（予定）

以上

公立大学法人宮城大学役員報酬等規程の一部改正について

1 改正趣旨

公立大学法人宮城大学役員の報酬について、設立団体である宮城県の「特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例」の改正等に準じた規程の一部改正を行うもの。

2 改正の内容

(1) 給料（第5条）

理事長及び副理事長の給料を3,000円引上げ

(2) 期末特別手当（第7条）

3.3月分から3.4月分へ引上げ

	年 度	6月期	12月期
期末特別手当	R05年度 (※特例措置)	1.65月（支給済み）	<u>1.75月（現行1.65月）</u>
	R06年度以降	<u>1.70月（現行1.65月）</u>	<u>1.70月（現行1.65月）</u>

3 施行年月日

令和5年12月27日から施行する。2(1)の給料の改正は令和5年4月1日から適用する（差額支給）。2(2)の期末特別手当の改正は令和6年4月1日から適用し、令和5年12月期の期末特別手当について、附則により特例措置を講ずる（差額支給）。

4 新旧対照表

別紙のとおり

公立大学法人宮城大学賃金規程の一部改正について

1 改正趣旨

公立大学法人宮城大学職員の賃金について、設立団体である宮城県の給与条例等の改正に準じた規程の改正を行うもの。(宮城県人事委員会勧告に基づき、宮城県と同様の改正を行うもの。)

2 改正の内容（宮城県に準じた改正）

(1) 納料表

- ・若年層が在職する号俸に重点を置き、全ての号俸について引上げ

教育職給料表 900 円～13,100 円の引上げ（別表第 1）

事務職給料表 900 円～12,400 円の引上げ（別表第 2）

技能職給料表 900 円～13,600 円の引上げ（別表第 3）

※令和 5 年 4 月 1 日に遡及し改定。（差額支給）

(2) 初任給調整手当（医師）

- ・支給月額の限度を 50,800 円から 51,100 円へ引上げ（別表第 5）

※令和 5 年 4 月 1 日に遡及し改定。（差額支給）

(3) 通勤手当

- ・通勤のため普通自動車等を使用する職員に対する支給月額の限度を 52,500 円から 54,000 円へ引上げ（別表第 6 イ）

※令和 6 年 4 月 1 日に改定。

(4) 期末・勤勉手当

年間計 4.4 月分から 4.5 月分へ引上げ（第 30 条、第 31 条、第 45 条）

- ・賃金規程適用職員の支給月数（副学長、学群長等及び再雇用職員を除く）

年 度		6 月期	12 月期
R05 年度 (※特例 措置)	期末手当	1.20 月（支給済み）	<u>1.25 月</u> （現行 1.20 月）
	勤勉手当	1.00 月（支給済み）	<u>1.05 月</u> （現行 1.00 月）
	計	2.20 月（支給済み）	<u>2.30 月</u> （現行 2.20 月）
R06 年度 以降	期末手当	<u>1.225 月</u>	<u>1.225 月</u>
	勤勉手当	<u>1.025 月</u>	<u>1.025 月</u>
	計	<u>2.25 月</u>	<u>2.25 月</u>

・副学長、学群長等の支給月数

年 度		6 月期	12 月期
R05 年度 (※特例 措置)	期末手当	1. 00 月 (支給済み)	<u>1. 05</u> 月 (現行 1. 00 月)
	勤勉手当	1. 20 月 (支給済み)	<u>1. 25</u> 月 (現行 1. 20 月)
	計	2. 20 月 (支給済み)	<u>2. 30</u> 月 (現行 2. 20 月)
R06 年度 以降	期末手当	<u>1. 025</u> 月	<u>1. 025</u> 月
	勤勉手当	<u>1. 225</u> 月	<u>1. 225</u> 月
	計	<u>2. 25</u> 月	<u>2. 25</u> 月

・再雇用職員の支給月数

年 度		6 月期	12 月期
R05 年度 (※特例 措置)	期末手当	0. 675 月 (支給済み)	<u>0. 70</u> 月 (現行 0. 675 月)
	勤勉手当	0. 475 月 (支給済み)	<u>0. 50</u> 月 (現行 0. 475 月)
	計	1. 15 月 (支給済み)	<u>1. 20</u> 月 (現行 1. 15 月)
R06 年度 以降	期末手当	<u>0. 6875</u> 月	<u>0. 6875</u> 月
	勤勉手当	<u>0. 4875</u> 月	<u>0. 4875</u> 月
	計	<u>1. 175</u> 月	<u>1. 175</u> 月

(5) 昇給制度

- ・55歳を超える職員（技能職員は57歳を超える職員）の昇給号俸数の改正（第10条）

勤務成績が極めて良好な職員	4号俸 → 2号俸
勤務成績が特に良好な職員	3号俸 → 1号俸
勤務成績が良好である職員（標準昇給）	2号俸 → 昇給しない
勤務成績がやや良好でない職員	1号俸 → 昇給しない

3 施行年月日

令和5年12月27日（理事会議決予定日）から施行する。2(1)の給料表及び(2)の初任給調整手当の改正は令和5年4月1日から適用する（差額支給）。2(3)の通勤手当及び(4)の期末手当・勤勉手当の改正は令和6年4月1日から適用し、令和5年12月期の期末手当・勤勉手当について、附則により特例措置を講ずる（差額支給）。

4 新旧対照表

別紙のとおり

令和6年度当初予算原案について

令和6年2月28日
財務・施設担当理事
(第208回理事会決定)

1 基本的考え方

- 令和5年度は、エネルギー価格の高騰による光熱水費急増及び施設・設備の老朽化対応などから支出規模が膨らみ、法人化以来最も厳しい財政状況に直面する中で、前例のない財源制約の状況で予算編成を行ったところである。
- 令和6年度においては、第3期中期計画の4年目となることから、老朽化や物価高騰の対策と並行して、中期計画策定期からの状況の変化に対応した各種事業の展開や設備投資を進めていくこととした。
- 具体的には、令和6年度は「課題解決枠」を新たに設け、社会状況の変化を捉えた教育・研究活動や環境整備の一層の推進と充実に向け、学長の描く大学のあるべき姿を踏まえながら、予算編成を行うとともに、DX推進に寄与するためにリカレント教育に係る経費にも積極的に予算を配分した。

2 主な新規事業

(1) 課題解決枠（総額：29,679千円）

- ・デジタル教材の改修・拡充、機器備品更新：5,176千円 [看護学群教育費]
- ・構想力型人材の育成：3,500千円 [事業構想学群教育改善経費]
- ・顕微鏡の更新及び教員の在外研修助成事業：3,824千円 [食産業学群教育費]
- ・学群将来検討費：1,000千円 [事業構想学群教育改善経費、食産業学群教育改善経費]
- ・英語学習サービスの導入：2,800千円 [基盤教育群教育費]
- ・大学院教育プログラムの構築及び高度化：1,978千円 [事業構想学研究科教育改善経費]
- ・数理・AI・データサイエンス教育の拡充：2,285千円 [カリキュラムセンター経費]
- ・DSCプログラムの実施：1,500千円 [リカレント教育推進経費]
- ・データ収集・分析・共有に係るツール等の導入：3,616千円 [情報戦略推進室経費]
- ・一般向けパンフレットの作成及び広報支援業務の強化：4,000千円 [企画・広報費]

(2) その他

- ・学生のビジネスプランコンテストの実施及び伴走支援：1,500千円
[ネクストリーダーズ基金事業費]
- ・窓口業務（学割証発行等）の電子化：495千円 [学務管理システム運営費]

3 予算編成の内訳

当初予算規模：4,373,908千円（対前年度当初 +218,495千円）

<対前年度当初予算比での主な増額項目> ※新規事業による増額を除く

○教育経費

- ・入試システム改修に伴う増額（対前年度当初：+4,732千円）【アドミッションセンター経費】
- ・学生健康診断費用の増額（対前年度当初：+1,876千円）
【スチューデントサービスセンター経費】

○研究経費

- ・国際学会への参加数の増加に伴う増額（対前年度当初：+1,000千円）【国際学会等派遣旅費】

○教育研究支援経費

- ・洋雑誌等の価格高騰による増額（対前年度当初：+7,162千円）【学術情報センター経費】
 - ・令和5年8月に更新した情報ネットワークシステムの通年支払いによる増額
(対前年度当初：+4,475千円)【情報システムセンター経費】
 - ・リカレント教育に係る経費の増額（対前年度当初：+14,431千円）【リカレント教育推進経費】
- ※リカレント教育推進経費は令和5年9月補正予算にて新設された予算科目

○人件費

- ・役員及び教職員の人件費の増額（対前年度当初：+130,525千円）
- ・定年退職者数の増加による増額（対前年度当初：+19,273千円）【退職手当費用】

○一般管理費

- ・広報支援業務の契約更新等による増額（対前年度当初：+15,928千円）【企画・広報費】

○大規模修繕費

- ・太陽光発電の設置やトイレの洋式化等、新規整備を計画に追加したことによる増額
(対前年度当初：+104,385千円)

○実験実習機器更新費

- ・事業構想学群及び食産業学群の機器調達による増額（対前年度当初：+3,420千円）

<対前年度当初予算比での主な減額項目>

○光熱水費

価格高騰が前年度当初見込より落ち着いたことに伴う減額（対前年度当初：▲82,755千円）

○公用車等経費

前年度特殊要因である太白キャンパスのバス買い替え費用の皆減による減額

(対前年度当初：▲21,429千円)

○施設・環境整備費

前年度特殊要因である太白キャンパス食品加工棟改修工事費用の皆減等による減額

(対前年度当初：▲32,970千円)

[参考] 目的積立金の取崩状況、予算規模の推移等

R5当初残高 A	R5取崩予定額 B	R6予算計上額 C	残高 A-B-C
544,292	22,032	117,541	404,719

※R5未処分利益未反映

■予算規模の推移(当初予算ベース)

(単位:百万円)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
当初規模	3,472	3,274	3,345	3,711	4,006	3,724	3,812	3,997	3,929	4,013
増減率	-	94.3	102.2	110.9	108.0	93.0	102.4	104.9	98.3	102.1
当初規模(新棟除く)	3,472	3,274	3,345	3,711	4,006	3,724	3,812	3,997	3,929	4,013
増減率	-	94.3	102.2	110.9	108.0	93.0	102.4	104.9	98.3	102.1

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
当初規模	4,614	4,408	4,018	3,966	4,155	4,373
うち新棟建設分	688	422				
増減率	115.0	95.5	91.2	98.7	104.8	105.3
当初規模(新棟除く)	3,926	3,986	4,018	3,966	4,155	4,373
増減率	97.8	101.5	100.8	98.7	104.8	105.3

※新棟建設分の実執行額 611百万円 (R1:266百万円 R2:345百万円)

4 今後のスケジュール

- 令和6年2月下旬～3月上旬 部門予算責任者へ予算内示
- 令和6年3月18日（月） 予算案を教育研究審議会へ報告
- 令和6年3月22日（金） 予算案を経営審議会へ付議
- 令和6年3月27日（水） 予算案を理事会へ付議

令和6年度当初予算 原案

<収入>

(単位:千円)

項目	R6当初予算額(案) A	R5当初予算額 B	増減額 A-B	増減率	備 考
運営費交付金 計	2,859,379	2,600,267	259,112	10.0%	
01運営費交付金(経常経費)	2,374,479	2,219,431	155,048	7.0%	
02運営費交付金(大規模修繕費)	442,162	334,357	107,805	32.2%	大規模修繕分増(+104,385) 高額備品分増(+3,420)
03運営費交付金(震災減免)	42,738	46,479	▲ 3,741	▲ 8.0%	授業料減免相当分減(▲3,036) 入学金減免相当分減(▲705)
授業料収入	834,411	812,999	21,412	2.6%	実績に基づく要求に変更
入学金収入	154,841	146,264	8,577	5.9%	実績に基づく要求に変更
検定料収入	29,737	30,468	▲ 731	▲ 2.4%	
受託研究等収入	90,000	85,000	5,000	5.9%	年度計画目標額
受託事業等収入	4,032	4,982	▲ 950	▲ 19.1%	共創C受託事業収入の減(▲950)
寄附金収入	15,630	29,750	▲ 14,120	▲ 47.5%	奨学寄附金について度計画目標額(+880)ほか、R5特殊要因(太白Cバス買い替えに係る後援会からの補助)の減(▲15,000)
補助金収益	113,400	113,400	0	0.0%	授業料等減免費補助金、後援会助成金
雑収入	55,010	61,673	▲ 6,663	▲ 10.8%	科学研究費補助金間接経費収入増(+1,154) 公立大学協会からの負担金収入減等によるその他雑益減(▲6,995)ほか
講習料等収入	1,450	1,522	▲ 72	▲ 4.7%	専門研修受講料減(▲72)
地域振興寄附金取崩	28,237	29,312	▲ 1,075	▲ 3.7%	地域振興寄附金全額取崩見込(▲1,075)
宮城大学ネクストリーダーズ基金積立金取崩	3,700	3,000	700	23.3%	ネクストリーダーズ基金事業の増(+700)
目的積立金取崩	117,541	92,291	25,250	27.4%	收支差額
運営費交付金債務取崩	66,540	144,485	▲ 77,945	▲ 53.9%	
合 計	4,373,908	4,155,413	218,495	5.3%	

<支出>

(単位:千円)

項目	R6当初予算額(案) A	R5当初予算額 B	増減額 A-B	増減率	備 考
教育経費	232,506	206,063	26,443	12.8%	学群経費増(+17,671) アドミッションセンター経費増(+4,732) カリキュラムセンター経費増(+1,982) スクールデベントサービスセンター経費増(+1,876)ほか
研究経費	84,826	83,212	1,614	1.9%	国際学会等派遣旅費増(+1,000) 共同研究費増(+614)
教育研究支援経費	338,071	307,454	30,617	10.0%	学術情報センター経費増(+7,162) 情報システムセンター経費増(+4,475) リカレント教育推進経費増(+15,931) 情報戦略推進室経費増(+3,616)ほか
受託研究費(直接経費)	81,000	76,500	4,500	5.9%	年度計画目標額(直接経費分)
受託事業費	3,977	3,977	0	0.0%	大学入学共通テスト実施経費
補助金事業費	3,400	3,400	0	0.0%	後援会助成金
寄附金事業費	18,549	17,013	1,536	9.0%	年度計画目標額(直接経費分)
人件費(退職手当費用含む)	2,484,126	2,334,328	149,798	6.4%	役員・教職員人件費増(+130,525) 退職手当費用増(+19,273)
一般管理費	676,255	780,073	▲ 103,818	▲ 13.3%	光熱水費減(▲82,755) 公用車等経費減(▲21,429) 施設・環境整備費減(▲32,970) 企画・広報費増(+19,928)ほか
大規模修繕費	388,948	284,563	104,385	36.7%	大和キヤンバス工事分増(+173,191) 太白キヤンバス工事分減(▲68,806)
実験実習機器更新費	62,250	58,830	3,420	5.8%	事業構想分増(+1,110) 食産分増(+2,310)
合 計	4,373,908	4,155,413	218,495	5.3%	

令和 6 年 2 月 28 日
理 事 会 資 料

宮城大学カリキュラムポリシー及び宮城大学大学院カリキュラムポリシー
の一部改正について

1 改正趣旨

- (1) 学修の質保証の向上を図るため「卒業認定・学位授与の方針」（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」及び「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）の策定及び運用に関するガイドライン（平成 28 年 3 月 31 日中央教育審議会大学分科会大学教育部会）に基づき、一部改正を行うもの。
- (2) (1) に加え、看護学研究科博士前期課程及び看護学研究科博士後期課程のカリキュラム改編に伴い、一部改正を行うもの。

2 改正内容

- (1) 学士課程（全学及び各学群）、博士前期課程（全学及び各研究科）及び博士後期課程（全学及び各研究科）のカリキュラムポリシーに、学修の質保証の向上を図るため学修成果の評価の方針を定めるもの。また、博士前期課程（全学及び各研究科）及び博士後期課程（全学及び各研究科）については、学位論文の評価の方針についても定めるもの。
- (2) (1) に加え、看護学研究科博士前期課程及び看護学研究科博士後期課程のカリキュラムポリシーについては、カリキュラム改編に沿って科目編成方針及び指導体制方針について文言を改正するもの。

3 施行年月日

令和 6 年 4 月 1 日から施行し、令和 6 年度入学生より適用する。

なお、令和 5 年度以前の入学者（このポリシーの施行の日以後に令和 5 年度以前の入学者に相当する年次に編入学、転入学又は再入学したものを含む。）については、なお従前の例による。

4 新旧対照表

別紙のとおり

宮城大学学則、宮城大学大学院学則及び教学関係諸規程の一部改正について

1 改正趣旨

(1) 大学設置基準の一部を改正する省令の施行（令和 4 年文部科学省令第 34 号）に伴い、省令の施行に準じて改正が必要な事項及び大学での判断・運用の範囲内で定める必要がある事項について、以下の規程等の一部改正を行うもの。

- ・宮城大学学則（以下「学則」という。） 【議案 2 関係】
- ・宮城大学履修規程（以下「履修規程」という。） 【議案 2 関係】
- ・宮城大学大学院学則（以下「大学院学則」という。） 【議案 2 関係】
- ・宮城大学看護学研究科履修規程（以下「看護学研究科履修規程」という。） 【議案 2 関係】
- ・宮城大学事業構想学研究科履修規程（以下「事業構想学研究科履修規程」という。） 【議案 2 関係】
- ・宮城大学食産業学研究科履修規程（以下食産業学研究科履修規程」という。） 【議案 2 関係】
- ・公立大学法人宮城大学業務アシスタント取扱規程（以下「アシスタント取扱規程」という。） 【議案 3 関係】

※ 大学設置基準の一部を改正する省令改正概要 【参考資料】

- (2) 履修規程については、(1) に加え、生物生産学類においては、令和 6 年度入学生から多様な専門的な学びを履修できるよう一部を改正するもの。
- (3) 大学院学則については、(1) に加え、学校教育法等の関連法令に基づいて入学資格に関する事項を改正するもの。また、カリキュラム改編及び強化等により授業科目編成を変更する看護学研究科及び事業構想学研究科において、別表の講義科目の加除を行うもの。
- (4) 看護学研究科履修規程及び事業構想学研究科履修規程については、(3) 同様にカリキュラム改編及び強化等により授業科目編成を変更する看護学研究科及び事業構想学研究科において、別表の講義科目の加除を行うもの。
- (5) 公立大学法人宮城大学業務アシスタント取扱規程について、(1) に加え、「労働基準法施行規則」及び「有期労働契約の締結、更新及び雇止めに関する基準」が改正され（令和 6 年 4 月 1 日施行），労働条件の明示事項等が変更されることとなったため、所要の改正を行うもの。
- (6) 宮城大学他学群・他学類履修及び他大学等履修に関する実施要綱（以下「他学群・他学類等履修実施要綱」という。）【議案 2 関係】は、学生の多様な学びを実現し、学修の質保証の向上を図るため改正を行うもの。

2 改正内容

(1) 大学設置基準の一部を改正する省令の施行に伴う改正内容

- ・学則第 32 条（1 年間の授業期間）について、大学設置基準の改正の文言を統一し、「定期試験等の期間を含め」を削除するもの。
- ・学則第 36 条（成績の評価・単位の認定）については、大学での判断・運用の範囲内で定める事

項であるため、本学の運用に合わせ改正を行うもの。

- ・履修規程第7条及び第8条（試験、成績評価等）については、大学での判断・運用の範囲内で定める事項であるため、本学の運用に合わせ改正を行うもの。
- ・履修規程第15条（卒業要件）について、大学設置基準の改正に準じて改正を行うもの。
- ・アシスタント取扱規程第3条について、大学設置基準の改正に準じてTA（教育）として任用された学生に対する研修の実施を第5項に加え、規定するもの。
- ・看護学研究科履修規程第8条、事業構想学研究科履修規程第9条及び食産業学研究科履修規程第7条の成績評価等については、大学での判断・運用の範囲内で定める事項であるため、本学運用に合わせ改正を行うもの。

(2) 食産業学群生物生産学類の多様な専門的な学びの履修を促すための改正内容

- ・履修規程別表5 食産業学群生物生産学類（第2条関係）の科目区分「専門科目」のうち、「共通科目」から「専門関連科目」までを含んだ科目から55単位以上を修得することを卒業要件に加える変更を行うもの。

(4) 学校教育法等の関連法令に基づいて改正及びカリキュラム改編及び強化等により改正する大学院学則の改正内容

- ・大学院学則第9条第2号に記載の学校教育法（以下「法」という。）第104条の適用項を訂正するもの。
- ・大学院学則第9条第5号の文言を整理するもの。
- ・学校教育法施行規則（以下「施行規則」という。）155条第1項第7号に規定されている者（他大学院へ飛び入学した者）を入学資格のあるものとして、大学院学則第9条第9号に追加し規定するとともに、規定追加に伴う第9号及び第10号の号番号を整理するもの。
- ・施行規則第156条第5号に規定されている者を入学資格のあるものとして、大学院学則第10条第6号に追加し規定するとともに、規定追加に伴う第6号～第8号の号番号及び文言を整理するもの。
- ・大学院学則37条第2項の文言を整理するもの。
- ・大学院学則第10条の規定改正に伴い、学則第38条第2項第1号に記載の学則第10条の適用号を整理するもの。
- ・大学院学則別表（第31条、第37条、第38条関係）2看護学研究科看護学専攻博士課程（後期3年の課程）の開講科目の加除及び科目名の変更を行うもの。
- ・大学院学則別表（第31条、第37条、第38条関係）3事業構想学研究科事業構想学専攻博士課程（前期2年の課程）の開講科目の加除の変更を行うもの。

(4) カリキュラム改編及び強化等により改正する研究科履修規程の改正内容

- ・看護学研究科履修規程別表（第2条関係）看護学研究科看護学専攻博士課程（後期3年の課程）の開講科目の加除及び科目名の変更を行うもの。
- ・事業構想学研究科履修規程第5条第2項について文言の削除及び別表（第2条関係）事業構想学研究科事業構想学専攻博士課程（前期2年の課程）の開講科目の加除を行うもの。

(5) 「労働基準法施行規則」及び「有期労働契約の締結、更新及び雇止めに関する基準」が改正に伴いアシスタント取扱規程を改正する内容

- ・アシスタント取扱規程第5条第1項第1号に細号を追加し、SA（教育）の業務内容を明確に規定するもの。

- ・アシスタント取扱規程様式第9号（労働条件通知書）へ更新の上限（連続する雇用期間は3年）を明記するとともに、就業の場所及び従事すべき業務の内容を明記できるよう記載欄を設けるもの。また、これらに対応して、様式第1号～第4号及び様式第7号～第8号についても同様に記載欄を設けるもの。

3 施行年月日

令和6年4月1日

4 新旧対照表

別紙のとおり

令和 6 年度当初予算案について

令和 6 年 3 月 27 日
財務担当理事

1 令和 6 年度当初予算案について

令和 6 年度当初予算については、第 3 期中期計画の 4 年目となることから、老朽化や物価高騰の対策と並行し、中期計画策定期からの大学内外の環境変化に対応した各種事業の展開を進めることとし、令和 5 年度に削減した教育・研究予算の復元・引き上げにより、教育・研究活動の活性化を図ると共に、新たに支出予算では、学長主導で「課題解決枠」を設けることで、社会状況の変化及び年度計画に応じた教育・研究活動や環境整備に必要な予算を配分していく方針とする。

[令和 6 年度当初予算規模]

4,373,908 千円（対前年度比 +218,495 千円 (+5.3%)）

(1) 課題解決枠で予算配分を行った主な事業

主な事業	予算額 (千円)	備考
MYU-Town(VR教材)改修費用	2,483	ユーザビリティの向上、コンテンツの拡充(看護)
機器備品更新費費用	2,693	経年劣化による実習モデル等の更新(看護)
構想力型人材育成の育成に向けた教材開発等費用	3,500	コンテンツ開発費用、備品費等(事業構想)
研究科プログラム高度化に向けたプログラム構築等費用	1,978	プログラム構築費用、ライセンス使用料等(事業構想)
学群将来検討費用	500	学群の将来像を構想・検討する費用(事業構想)
顕微鏡更新費用	1,824	実習等で使用する顕微鏡の経年劣化による更新(食産業)
教員の在外研修助成事業	2,000	教員の在外研修に対する助成費用(食産業)
学群将来検討費用	500	学群の将来像を構想・検討する費用(食産業)
英語学習サービス導入費用	2,800	学生のリスニング・スピーキング力強化費用(基盤)
数理・AIデータサイエンス教育拡充費用	2,285	教育コンテンツ導入費用(カリキュラムセンター)
教育経費 計	20,563	
DSCプログラム実施費用	1,500	新規事業創設プログラム開発費用(リカレント教育推進経費)
IR関係の情報分析に係るツール等導入費用	3,616	データ収集・分析・共有ツール等(情報戦略推進室)
教育研究支援経費 計	5,116	
一般向けパンフレット及びノベルティ等作成業務費用	4,000	広報支援業務の強化(企画・広報費)
一般管理費 計	4,000	
計	29,679	

2 収入

人件費及び大規模修繕費にかかる運営費交付金が増額となったほか、学納金の計上について、中期計画見込額から実績額に変更したことから、授業料収入及び入学金収入が増額となり、全体的に増額となっている。

(1) 運営費交付金 : 2,859,379 千円（対前年度比 +259,112 千円 (+10.0%)）

第3期中期計画に基づく宮城県からの措置額を前提に計上。通常分については、ベースアップや職員増員等により人件費相当の補てん分が増額となったほか、大規模修繕分についても、太陽光発電施設設置やトイレの洋式化等、新規整備を計画に追加したことから、その補てん分が前年度比で増額となっている。一方で震災減免補てん分については、前年度実績等に基づき減免額の減額を想定している。

(単位:千円)

	R6	R5	増減額		備考
				率(%)	
通常分	2,374,479	2,219,431	155,048	7.0	人件費増額による補てん額の増
大規模修繕分 (高額備品含む)	442,162	334,357	107,805	32.2	大規模修繕措置見合収入: 379,912(+104,385)
震災減免補てん	42,738	46,479	▲ 3,741	▲ 8.0	R6年度も継続予定
計	2,859,379	2,600,267	259,112	10.0	

[参考]収入全体に対する運営費交付金の占める割合…R5:62.6% → R6:65.4%

(2) 自己収入 : 1,075,449 千円（対前年度比 +22,523 千円 (+2.1%)）

授業料収入及び入学金収入については、令和5年度までは中期計画額（定員*1.04）に基づき計上していたが、中期計画見通しを上回る状況に対応し、実績額に基づく計上方法に変更したことにより増額となっている。

(単位:千円)

	R6	R5	増減額		備考
				率(%)	
授業料収入	834,411	812,999	21,412	2.6	積算方法を実績ベースに改めたことによる増
入学金収入	154,841	146,264	8,577	5.9	
その他	86,197	93,663	▲ 7,466	▲ 8.0	
計	1,075,449	1,052,926	22,523	2.1	

(3) その他

①外部資金 : 223,062 千円（対前年度比 ▲10,070 千円 (▲4.3%)）

受託研究等収入が増加する一方で、寄附金収入は前年度特殊要因から減額となり、全体として前年度比で減額となっている。

(単位:千円)

	R6	R5	増減額		備考
				率(%)	
受託研究等収入	90,000	85,000	5,000	5.9	中期計画目標額
受託事業等収入	4,032	4,982	▲ 950	▲ 19.1	研究推進・地域未来共創センター受託事業収入の減
寄附金収入	15,630	29,750	▲ 14,120	▲ 47.5	奨学寄附金については中期計画目標額 ほか、太白Cバス買い替えに係る後援会からの補助分の減(单年度特殊要因)
補助金等収益	113,400	113,400	0	0.0	授業料等減免費補助金及び後援会助成金(いずれもR5と同額)
計	223,062	233,132	▲ 10,070	▲ 4.3	

②目的積立金取崩：117,541千円（対前年度比 +25,250千円 (+27.4%)）

収支差額を計上。

(単位:千円)

	R6	R5	増減額		備考
				率(%)	
目的積立金取崩	117,541	92,291	25,250	27.4	不足財源補てん分

※令和6年度当初予算時点での目的積立金残高は404,719千円(取崩後の残高見込はP.5「目的積立金の残高推移」参照)

③その他積立金等取崩：98,477千円（対前年度比 ▲78,320千円 (▲44.3%)）

(単位:千円)

	R6	R5	増減額		備考
				率(%)	
地域振興 寄附金取崩	28,237	29,312	▲ 1,075	▲ 3.7	研究推進・地域未来共創センター人件費4名分 (常勤職員3名, 事務補助1名) ※残額相当
ネクストリーダーズ 基金積立金取崩	3,700	3,000	700	23.3	ネクストリーダーズ基金事業に充当
運営費交付金 債務取崩	66,540	144,485	▲ 77,945	▲ 53.9	人件費精算対象となる運営費交付金の執行残見込額(人件費に充当)
計	98,477	176,797	▲ 78,320	▲ 44.3	

3 支出

1 (1) で示した「課題解決枠」の他に、社会状況の変化を捉えながら、教育・研究費用や、施設・設備の維持管理・老朽化等に対する必要な予算を措置することとした。

(1) 教育・研究への対応

主な増額科目	予算額 (千円)	備考
アドミッションセンター経費		
共通テストの変更に伴う入試事務処理システム改修費用の増額	34,848	対前年度比:+4,732千円
スクーデントサービスセンター経費		
学生健康診断費用の契約更新に伴う増額	19,056	対前年度比:+1,876千円
学術情報センター経費		
為替の影響による電子ジャーナル費用等の増額	84,224	対前年度比:+7,162千円
リカレント教育推進経費		
リカレント教育推進に係る本部経費及び各学群の事業費用 (課題解決枠の「DSCプログラム」を含む)	15,931	R5年度9月補正予算時新規創設科目
ネクストリーダーズ基金事業費		
学生ビジネスプランコンテスト事業の採択による増額	3,700	対前年度比:+700千円
実験実習機器更新費		
事業構想学群・食産業学群の実験機器調達費用の増額	62,250	対前年度比:+3,420千円

(2) 組織の充実強化への対応

主な増額科目	予算額 (千円)	備考
教員人件費		
職位別の人数変更による増額	1,603,290	対前年度比:+77,653千円
事務職員人件費		
運営費交付金算定対象職員数の増	487,704	対前年度比:+13,864千円
非常勤事務職員人件費		
勤勉手当の支給見込に伴う増	175,269	対前年度比:36,973千円
職員健康診断費		
職員健康診断業務の契約更新による増	4,060	対前年度比:+3,383千円

(3) 大規模修繕工事

主な増額科目	予算額 (千円)	備考
大規模修繕費		
工事費(大和C7件, 太白C4件)及び次年度工事設計費による増	388,948	大和C 太陽光設備設置等:293,183千円(対前年度比:+173,191千円) 太白C 空調機更新等:86,729千円(対前年度比:▲68,806千円) 発注者支援業務:9,036千円(対前年度比:±0円)

(4) その他支出額

主な増額科目	予算額 (千円)	備考
情報システムセンター経費		
情報ネットワークシステムの契約更新による増(R5.8月契約更新)	188,684	対前年度比:+4,475千円
教員宿舎費		
経年劣化等に伴う維持修繕費の増	3,690	対前年度比:+1,425円

4 財政面について

今後、学生数確保に向けた大学間競争が激化する中で、教育・研究支出に対する財源措置はより必要かつ重要となり、財政面では厳しい局面が継続する。

令和6年度から令和8年度にかけて「課題解決枠」事業を合計1億円実施する計画であり、また足元のエネルギー価格は沈静化しているが、想定外の環境変化に対しても目的積立金の活用は不可欠である。

そのため、収入確保を強化しながら、支出面では中期計画終盤に向け機動的かつ効率的な予算配分を行うとともに、不要不急な経費の削減に努め、目的積立金の維持・積み増しを図っていくことが必要である。

〔参考〕

■目的積立金の残高推移

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
期首残高(A)	625	638	663	674	655	638	369	470	544	522
〔参考〕当初予算取崩額	0	143	119	169	500	419	0	79	92	118
取崩額(B)	135	40	39	30	23	370	0	31	※2 22	※3 118
当期末処分利益(C)	148	65	50	11	6	※1 101	101	105	未反映	未反映
期末残高A-B+C	638	663	674	655	638	369	470	544	522	404

※1 努力認定分(運営費交付金債務収益化分を除く)

※2 現計予算額(最終補正予算後)

※3 当初予算額と同額

■当初予算総額に占める目的積立金取崩計上額の割合

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
当初予算総額(A)	3,812	3,997	3,929	4,013	4,614	4,408	4,018	3,966	4,155	4,374
目的積立金取崩計上額(B)	0	143	119	169	500	419	0	79	92	118
B/A(%)	0.0	3.6	3.0	4.2	10.8	9.5	0.0	2.0	2.2	2.7

5 予算執行について

感染症の影響などから出遅れが目立つ中期計画事業の進捗を進めるとともに、インフレ進行による影響も念頭に予算の適時執行を行う。なお、不測の事態に対しては、機動的・効率的な予算対応も実施していくこととする。

公立大学法人宮城大学 令和6年度当初予算(案)

表1 令和6年度予算(収入)

(単位:千円)

款	項	目	R6当初予算額 A	備 考	R5当初予算額 B	対前年度比 A-B	増減率
01経常収益	01運営費交付金	01運営費交付金(経常経費)	2,374,479		2,219,431	155,048	7.0%
		02運営費交付金(大規模修繕費)	442,162	大規模修繕分:379,912千円 高額備品分:62,250千円	334,357	107,805	32.2%
		03運営費交付金(震災減免)	42,738	前年度実績に基づく減	46,479	▲3,741	▲ 8.0%
		運営費交付金 計	2,859,379		2,600,267	259,112	10.0%
	02授業料収入	01学群・研究科	834,411		812,999	21,412	2.6%
	03入学金収入	01学群・研究科	154,841		146,264	8,577	5.9%
	04検定料収入	01学群・研究科	29,737		30,468	▲731	▲ 2.4%
	05受託研究等収入	01受託研究収入	90,000	年度計画目標額	85,000	5,000	5.9%
		02共同研究収入	0		0	0	
		受託研究等収入 計	90,000		85,000	5,000	5.9%
	06受託事業等収入	01大学入学共通テスト事業収入	3,977		3,977	0	0.0%
		02研究推進・地域未来共創センター収入	55		1,005	▲950	▲ 94.5%
		03その他の受託事業収入	0		0	0	
		受託事業等収入 計	4,032		4,982	▲950	▲ 19.1%
	07寄附金収入	01宮城大学ネクストリーダーズ'基金	0		0	0	
		02宮城大学奨学寄附金収入	15,630	年度計画目標額	14,750	880	6.0%
		03その他寄附金	0		15,000	▲15,000	▲ 100.0%
		寄附金収入 計	15,630		29,750	▲14,120	▲ 47.5%
	08補助金等収入		113,400	授業料等減免費補助金:110,000千円 後援会助成金:3,400千円	113,400	0	0.0%
	09財務収入		0		0	0	
	10雑収入	01各種証明料収入	199		197	2	1.0%
		02科学研究費補助金間接経費収入	24,231	年度計画目標額	23,077	1,154	5.0%
		03教員宿舎賃貸収入	14,296		14,942	▲646	▲ 4.3%
		04その他財産貸付料収入	4,704		4,808	▲104	▲ 2.2%
		05生産物売扱収益	5,260		5,334	▲74	▲ 1.4%
		06その他雜益	6,320	財産貸付に係る光熱水費徵収分の減	13,315	▲6,995	▲ 52.5%
		雜収入 計	55,010		61,673	▲6,663	▲ 10.8%
	11講習料収入	02専門研修受講料	1,450		1,522	▲72	▲ 4.7%
05地域振興寄附金取崩			28,237		29,312	▲1,075	▲ 3.7%
06宮城大学ネクストリーダーズ'基金積立金取崩			3,700		3,000	700	23.3%
07目的積立金取崩			117,541	收支差額	92,291	25,250	27.4%
08運営費交付金債務取崩			66,540		144,485	▲77,945	▲ 53.9%
合 計			4,373,908		4,155,413	218,495	5.3%

表2 令和6年度予算(支出)

(単位:千円)

款	項	目	細目	細々目	R6当初予算額 A	備 考	R5当初予算額 B	対前年度比 (A-B)	増減率
01 経常費用	01 業務費	01 教育経費	01 学群経費	11看護学群教育費	20,007	コピー代337千円含む 看護学研究科教育費から移管(+318千円) デジタル教材改修及び機器備品更新による増	13,092	6,915	52.8%
				12看護学群実験実習費	22,568		22,505	63	0.3%
				看護学群計	42,575		35,597	6,978	19.6%
				21事業構想学群教育費	15,849	コピー代1,070千円含む	16,301	▲452	▲ 2.8%
				22事業構想学群実験実習費	5,170		5,094	76	1.5%
				29事業構想学群教育改善経費	4,000	構想力型人材育成及び学群将来検討費による増	690	3,310	479.7%
				事業構想学部計	25,019		22,085	2,934	13.3%
				31食産業学群教育費	18,645	コピー代272千円含む 顕微鏡更新及び教員の在外研修助成事業による増	15,587	3,058	19.6%
				32食産業学群実験実習費	21,582	動物実験専門委員会開連費用⇒共通研究費へ移管(▲150千円)	19,476	2,106	10.8%
				33食産業学群農場運営管理経費	12,144		13,021	▲877	▲ 6.7%
				39食産業学群教育改善経費	500		0	500	
			01 学業学務費	食産業学部計	52,871		48,084	4,787	10.0%
				41基盤教育群教育費	14,426	コピー代197千円含む 英語学習サービス導入による増	11,454	2,972	25.9%
				学群経費計	134,891		117,220	17,671	15.1%
				11看護学研究科教育費	3,646	看護学群教育費へ移管(▲318千円)	3,884	▲238	▲ 6.1%
		02 研究科経費	21事業構想学研究科教育費	2,315		2,065	250	12.1%	
			29事業構想学研究科教育改善経費	1,978	大学院教育プログラムの構築及び高度化による増	964	1,014	105.2%	
			31食産業学研究科教育費	2,999		2,955	44	1.5%	
		03 全学学務費	研究科経費計	10,938		9,868	1,070	10.8%	
			11アドミッションセンター経費	34,848	大学入学共通テストの科目追加に伴うシステム改修費の増	30,116	4,732	15.7%	
		04 受託研究費	12カリキュラムセンター経費	9,977	数理・AI・データサイエンス教育の拡充による増	7,995	1,982	24.8%	
			13スクールデントサービスセンター経費	19,056	学生健康診断費用増額による増	17,180	1,876	10.9%	
			14キャリア・インターンシップセンター経費	7,672	東京就活ルーム廃止による減	8,699	▲1,027	▲ 11.8%	
			15地域連携実践教育費	15,124		14,985	139	0.9%	
			全学学務費計	86,677		78,975	7,702	9.8%	
		05 受託事業費	教育経費計	232,506		206,063	26,443	12.8%	
			01 基礎的研究費	35,000		35,000	0	0.0%	
	06 受託研究費	01 教員研究費・海外旅費	02特別研究費	35,000		35,000	0	0.0%	
			03国際研究費	2,000		2,000	0	0.0%	
			教員研究費計	72,000		72,000	0	0.0%	
			04国際学会等派遣旅費	2,500	国際学会への参加数の増加に伴う増	1,500	1,000	66.7%	
			02共通研究経費 02共通研究費	10,326	動物実験専門委員会開連費用⇒食産業学群実験実習費から移管(+150千円)	9,712	614	6.3%	
		07 寄附金事業費	研究経費計	84,826		83,212	1,614	1.9%	
			01学術情報センター経費	84,224	図書館端末費用⇒情報システムセンター経費から移管(+1,980千円) 為替による洋雑誌等の増	77,062	7,162	9.3%	
	08 教育研究支援経費	03 教育研究支援経費	02情報システムセンター経費	188,684	図書館端末費用⇒学術情報センター経費へ移管(▲1,980千円) 情報ネットワークシステムの年次支払による増	184,209	4,475	2.4%	
			03国際交流・留学生センター経費	6,772		6,535	237	3.6%	
			04研究推進・地域未来共創センター経費	35,692	研究推進・地域未来共創センター活動報告書作成費用⇒企画・広報費へ移管(▲44千円)	36,323	▲631	▲ 1.7%	
			05学外者教育費 01専門研修経費	1,338		1,522	▲184	▲ 12.1%	
			02リカレント教育推進経費	15,931	R5.9補正での新設予算科目	0	15,931		
			07高大連携事業費	713		702	11	1.6%	
			08情報戦略推進室経費	4,717	データ収集・分析・共有に係るツール等の導入による増	1,101	3,616	328.4%	
			教育研究支援経費計	338,071		307,454	30,617	10.0%	
	09 受託事業費	01 受託研究費	01受託研究費(直接経費)	81,000	年度計画目標額	76,500	4,500	5.9%	
			02共同研究費(直接経費)	0		0	0		
	10 受託事業費	01受託事業費	受託研究費(直接経費)	81,000		76,500	4,500	5.9%	
			02受託事業費	3,977		3,977	0	0.0%	
	11 补助金事業費	01 补助金事業費	01大学入学共通テスト実施経費	3,977		3,977	0	0.0%	
			受託事業費計	3,977		3,977	0	0.0%	
	12 补助金事業費	01 补助金事業費	01補助金事業費	3,400	後援会助成金	3,400	0	0.0%	
			補助金事業費計	3,400		3,400	0	0.0%	
	13 寄附金事業費	01 寄附金事業費	01奨学寄附金研究経費(直接経費)	14,849	年度計画目標額	14,013	836	6.0%	
			02宮城大学ネクストリーダーズ'基金事業費	3,700	海外派遣及び留学支援:2,200千円 学生のビジネスプランコンテスト:1,500千円	3,000	700	23.3%	
			寄附金事業費計	18,549		17,013	1,536	9.0%	

表2 令和6年度予算(支出)

(単位:千円)

款	項	目	細目	細々目	R6当初予算額 A	備 考	R5当初予算額 B	対前年度比 (A-B)	増減率
01 業務費	08 役員人件費	01理事長・副理事長・理事人件費		55,337			55,048	289	0.5%
		02監事人件費		945			945	0	0.0%
		役員人件費計		56,282			55,993	289	0.5%
	09 教員人件費	01教員人件費		1,603,290			1,525,637	77,653	5.1%
		02非常勤教員人件費		45,218			45,460	▲242	▲ 0.5%
		03特任教員人件費		42,632			40,644	1,988	4.9%
		教員人件費計		1,691,140			1,611,741	79,399	4.9%
	10 事務職員人件費	01事務職員人件費		487,704			473,840	13,864	2.9%
		02非常勤事務職員人件費		175,269			138,296	36,973	26.7%
		事務職員人件費計		662,973			612,136	50,837	8.3%
		人件費計		2,410,395			2,279,870	130,525	5.7%
	業務費計				3,172,724		2,977,489	195,235	6.6%
	01 経常費用	01 法人費用	01役員等費用		1,859		1,859	0	0.0%
			02経営審議会費		294		187	107	57.2%
			04弁護士・社労士・会計士・税理士費用		4,136		3,597	539	15.0%
			05会計監査人費用		8,386		7,986	400	5.0%
			07評価関連費用		490		437	53	12.1%
			法人費用計		15,165		14,066	1,099	7.8%
		02 一般管理費	01庁舎管理経費		282,637		281,700	937	0.3%
			02光热水費		196,717		279,472	▲82,755	▲ 29.6%
			03公用車等経費		5,502		26,931	▲21,429	▲ 79.6%
			04事務局経費		31,219		27,916	3,303	11.8%
			05財務会計システム運営費		4,752		6,050	▲1,298	▲ 21.5%
			06給与計算アウトソーシング		634		634	0	0.0%
			07銀行振込手数料		1,042		1,051	▲9	▲ 0.9%
			08職員健康診断費		4,060	教職員健康診断費用増額による増	677	3,383	499.7%
			09職員採用経費		2,009		1,533	476	31.1%
			10産業医		1,536		1,536	0	0.0%
		02事務経費	11公租公課		8,305		7,085	1,220	17.2%
			12事務局職員研修経費		1,589		1,589	0	0.0%
			13学務管理システム運営費		14,374	窓口業務電子化による増	13,242	1,132	8.5%
			14人事給与システム運営費		4,943	保守費用の増	4,246	697	16.4%
			15規程管理システム運営費		0		0	0	
			事務経費計		559,319		653,662	▲94,343	▲ 14.4%
	03 維持修繕費	01建物設備維持管理経費		35,000			33,957	1,043	3.1%
		02施設・環境整備費		8,745	太白C旗立農場トイレ新設分		41,715	▲32,970	▲ 79.0%
		維持修繕費計		43,745			75,672	▲31,927	▲ 42.2%
		04企画・広報費		54,336	研究推進・地域未来共創センター活動報告書作成費用⇒研究推進・地域未来共創センターから移管(▲44千円) 広報支援業務の契約更新、一般向けパンフレットの作成及び広報支援業務の強化による増		34,408	19,928	57.9%
		05教員宿舎費		3,690			2,265	1,425	62.9%
	一般管理費計				676,255		780,073	▲103,818	▲ 13.3%
経常費用計(退職金を除く)				3,848,979			3,757,562	91,417	2.4%
02退職手当費用				73,731	定年退職者数の増		54,458	19,273	35.4%
経常費用計(退職金を含む)				3,922,710			3,812,020	110,690	2.9%
03大規模修繕費				388,948	太陽光発電設置及びトイレの洋式化等の増		284,563	104,385	36.7%
04実験実習機器更新費				62,250	事業:3,455千円 食産:58,795千円		58,830	3,420	5.8%
合 計				4,373,908			4,155,413	218,495	5.3%

議案 3

(議案 3－1－1)

公立大学法人宮城大学基本規則等の一部改正について

1 改正趣旨

運営体制の整理等に伴い、公立大学法人宮城大学基本規則等の一部を改正するもの。

2 主な改正内容

- | | |
|------------------------|----------|
| (1) 運営体制の整理等に伴うもの | (議案 3－2) |
| (2) 教育研究等評価委員会の設置に伴うもの | (議案 3－3) |
| (3) 事務局等の組織改編に伴うもの | (議案 3－4) |
| (4) 財務区分等の整理に伴うもの | (議案 3－5) |

3 参考資料（複数の議案に関係する規則等の新旧対照表等）

- | | |
|----------------------|----------|
| (1) 公立大学法人宮城大学基本規則 | (議案 3－6) |
| (2) 公立大学法人宮城大学危機管理規程 | (議案 3－7) |

議案3

(議案3－2－1)

公立大学法人宮城大学基本規則等の一部改正について

1 改正趣旨

令和5年4月から本学の運営体制を理事長・学長分離型へ移行したこと等に伴い、公立大学法人宮城大学基本規則等の一部を改正するもの。

2 主な改正内容

(1) 公立大学法人宮城大学基本規則の一部改正

- イ 副理事長の規定を学長兼副理事長に変更
(第19条の2第3項, 第20条第3項及び第4項, 第21条第3項及び第4項, 第23条第3項及び第4項, 第24条第3項及び第4項)
- ロ 理事の規定を副学長に変更
(第18条第4項, 第19条の2第3項, 第23条第3項, 第24条第3項)
- ハ 教育及び研究を担当する理事の規定を, 教育及び研究を担当する副学長に変更 (第36条)
- ニ 学系の定義の整理 (第27条)

(2) 関連規程の一部改正

- イ 次の各規程において, 副理事長の規定を学長兼副理事長に変更
公立大学法人宮城大学広報委員会運営規程
公立大学法人宮城大学危機管理規程
公立大学法人宮城大学情報戦略推進会議運営規程
- ロ 次の各規程において, 理事の規定を副学長に変更
公立大学法人宮城大学情報戦略推進会議運営規程
公立大学法人宮城大学教員人事規程
- ハ 次の規程において, 学系の定義を整理
公立大学法人宮城大学学系組織運営規程

3 施行年月日

令和6年4月1日から施行する。

4 新旧対照表等

別添のとおり

議案3

(議案3－3－1)

公立大学法人宮城大学基本規則等の一部改正等について

1 改正趣旨

大学業務の自主的及び自律的で効果的かつ効率的な運営の確保に資するとともに、教育研究等の質の保証と向上を図ることを目的として、令和6年4月1日から新たに教育研究活動等の点検、評価及び改善等を継続的に行うための組織（教育研究等評価委員会）を設置するため、公立大学法人宮城大学基本規則等の一部改正等を行うもの。

2 主な改正内容

(1) 公立大学法人宮城大学基本規則の一部改正

- イ 教育研究等評価委員会の設置に伴う規定の追加（第35条の2、第57条）
- ロ 教育研究等評価委員会の設置に伴い、評価委員会の所掌事項から教育研究等の評価等に係る規定を削除するとともに、構成員について整理（第20条）

(2) 公立大学法人宮城大学評価委員会運営規程の一部改正

- イ 公立大学法人宮城大学教育研究等評価委員会運営規程の制定に伴い、教育研究等の評価等に係る所掌事項の規定を削除（第2条）
- ロ 内部保証実施委員会を、新たに設置する教育研究等評価委員会の下に設置できることとした規程の整備に伴い、内部質保証実施委員会に係る規定を削除するとともに、評価委員会の委員長は所掌事項を処理する上で必要があると認めるときは、教育研究等評価委員会の委員長の同意を得た上で、内部質保証実施委員会に業務を行わせることができる規定を追加

（第7条第3項及び第8条）

(3) 公立大学法人宮城大学教育研究等評価委員会運営規程の制定

教育研究等の質の保証と向上を図るため、教育研究等評価委員会の運営規程を制定（所掌事項、構成員、内部質保証実施委員会の設置 等）

3 施行年月日

令和6年4月1日から施行する。

4 新旧対照表等

別添のとおり

公立大学法人宮城大学基本規則等の一部改正について

1 改正趣旨

令和 6 年 4 月から事務局等の組織改編を行うことに伴い、公立大学法人宮城大学基本規則等の一部を改正するもの。

【組織改編の概要】

- ・ 内部統制及び内部監査の充実強化を図るため、法人に監査室を設置
- ・ 法制執務の強化を図るため、事務局に法務室を設置し、総務課の分掌事務の一部を移管
- ・ 学生の入学から卒業までの支援を一貫して行うため、学務課が分掌する学生支援に関する事務及び企画・入試課が分掌するキャリア・インターンシップに関する事務を担当する学生支援課を設置するとともに、学務課が分掌する教務に関する事務を担当する教務課を設置

2 主な改正内容

(1) 公立大学法人宮城大学基本規則の一部改正

- ・ 教育研究審議会の庶務担当課を学務課から教務課に変更（第 18 条第 7 項）
- ・ 法人運営組織として監査室を設置する規定の追加（目次、第 24 条の 2）
- ・ 事務局に法務室、教務課及び学生支援課を追加（第 41 条第 2 項）

(2) 公立大学法人宮城大学事務組織規程の一部改正

- ・ 事務局の課室として、法務室、教務課及び学生支援課を追加（第 3 条）
- ・ 法務室、教務課及び学生支援課に置くグループの規程を追加（第 4 条）
- ・ 課室の分掌事務に法務室、教務課及び学生支援課を追加し、総務課及び企画・入試課等の分掌事務を整理（第 5 条）

(3) 公立大学法人宮城大学教育研究審議会運営規程等の一部改正

次の各規程の庶務担当課等を変更

公立大学法人宮城大学教育研究審議会運営規程（学務課→教務課）

宮城大学カリキュラムセンター運営規程（学務課→教務課）

宮城大学スクーデントサービスセンター運営規程（学務課→学生支援課）

宮城大学キャリア・インターンシップセンター運営規程

（企画・入試課→学生支援課）

宮城大学キャンパス整備委員会運営規程（学務課→教務課、学生支援課）

公立大学法人宮城大学学術情報センター運営規程

（学務課学術情報室→学術情報室）

公立大学法人宮城大学情報公開規程（総務課→法務室）

公立大学法人宮城大学危機管理規程（学務課→教務課）

公立大学法人宮城大学業務アシスタント取扱規程（学務課→学生支援課）

宮城大学日本学生支援機構奨学金返還免除候補者選考規程

（学務課→学生支援課）

(議案 3－4－1)

(4) 公立大学法人宮城大学の保有する個人情報の保護に関する規程

- ・ 様式第 1 号個人情報ファイル簿
「開示請求等を受理する組織の名称及び所在地」の組織の「名称」中「総務課」を削除（課室名の追記を可能とする。）
- ・ 様式第 3 号から様式第 31 号まで（様式第 14 号、様式第 22 号、様式第 27 号から様式第 30 号までを除く。）
本学の「連絡先」の名称中「総務課」を削除（課室名の追記を可能とする。）

(5) 公立大学法人宮城大学公印規程

公印の管理に関する事務を総括する職員を総務課長から法務室長に変更し、関連する規定を整理（第 3 条第 3 項、第 4 条第 3 項及び第 4 項）

(6) 公立大学法人宮城大学文書規程

文書事務を総括する職員を総務課長から法務室長に変更し、関連する規定を整理（第 4 条、第 8 条第 1 項及び第 2 項、第 11 条第 1 項から第 3 項まで、第 12 条、第 18 条第 1 項、第 19 条）

(7) 公立大学法人宮城大学行政文書管理規程

文書の保存及び廃棄に関する事務を総務課長から法務室長に変更
(第 7 条第 2 項、第 3 項及び第 6 項、第 8 条第 2 項)

3 施行年月日

令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

4 新旧対照表等

別添のとおり

議案 3

(議案 3－5－1)

公立大学法人宮城大学基本規則の一部改正について

1 改正趣旨

財務区分等の規定を整理するため、公立大学法人宮城大学基本規則の一部を改正するもの。

2 主な改正内容

財務区分を部門ごとの区分から予算科目ごとの区分に変更するとともに、予算科目及び予算責任者を別に定める規定に変更（第 54 条）

3 施行年月日

令和 6 年 4 月 1 日から施行する。

4 新旧対照表等

別添のとおり

財務関連規程の一部改正について

1 改正趣旨

規程相互間の重複規定の整理のほか、所要の改正を行おうとするもの。

2 主な改正内容

(1) 公立大学法人宮城大学会計規程の一部改正（議案 10 号）

イ 重複規程の整理

予算編成、監査及び決算等について、基本規則、会計規程、会計規程実施規程及び財務運営要綱等において重複した内容の条文が設定されており、表記内容の違いにより解釈に齟齬が生じるおそれもあることから、その内容を置く規程を明確化するとともに、条文の整理を行うもの。

（第 6 条、第 13 条第 5 項など）

ロ 予算原案に対する学長の意見表明権の明記

「予算原案に関し、学長が理事長に対し意見を申し出ることができる」ことについて、財務運営要綱から上位規程である会計規程での位置付けに改めるもの。

（第 13 条第 4 項）

ハ 補正予算に対する経営審議会の事後承認の義務付けの明記

経営審議会の審議を経ず決定した補正予算の経営審議会での事後承認について、財務運営要綱から上位規程である会計規程での位置付けに改めるもの。

（第 14 条第 2 項）

ニ 契約の基本原則等の規定の整備

契約日及び契約の履行期限等は同一会計年度であることを原則とすることを明確化するとともに、その例外及び内部手続きについて別規程に委ねることを規定するもの。

（第 27 条、第 27 条の 2）

ホ 決算における監査時期の変更

決算財務諸表作成において、会計監査人等の精査・確認を経て経営審議会及び理事会において審議するプロセスを明確化するため、経営審議会での決算の審議前に、監事及び会計監査人の監査を受けることを規定するもの。

（第 40 条第 3 項）

(2) 公立大学法人宮城大学債権管理規程の一部改正（議案 11 号）

イ 督促方法の追加

書面又は口頭により行うこととしている督促について、証拠保全の観点から有益と認められることから、電子メールによる督促ができるよう規定を改めるもの。

（第 6 条第 2 項）

ロ 債務不履行者に対する催告に係る規定の追加

督促等を行ってもなお履行されない債権について、履行の実現に有益であると認めるときや時効の完成を猶予させる必要があるときは、民法 150 条第 1 項に規定する催告を内容証明郵便により債務者に対して行うことを規定するもの。

（第 11 条第 2 項）

(3) 公立大学法人宮城大学資金管理規程の一部改正（議案 12 号）

資金の運用先として現在規定している「信託業務を営む銀行または信託会社」について、地方独立行政法人法第 43 条第 3 号の規定に準じ、「信託業務を営む金融機関（金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（昭和 18 年法律第 43 号）第 1 条第 1 項の認可を受けた金融機関をいう。）」に改めるもの。

（第 11 条第 1 項第 3 号）

(4) 公立大学法人宮城大学契約事務取扱規程の一部改正（議案 13 号）

イ 複数年度契約における契約年数の上限の引き上げ等

法人経営の安定化に資するため、運営費交付金の算定期間（中期計画期間）に合わせた契約を締結できるよう、保守契約や事務機器のリース等の契約年数の上限を、現在の 5 年から 6 年に引き上げるもの。

併せて、半導体などの部品の調達期間が長期化していることから、工事請負契約等における複数年度契約を新たに容認するもの。

（第 4 条の 2 第 1 項）

ロ 高額な複数年度契約を締結する際の理事会の事前承認の義務付け

法人経営への影響の大きさに鑑み、単年度 3,000 万円以上の支払義務が生じる複数年度契約の締結に当たっては、あらかじめ理事会の承認を得ることを義務づけるもの。

（第 4 条の 3 第 1 項）

ハ 郵送に限定した入札の実施

持参又は持参と郵送の併用としている入札書の提出方法について、事務の効率化や競争を促す観点から、郵送に限定できるよう規定を改正するもの。

（第 9 条第 1 項）

二 契約締結期限の延長

契約の相手方が決定した日から 7 日以内としている契約締結期限について、契約事務を適正に行うための事務期間を十分に確保するため、14 日以内に延長するもの。

（第 38 条第 2 項）

(5) 公立大学法人宮城大学入札保証金の免除の特例に関する規程の一部改正（議案 14 号）

公立大学法人宮城大学契約事務取扱規程の改正に伴い条ずれを整理するもの。

（第 2 条）

(6) 公立大学法人宮城大学会計規程実施規程の一部改正（議案 15 号）

イ 規程相互間での重複規定の整理

（第 4 条）

ロ 収納現金の金融機関等への預け入れ期限の延長

現金を収納した際の金融機関等への預け入れ期限について、現金保管の適正化と併せて、業務軽減の観点から、現行の「収納した日の翌日」から「収納した日から 14 日以内」に延長するもの。

（第 11 条第 3 項）

ハ 財務状況報告を行う時期の明記

第 2 四半期までの財務状況を 11 月の理事会において、第 3 四半期までの財務状況を 2 月の理事会において、定例的に報告することを明記するもの。

（第 24 条第 2 項）

(7) 公立大学法人宮城大学震災復興基金規程の一部改正（議案 16 号）

東日本大震災及び震災以外の災害についても基金が活用できることを明確化するため、以下の改正を行うもの。

イ 基金名称の変更

基金名称について、「公立大学法人宮城大学震災復興基金」から「公立大学法人宮城大学災害復興基金」に改めるもの。

(第 1 条)

ロ 設置目的の変更

基金の設置目的について、「東日本大震災等の災害の復興等にあてること」を「災害からの復興等に充てること」に改めるもの。

(第 2 条)

ハ 基金の対象となる災害の拡大

基金を充当できる災害について、地震以外の災害においても活用できるよう「震災に関連し、理事長が必要と認める事業」を「災害に関連し、理事長が必要と認める事業」に改めるもの。

(第 4 条第 4 号)

3 施行年月日

令和 6 年 4 月 1 日

公立大学法人宮城大学会計規程の一部改正について

1 改正趣旨

規程相互間の重複規定の整理のほか、所要の改正を行おうとするもの。

2 主な改正内容

(1) 規程相互間での重複規定の整理

予算編成、監査及び決算等について、基本規則、会計規程、会計規程実施規程及び財務運営要綱等において重複した内容の条文が設定されており、表記内容の違いにより解釈に齟齬が生じるおそれもあることから、その内容を置く規程を明確化するとともに、条文の整理を行うもの。

(第6条、第13条第5項など)

(2) 予算原案に対する学長の意見表明権の明記

「予算原案に関し、学長が理事長に対し意見を申し出ることができる」ことについて、財務運営要綱から上位規程である会計規程での位置付けに改めるもの。

(第13条第4項)

(3) 補正予算に対する経営審議会の事後承認の義務付けの明記

経営審議会の審議を経ず決定した補正予算の経営審議会での事後承認について、財務運営要綱から上位規程である会計規程での位置付けに改めるもの。（第14条第2項）

(4) 契約の基本原則等の規定の整備

契約日及び契約の履行期限等は同一会計年度であることを原則とするとともに、その例外及び内部手続きについて別規程に委ねることを規定するもの。

(第27条、第27条の2)

(5) 決算における監査時期の変更

決算財務諸表作成において、会計監査人等の精査・確認を経て経営審議会及び理事会において審議するプロセスを明確化するため、経営審議会での決算の審議前に、監事及び会計監査人の監査を受けることを規定するもの。

(第40条第3項)

3 施行年月日

令和6年4月1日から施行する。

4 新旧対照表等

別添のとおり

定年年齢の引上げに伴う規程等の新設及び改正について

1 改正趣旨

地方公務員法の一部を改正する法律が令和3年6月11日に公布（令和5年4月1日施行）され、定年が段階的に引き上げられる国家公務員と同様に、設立団体である宮城県においても、職員の定年年齢が、段階的に65歳まで引き上げられることとなった。

また、段階的な定年年齢の引上げと併せ、管理監督職勤務上限年齢制（役職定年制）、定年前再雇用短時間勤務制、給料月額の7割措置等の制度が導入された。

こうした状況を踏まえ、公立大学法人宮城大学職員（就業規則の適用対象である事務職員、技能職員及び業務限定職員に限る。以下同じ。）の定年について、設立団体である宮城県に準じて規程等の新設及び改正を行うもの。

2 改正の内容（宮城県に準じた改正）

(1) 定年年齢の段階的引上げ

- ・職員の現行の定年年齢を令和6年度（施行日）から令和13年度までにかけて、1歳ずつ65歳まで段階的に引き上げる。

※現在、再雇用職員として勤務している者は、暫定再雇用職員（後述）として引き続き勤務可能。

定年年齢	61歳	62歳		63歳		64歳		65歳	
職員の生年	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)
昭和39年度 1964.4.2生～ 1965.4.1生	60歳	61歳	62歳	暫定再雇用職員		※年齢は年度末時点の年齢			
昭和40年度 1965.4.2生～ 1966.4.1生	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	暫定再雇用職員			
昭和41年度 1966.4.2生～ 1967.4.1生	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	暫定再雇用職員	
昭和42年度 1967.4.2生～ 1968.4.1生	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳

(2) 管理監督職勤務上限年齢制（役職定年制）の導入

- ・組織の新陳代謝を確保し、組織活力を維持するため、管理監督職員※1は、原則として60歳に達した日の翌日以後における最初の4月1日に非管理職に降任※2する。

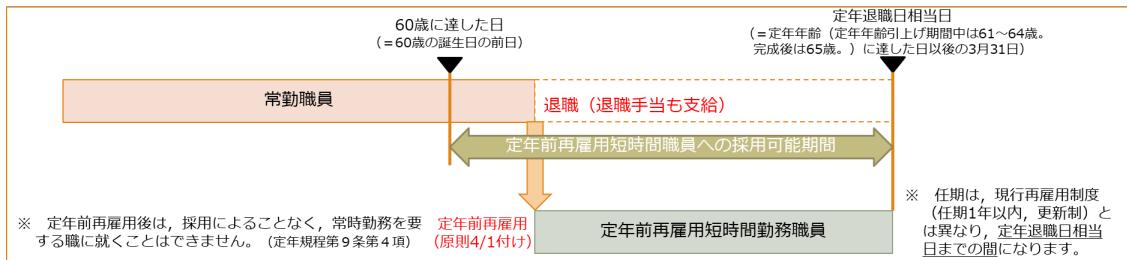
※1 役職定年制の対象とする管理監督職：事務局長、次長、参事、課（室）長、副参事、課（室）長補佐、研究推進・地域未来共創センター副センター長（総括担当）

※2 主幹（4級）への降任

(3) 定年前再雇用短時間勤務制の導入

・高齢期における多様な職業生活設計の支援などを図るため、60歳に達した日以後、定年退職日前に退職した職員を、本人の希望により、短時間勤務の職に採用（任期は常勤職員の定年まで）することができる「定年前再雇用短時間勤務制」を導入する。給料、勤務時間等の扱いは、現行の再雇用短時間勤務職員と同様。

※現行の再雇用制度は廃止する。定年年齢の段階的引上げ期間中に限り、現行の再雇用制度と同様の「暫定再雇用制度」を活用可能（65歳に達する年度末まで勤務可能）。



(4) 60歳を超える職員の給与

イ 給料月額の7割措置

設立団体である宮城県との均衡を図るとともに、民間企業における高齢期雇用の実情等を踏まえ、当分の間、職員の給料月額（いわゆる基本給）を、職員が60歳に達した日後の最初の4月1日以後、7割水準とする（地域手当等、給料月額に連動する手当を含む）。



ロ 管理監督職勤務上限年齢調整額

管理監督職の職員が役職定年による降任をされた場合、給料月額の7割措置に加えて給与が二重に引き下げられることとなるため、当分の間、対象の職員に対して管理監督職勤務上限年齢調整額を給料（基本給）として支給する。（この措置により、降任前に管理監督職として受けていた給料月額の約7割は保障される。）

ハ 60歳に達した職員の退職手当

60歳に達した日以後その者の非違によることなく退職した者の退職手当の基本額は、当分の間、「自己都合退職」の支給率ではなく、「定年退職」の支給率を用いて算定する。

3 施行年月日

令和6年4月1日

4 新旧対照表等

- (1) 公立大学法人宮城大学定年規程（新設）
- (2) 公立大学法人宮城大学賃金規程（改正）
- (3) 公立大学法人宮城大学退職手当規程（改正）
- (4) 公立大学法人宮城大学職員再雇用規程（改正）
- (5) 公立大学法人宮城大学就業規則（改正）
- (6) 公立大学法人宮城大学業務限定職員就業規則（改正）
- (7) 公立大学法人宮城大学職員服務規程（改正）
- (8) 公立大学法人宮城大学事務局長等の職に宮城県退職者を任用する場合の就業条件
の特例に関する規程（改正）
- (9) 公立大学法人宮城大学職員の服務の宣誓に関する規程（改正）
- (10) 事務局職員昇給取扱要綱（改正）

令和 6 年 4 月 24 日
理 事 会 資 料

宮城大学学則の一部改正について

1. 改正趣旨

平成 28 年 2 月 24 日の改正により、平成 29 年 4 月 1 日前に在籍する者が在籍しなくなる日までの間、存続するものとした食産業学部フードビジネス学科について、在籍していた者が全て在籍しなくなつたため、学科を廃止する改正を行うもの。

2. 施行及び廃止年月日

令和 6 年 5 月 1 日施行及び廃止

(廃止の日以前に文科省への学則変更による届出が必要なことから、4 月 24 日理事会決議、5 月 1 日施行及び廃止とする)

3. 改正案新旧対照表 別紙のとおり

4. 改正後全文 別紙のとおり

議案 1

(議案 1－1)

学部の廃止に伴う規程の一部改正等について

1 改正趣旨

令和 6 年 3 月をもって本学に学部生が在籍しなくなったことに伴い、学部が廃止されたことから宮城大学学部教授会運営規程等の一部改正等を行うもの。

2 主な改正内容

(1) 宮城大学学部教授会運営規程の廃止

規程を廃止（附則）

(2) 宮城大学看護学部履修規程の廃止

規程を廃止（附則）

(3) 宮城大学事業構想学部履修規程の廃止

規程を廃止（附則）

(4) 宮城大学食産業学部履修規程の廃止

規程を廃止（附則）

(5) 公立大学法人宮城大学情報システム及び情報資産利用並びに情報セキュリティ対策規程の一部改正

学部学生という文言を削除（第 3 条）

(6) 宮城大学入学会の減免等の特例に関する規程の一部改正

様式において学部という文言を削除（様式第 1 号及び様式第 3 号）

3 施行年月日

令和 6 年 5 月 30 日（理事会議決日）から施行する。

4 新旧対照表等

別添のとおり

議案 2

(議案 2-1)

概要書

宮城大学アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）の一部改正について

令和 6 年 5 月 30 日
第 211 回理事会資料

1. 趣旨

特別選抜帰国子女入試、社会人入試及び外国人留学生入試の試験科目等を変更する。これに伴い、宮城大学アドミッション・ポリシーを一部改正するとともに試験科目等の変更を学外に公表する。

2. 主な改正点

- (1) 特別選抜の試験科目の変更
- (2) 文言の整理（文部科学省の実施要項の見直しに係る予告に倣う変更等）

3. 改正内容

別添「宮城大学アドミッション・ポリシー新旧対照表」のとおり

4. 施行年月日

令和 6 年 5 月 30 日（予定）

以 上

令和5年度

決 算 概 要

第 15 期

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

公立大学法人宮城大学

比較貸借対照表(概要)
(令和6年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	R6.3.31	R5.3.31	前期比較		科目	R6.3.31	R5.3.31	前期比較	
(資産の部)					(負債の部)				
土地	4,631	4,631	0	100.0%	※2 資産見返負債	-	1,960	▲ 1,960	-
建物	5,380	5,470	▲ 90	98.4%	※2 長期繰延補助金等	21	-	21	-
構築物	78	85	▲ 7	91.8%	退職給付引当金	16	10	6	159.8%
機械装置	8	10	▲ 2	80.8%	長期リース債務	432	25	407	1,736.3%
工具器具備品	733	193	540	379.7%	運営費交付金債務	67	144	▲ 78	46.1%
図書	817	810	7	100.8%	寄附金債務	73	91	▲ 18	80.5%
美術品・収蔵品	137	137	0	100.0%	前受受託研究費等	15	8	7	183.4%
建設仮勘定	26	13	13	194.4%	※3 一般未払金	368	372	▲ 4	98.8%
車両運搬具	16	0	16	26,946.1%	短期リース債務	125	20	105	622.1%
特許権	1	-	1	-	その他負債	157	146	11	107.4%
ソフトウェア	21	29	▲ 8	72.6%	負債 合計	1,272	2,776	▲ 1,504	45.8%
特許権仮勘定	1	1	▲ 0	96.1%	(純資産の部)				
投資有価証券	9	6	3	144.5%	資本金	15,516	15,516	0	100.0%
現金及び預金	1,137	1,195	▲ 58	95.1%	資本剰余金合計	▲ 6,365	▲ 6,143	▲ 222	103.6%
※1 未収学生納付金収入	0	-	0	-	うち資本剰余金	686	661	24	103.7%
未収入金	143	118	24	120.3%	うち損益外減価償却累計額	▲ 7,050	▲ 6,804	▲ 246	103.6%
					利益剰余金合計	2,705	544	2,161	497.0%
					うち目的積立金	520	439	81	118.4%
					うち当期末処分利益	2,185	105	2,080	2,081.5%
					その他有価証券評価差額金	9	6	3	146.9%
					純資産 合計	11,865	9,923	1,941	119.6%
資産 合計	13,137	12,700	437	103.4%	負債・純資産 合計	13,137	12,700	437	103.4%

端数処理により、内訳と合計が一致しない場合がある。また、数値がある場合は0、数値がない場合は「-」で表示している。

主な有形固定資産の増加・減少

(単位:百万円)

	期首 (償却累計額差引)	新規取得	当期減価償却 及び除却	期末 (償却累計額差引)
建物	5,470	206	296	5,380
構築物	85	-	7	78
機械装置	10	-	2	8
工具器具備品	193	700	160	733
車両運搬具	0	16	0	16
計	5,758	922	465	6,215

※工具器具備品の新規取得には、情報ネットワークシステム賃貸借

(ファイナンスリース)の取得額604百万円を含む

建設仮勘定内訳

(単位:百万円)

内容	金額
大和C昇降機ほか改修工事実施設計業務	5
大和C機械設備改修工事実施設計業務	4
大和C太陽光発電設備工事実施設計業務	7
大和C電気設備改修工事実施設計業務	4
その他	6
計	26

未収入金内訳		(単位:百万円)
内容	金額	
授業料等減免費補助金	101	
食品低温凍結粉碎コンソーシアム事業	12	
宮城大学後援会助成事業	4	
その他	26	
計	143	

リース債務内訳

(単位:百万円)

内容	長期	短期	計
情報ネットワーク基盤システム	414	117	531
高速プリンタ	16	7	23
IDカード発行システム	2	1	3
計	432	125	557

※1年以内に返済が到来するものは「短期リース債務」に計上

※1 未収学生納付金収入の残高は、過年度に徴収不能引当金を計上済みの535,800円及び当年度未収金267,900円となっている。

※2 会計基準改訂により、資産見返負債が廃止となったため、対前年度比で皆減となっている。なお、前期末の「資産見返補助金等」の残額は、「長期繰延補助金等」へ振り替えている。

※3 一般未払金の相手先のうち、金額の大きい上位10者は財務諸表に内訳を記載している。また、3月に納品及び業務が完了した案件については、4月に業者等への支払を行っている。

比較損益計算表(概要)
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位:百万円)

科目	R6.3.31	R5.3.31	増減	備考 (勘定科目や事業費等の増減については括弧内に+、▲で表示)
経常費用				
※1 教育経費	518	527	▲ 9	水道光熱費(▲11M) 業務委託費(▲10M) 奨学費(▲5M) 減価償却費(+11M) 旅費交通費(+4M) 備品費(+3M)
研究経費	193	198	▲ 5	消耗品費(▲10M) 水道光熱費(▲4M) 旅費交通費(+7M) 備品費(+2M)
※2 教育研究支援経費	302	286	17	賃借料(▲16M) 保守管理費(▲15M) 消耗品費(▲7M) 減価償却費(+56M)
受託研究費	92	78	-13	受託研究費獲得額の増(+23M 106M→129M) 獲得額には過年度繰越分は含まず、次年度繰越分を含む
共同研究費	23	17	-6	共同研究費獲得額の増(+5M 20M→25M) 獲得額には過年度繰越分は含まず、次年度繰越分を含む
受託事業費等	12	56	▲ 45	受託事業費獲得額の減(▲52M 66M→14M) R4は文科省DX事業(49M)があったもの
※3 人件費	2,310	2,205	105	常勤教員人件費(+53M) 常勤事務職員人件費(+49M) 常勤教員数(+4名 135名→139名) 常勤職員数(+6名 同61名→67名) ※期末在籍者数の比較
※4 一般管理費	413	479	▲ 66	修繕費(▲58M) 水道光熱費(▲6M) 租税公課(▲5M) 備品費(▲4M) 減価償却費(+8M)
リース支払利息	7	1	7	情報ネットワークシステム賃貸借業務の新規契約による増
経常費用 合計	3,871	3,847	24	
経常収益				
※5 運営費交付金収益	2,509	2,258	251	通常分(+56M) 大規模修繕・実験実習機器更新分(+195M)
授業料等収益	1,211	1,194	-17	
※6 うち授業料	991	972	-19	会計基準改訂により、授業料財源で取得した固定資産の取得額が全額収益計上される形に変更となつことによる増 ※実入金額はほぼ変動なし
うち入学金	187	191	▲ 4	学群入学者数(+1名 446名→447名) 研究科入学者数(+7名 30名→37名) 県外入学者数(▲22名 200名→178名)
うち検定料	32	30	-2	
うち講習料	1	1	0	看護人材育成研修受講料
※7 受託研究収益	119	93	-26	受託研究費獲得額の増(+23M 106M→129M) 獲得額には過年度繰越分は含まず、次年度繰越分を含む
※7 共同研究収益	27	20	-7	共同研究費獲得額の増(+5M 20M→25M) 獲得額には過年度繰越分は含まず、次年度繰越分を含む
受託事業収益	14	68	▲ 54	受託事業費獲得額の減(▲52M 66M→14M) R4は文科省DX事業(49M)があったもの
※8 補助金収益	131	136	▲ 5	補助金事業費獲得額の減(▲41M 172M→131M) R4は施設災害復旧事業費(46M)があったもの
寄附金収益	53	35	-18	内訳：奨学寄附金15M(▲3M) 地域振興寄附金11M(+2M) その他寄附金26M(+19M) その他寄附金には後援会バス助成(14M)及び科研費による寄附受資産・備品分(11M)を含む
資産見返負債戻入	-	103	▲ 103	会計基準改訂により資産見返負債が廃止となり全額収益化したためR5は0
雑益	54	50	-4	農場収益(+2M) その他雑益(+4M) 宿舎料収入(▲1M)
経常収益 合計	4,118	3,958	160	
経常利益	247	111	136	
臨時損失	41	89	▲ 48	
固定資産除却損	0	0	0	
その他臨時損失	41	83	▲ 42	震災減免41M(▲3M) 施設災害復旧事業費は全額固定資産取得のため災害損失計上なし
過年度損益修正損	-	6	▲ 6	
臨時利益	1,979	83	1,896	
資産見返負債戻入	1,938	0	1,938	会計基準改訂により資産見返負債が廃止となった分の期首収益化額 (運営費分 969M 無償譲渡分 636M 授業料分 311M 寄附金分 22M)
その他臨時利益	41	83	▲ 42	その他臨時損失見合い
過年度損益修正益	-	1	▲ 1	
臨)補助金等収益	0	-	0	過年度補助金で取得した資産の除却分
当期純利益	2,185	105	2,080	
目的積立金取崩額	-	-	0	R5年度は費用充当による取崩はない ※固定資産分取得分は貸借対照表の資本剰余金へ計上
当期総利益	2,185	105	2,080	
減価償却費	473	394	80	
減価償却費(損益内)	227	147	80	
損益外減価償却費	246	246	▲ 0	

端数処理により、内訳と合計が一致しない場合がある。また、数値がある場合は0、数値がない場合は「-」で表示している。

◇経常費用全体について

経常経費全体として、水道光熱費の減少及び感染症の緩和及び情報ネットワークシステムの契約更新が影響している。水道光熱費の減少については、R5年1月より、電気代・ガス代について供給会社へ国の補助があつたことによるものであり、水道光熱費全体として23百万円の減少となっている。

感染症の緩和については、感染症の緩和により、アルコール消毒剤やペーパーなどの消耗品に係る支出が減少し、消耗品費全体として41百万円の減少となっているほか、教員の出張が増え、旅費交通費全体として21百万円の増加となっている。

また、情報ネットワークシステムについては、全体契約額が634百万円、うち固定資産取得額が604百万円となっていることから、減価償却費及び支払利息の増額へ影響を与えており、経常費用全体として24百万円の増加となっている。

※1 教育経費について

旅費交通費の増加のほか、教育に係る高額な実験実習機器を更新したことなどから、減価償却費が11百万円増加した。

一方で、水道光熱費の減額のほか、授業料及び入学金の減免について、修学支援新制度による減免が4百万円減少、また本学独自制度による減免が1百万円減少となり、教育経費全体として9百万円の減少となっている。

※2 教育研究支援経費について

情報ネットワークシステムについて、旧ファイナンスリース契約(①)がR4.8月中旬でリースアップとなり、R4.8月中旬～R5.8月中旬は再リース(②)、R5.8月中旬からは新規ファイナンスリース契約(③)を締結しており、その際に、教員用パソコン・印刷機のファイナンスリース契約及びデザイン研究棟保守業務も当該契約に統合している。

③の当該新規契約についてはその全体(利息相当分除く)を固定資産として計上していることから、①で計上していた保守管理費や、②で計上していた賃借料が計上されなくなり、また統合した2契約にて計上していた保守管理費・賃借料も計上されなくなったことから、保守管理費が15百万円減少、賃借料が16百万円減少となっている。

一方で、③の固定資産取得額が604百万円となり、契約期間が5年であることから、年度あたりの減価償却費が嵩んだ結果、56百万円の増加となり、教育研究支援経費全体として17百万円の増加となっている。

※3 人件費について

常勤教員が4名増となったほか、常勤事務職員について、宮城県へ運営費交付金による精算対象職員の増員を要請し、新たに県OB2名、法令担当1名及び研究支援担当1名の増員が認められたほか、新規職員を採用したことに伴い、トータルで6名増となっていることで、人件費全体として105百万円の増加となっている。

※4 一般管理費について

第3期中期計画期間において進めている大規模修繕工事において、R5年度は固定資産に該当する工事案件が多かつたことから、減価償却費が8百万円増加となっている。

同じく大規模修繕工事においては、費用計上となる(固定資産とならない)照明のLED化更新工事を複数年に渡り計画的に進めているが、年度によりその更新箇所や範囲が異なるため、R4年度の実績が78百万円であったのに対し、R5年度の実績が20百万円であったことにより、修繕費が58百万円減少となり、一般管理費全体として66百万円の減少となっている。

◇経常収益全体について

会計基準改訂により、資産見返負債が廃止となったことに伴い、資産見返負債戻入が皆減となり、103百万円減少している。

一方で、当該改訂に伴い、固定資産を取得した際には、その取得額と同額の収益が取得年度に一括で計上されることになったため、当該改訂の対象財源である運営費交付金、授業料及び寄附金(科学研究費補助金による寄附を含む)については収益が増加し、また、受託研究費や共同研究費の獲得額も増加したため、経常収益全体として160百万円の増加となっている。

※5 運営費交付金収益について

大規模修繕工事について、R4年度が202百万円の実績であったところ、R5年度は空調設備改修工事等の高額な工事が重なり、全体で241百万円の実績となり、39百万円増加した。また、実験実習機器更新についても、R4年度は36百万円の実績であったところ、R5年度は66百万円の実績となり、30百万円増加した。これに加え、会計基準改訂による影響も重なり、251百万円の増加となっている。

※6 授業料収益について

授業料の実入金額は、R4年度が852百万円であるところ、R5年度が859百万円となっており、キャッシュベースではほぼ同額で推移しているが、会計基準改訂の影響により、19百万円の増加となっている。

※7 受託研究収益・共同研究収益について

R5年度の主な獲得案件は以下のとおりである。

(単位:百万円)		
研究課題名	委託元	金額
みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム(EDGE-PRIME)	国立研究開発法人科学技術振興機構	26
みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム	国立研究開発法人科学技術振興機構	25
海山里のつながりが育む自然資源で作るカーボン・サーキュラー・エコノミー拠点	国立研究開発法人科学技術振興機構	17
低温凍結粉碎含水ゲル粉末による食品の革新的長期保存技術の開発	国立大学法人山形大学	16
美食地政学に基づくグリーンジョブマーケットの醸成共創拠点	国立研究開発法人科学技術振興機構	13

(単位:百万円)		
研究課題名	相手方	金額
デザインスタディセンターを活用した価値創造プログラムの開発	アルプスアルパイン株式会社	6
原町IV種品フライアッシュのプレキャストコンクリートへの利用研究	東北電力株式会社・東北発電工業株式会社	3
イムノシンバイオティクスによる子豚の健全育成評価	国立大学法人東北大学	3

※8 補助金等収益について

R5年度の主な獲得案件は以下のとおりである。

(単位:百万円)		
事業名	交付元	金額
授業料等減免費補助金	宮城県	101
全国競馬・畜産振興会畜産振興事業	公益財団法人全国競馬・畜産振興会	18

[参考]目的積立金の残高について

(単位:百万円)

令和5年度 当初残高 (当期未処分利益含む)	令和5年度 決算時点残高	令和5年度未処分利益 (3項積立金相当分)	令和6年度取崩額 (当初予算時点)	令和6年度残高 (見込)
544	520	65	▲ 118	467

議案 3
(議案 3-1)

令和 6 年 6 月 26 日
理 事 会 資 料

公立大学法人宮城大学基本規則の一部改正について

1. 改正趣旨

教育研究審議会において、構成員の適正化及び教員の業務負担軽減を図るため、教育研究審議会構成員の見直しを行うもの。

2. 改正内容

基本規則第 18 条第 4 項第 4 号の教育研究審議会の構成員について、副学群長、基盤教育副群長及び副研究科長を削除するもの。

3. 施行年月日

令和 6 年 6 月 26 日施行

4. 改正案新旧対照表 別紙のとおり

5. 改正後全文 別紙のとおり

【議案 1】

(議案 1－1)

令和 6 年度 9 月補正予算案の概要

令和 6 年 9 月
事務局財務課

1 概要

令和 6 年度 9 月補正予算編成においては、社会情勢の変動及び突発的な事象に係る経費や下半期の教育・研究科に係る経費等について要求を受け付け、結果として、教職員の人員不足に係る対策及び施設の維持管理を中心に予算配分を行った。

なお、補正予算の規模としては、前年度 9 月補正予算と比較して、7 百万円程度の増額であるが、今回の広報支援業務の請差及びリカレント教育事業の外部資金獲得等による 28 百万円の減額を加味すると、実施的な増額配分額は、昨年度の 17 百万円程度に対し、今回補正予算では 46 百万円程度の配分となった。

2 予算規模

(単位：千円)

	令和 6 年度	令和 5 年度（参考）
当初予算額	4,373,908	4,155,413
9 月補正後予算額	4,406,754 (+32,846)	4,181,700 (+26,287)
最終補正後予算額		4,091,796 (▲89,904)

3 支出補正予算の主な内容（外部資金以外）：18,395 千円

〔教育経費〕 ▲1,075 千円

- ・基盤教育群教育費…不要となった費用の減額（▲1,412 千円）
- ・事業構想学研究科教育費…院生等学会発表経費の増額（+337 千円）

〔研究経費〕 ±0 円

- ・特別研究費の増額（+472 千円）及び国際研究費の減額（▲472 千円）

〔教育研究支援経費〕 ▲8,799 千円

- ・リカレント教育推進経費…外部資金獲得による減額（▲9,914 千円）
みやぎテレナース育成プログラム運営における有期雇用職員の雇用費用（+510 千円）
オープンバッジの導入費用（+605 千円）

〔教員人件費〕 +4,832 千円

- ・非常勤教員人件費…非常勤講師任用計画額の増額 (+4,832 千円)

〔事務職員人件費〕 +9,657 千円

- ・非常勤事務職員人件費…労働者派遣業務の委託費用 (+9,657 千円)

〔管理費〕 +13,780 千円

- ・役員等費用…食産業学群 20 周年記念事業に係る費用 (+310 千円)
- ・弁護士、社労士、会計士、税理士費用…会計相談業務の包括契約への変更 (+264 千円)
- ・公用車等経費…車両修理代の増額 (+1,036 千円)
- ・人事給与システム運営費…定額減税実施に伴う改修費用 (+1,265 千円)
- ・建物設備維持管理経費…坪沼農場外周の樹木伐採 (+10,000 千円)
太白キャンパス作動調査棟改修工事 (+12,085 千円)
- ・施設・環境整備費…太白キャンパス旗立農場選果場兼休憩所の設置 (+5,500 千円)
- ・企画・広報費…広報支援業務（第 4 期）の入札請差の減額 (▲16,680 千円)

4 外部資金事業の主な内容：(収支同額) 14,451 千円

- ・受託事業…産業デジタル専門人材育成業務 (+9,914 千円)
- ・補助金…施設災害復旧事業補助金 (+4,537 千円)

5 目的積立金の残高等について

(単位：千円)

①令和 5 年度末残高 (令和 5 年度決算における未処分利益額含む)	584,912
②令和 6 年度当初予算取崩額	▲117,541
③令和 6 年度 9 月補正予算取崩予定額	▲18,395
④令和 6 年度 9 月補正予算時点残高 (①+②+③)	448,976

役員報酬等規程の一部改正について

1 改正趣旨

公立大学法人宮城大学役員の報酬について、設立団体である宮城県の「特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例」の改正等に準じた規程の一部改正を行うもの。

2 改正の内容

(1) 給料（第5条）

理事長及び副理事長の給料を 11,000 円引上げ

(2) 期末特別手当（第7条）

3.4月分から 3.45月分へ引上げ

	年 度	6 月期	12 月期
期末特別手当	R06 年度 (※特例措置)	1.70 月（支給済み）	<u>1.75 月（現行 1.70 月）</u>
	R07 年度以降	<u>1.725 月（現行 1.70 月）</u>	<u>1.725 月（現行 1.70 月）</u>

3 施行年月日

令和6年12月25日から施行し、2(1)の給料の改正は令和6年4月1日から適用する（差額支給）。2(2)の期末特別手当の改正は令和7年4月1日から適用し、令和6年12月期の期末特別手当については、附則により特例措置を講ずる（差額支給）。

4 新旧対照表

別紙のとおり

賃金規程の一部改正について

1 改正趣旨

公立大学法人宮城大学職員の賃金について、設立団体である宮城県の給与条例等の改正に準じた規程の改正を行うもの。(宮城県人事委員会勧告に基づき、宮城県と同様の改正を行うもの。)

2 改正の内容（宮城県に準じた改正）

(1) 給料表（第6条）

- ・若年層が在職する号俸に重点を置き、全ての号俸について引上げ
教育職給料表 4,500円～28,900円の引上げ
事務職給料表 3,600円～26,800円の引上げ
技能職給料表 3,600円～28,000円の引上げ
※令和6年4月1日に遡及し改定。（差額支給）

(2) 初任給調整手当（医師）（第13条）

- ・支給月額の限度を51,100円から51,600円へ引上げ

※令和6年4月1日に遡及し改定。（差額支給）

(3) 期末・勤勉手当（第30条、第31条）

年間計4.5月分から4.6月分へ引上げ

- ・賃金規程適用職員の支給月数（副学長、学群長等及び再雇用職員を除く）

年 度		6月期	12月期
R06 年度	期末手当	1.225 月(支給済み)	<u>1.275 月</u> (現行 1.225 月)
	勤勉手当	1.025 月(支給済み)	<u>1.075 月</u> (現行 1.025 月)
	計	2.25 月(支給済み)	<u>2.35 月</u> (現行 2.25 月)
R07 年度 以降	期末手当	<u>1.25 月</u>	<u>1.25 月</u>
	勤勉手当	<u>1.05 月</u>	<u>1.05 月</u>
	計	<u>2.30 月</u>	<u>2.30 月</u>

・副学長、学群長等の支給月数

年 度		6 月期	12 月期
R06 年度	期末手当	1.025 月(支給済み)	<u>1.075</u> 月(現行 1.025 月)
	勤勉手当	1.225 月(支給済み)	<u>1.275</u> 月(現行 1.225 月)
	計	2.25 月(支給済み)	<u>2.35</u> 月(現行 2.25 月)
R07 年度 以降	期末手当	<u>1.05</u> 月	<u>1.05</u> 月
	勤勉手当	<u>1.25</u> 月	<u>1.25</u> 月
	計	<u>2.30</u> 月	<u>2.30</u> 月

・定年前再雇用短時間勤務職員の支給月数

年 度		6 月期	12 月期
R06 年度	期末手当	0.6875 月(支給済み)	<u>0.7125</u> 月(現行 0.6875 月)
	勤勉手当	0.4875 月(支給済み)	<u>0.5125</u> 月(現行 0.4875 月)
	計	1.175 月(支給済み)	<u>1.225</u> 月(現行 1.175 月)
R07 年度 以降	期末手当	<u>0.7</u> 月	<u>0.7</u> 月
	勤勉手当	<u>0.5</u> 月	<u>0.5</u> 月
	計	<u>1.2</u> 月	<u>1.2</u> 月

3 施行年月日

令和6年12月25日(理事会議決予定日)から施行し、2(1)の給料表及び(2)の初任給調整手当の改正は令和6年4月1日から適用する(差額支給)。2(3)の期末手当・勤勉手当の改正は令和7年4月1日から適用し、令和6年12月期の期末手当・勤勉手当については、附則により特例措置を講ずる(差額支給)。

4 新旧対照表

別紙のとおり

令和6年度最終補正予算（案）

【收入】

(単位：千円)

款・項	目	現計予算額	補正額	補正後予算額	詳細
01 経常収益 01運営費交付金	01運営費交付金（経常経費）	2,374,479	▲ 633	2,373,846	特別措置の光熱費増額分の実績に基づく減額
	02運営費交付金（大規模修繕費）	442,162	▲ 179,029	263,133	施設整備：▲78,861千円（請差及び計画の先送りによる減額） 施設整備（太陽光設備）：▲49,800千円（完成払いが令和7年度予算になつたことによる減額） 施設整備（R5線越分）：8,533千円（大和C昇降機更新に係るR5予算の線越分）※R7.3精算予定 実験実習機器：▲58,901千円（事業構想学群の調達請差及び食産業学群の計画の先送りによる減額）
	03運営費交付金（震災減免）	42,738	▲ 6,157	36,581	減免実績に基づく減額 授業料分：▲4,465千円 入学金分：▲1,692千円
01 経常収益 02授業料収入	01学群・研究科	834,411	39,484	873,895	授業料収入及び減免実績に基づく増額
01 経常収益 03入学金収入	01学群・研究科	154,841	5,123	159,964	減免実績に基づく増額 修学支援分：+3,431千円 震災減免分：+1,692千円
01 経常収益 05受託研究等収入	01受託研究収入	90,000	23,931	113,931	獲得実績に基づく増額 直接経費：+7,950千円（見込額：88,950千円/現計予算額：81,000千円） 間接経費：+15,981千円（見込額：24,981千円/現計予算額：9,000千円）
	02共同研究収入	0	29,556	29,556	獲得実績に基づく増額 直接経費総額：+26,101千円（皆増） 間接経費総額：+3,455千円（皆増）
01 経常収益 07 寄附金収入	02宮城大学奨学生寄附金収入	15,630	▲ 9,007	6,623	獲得実績に基づく減額 直接経費：▲8,378千円（見込額：6,471千円/現計予算額：14,849千円） 間接経費：▲629千円（見込額：152千円/現計予算額：781千円）
01経常収益 08補助金等収入		117,937	3,381	121,318	後援会助成：3,400千円 施設災害復旧事業費補助金：4,537千円 授業料等減免費補助金：95,960千円 ウシの妊娠性向上システムの実用化事業：17,421千円
うち、「授業料等減免費補助金」		110,000	▲ 14,040	95,960	減免所要見込額に基づく減額 相手先：宮城県 授業料分：▲10,967千円 入学金分：▲3,431千円 過年度遡及変更分：358千円
うち、「ウシの妊娠性向上システムの実用化事業」		0	17,421	17,421	相手先：公益財団法人全国競馬・畜産振興会（JRA） 直接経費：14,518千円 間接経費：2,903千円
01 経常収益 10雑収入	02科学研究費補助金間接経費収入	24,231	▲ 10,962	13,269	獲得実績に基づく減額
07 目的積立金取崩		135,936	▲ 77,965	57,971	・ 収支差額 〔参考〕 令和6年度現在目的積立金残高：584,912千円 ※令和5年度決算の当期末処分利益を含む - 令和6年度当初予算取崩予定：117,541千円 - 令和6年度9月補正予算取崩予定：18,395千円 - 令和6年度最終補正予算取崩予定：▲77,965千円 =526,941千円
合計		4,406,754	▲ 182,278	4,224,476	

【支出】

款・項	目	細目・細々目	当初予算額	補正額	補正後予算額	詳細	
01 経常費用 01業務費	01教育経費	01学群経費 29事業構想学群教育改善経費	4,000	▲ 2,000	2,000	所要見込額に基づく減額（課題解決枠）	
		02情報システムセンター経費	188,684	▲ 3,188	185,496	契約請差等の執行残の減額	
	03教育研究支援経費	08情報戦略推進室経費	4,717	▲ 2,500	2,217	統合IRデータベースの構築が不要になったことによる減額	
		01受託研究費（直接経費）	81,000	7,950	88,950	獲得実績に基づく増額（直接経費分のみ）	
	04受託研究費	02共同研究費（直接経費）	0	26,101	26,101	獲得実績に基づく増額（直接経費分のみ）	
		01補助金事業費 うち、「ウシの妊娠性向上システムの実用化事業」	3,400 0	14,518 14,518	17,918 14,518	相手先：公益財団法人全国競馬・畜産振興会（JRA） 直接経費のみ	
	07寄附金事業費	01奨学寄付金研究経費（直接経費）	14,849	▲ 8,378	6,471	獲得実績に基づく減額（直接経費分のみ）	
	09教員人件費	01教員人件費	1,603,290	▲ 37,098	1,566,192	所要見込額に基づく減額 うち、17,296千円を事務職員人件費に充当 うち、3,500千円を非常勤事務職員人件費に充当 うち、16,302千円を退職手当費用に充当	
		01事務職員人件費	487,704	17,296	505,000	所要見込額に基づく増額 (教員人件費より充当)	
		02非常勤事務職員人件費	184,926	3,500	188,426	教員欠員代替職員増員に伴う増額 (教員人件費より充当)	
01 経常費用 02一般管理費	01管理費	02事務経費 01庁舎管理経費	282,637	1,345	283,982	賃率変更に係る有期雇用職員4名分の人件費の増額	
		02事務経費 02光熱水費	196,717	▲ 12,101	184,616	所要見込額に基づく減額	
		02事務経費 03公用車等経費	6,538	500	7,038	大和C分：▲200千円（不用額による減） 太白C分：700千円（車両修理費等の追加による増） ※増額分は事務局経費の減額分を充てる	
		02事務経費 04事務局経費	31,219	▲ 1,666	29,553	総務G分：▲65千円（通信運搬費減） 情報・施設G分：▲1,464千円（物品費減、コピー費減） 総務・予算G分：▲137千円（旅費減、物品費減、通信運搬費減、負担金減）	
		03維持修繕費 01建物設備維持管理経費	57,085	▲ 9,585	47,500	太白C作動調査棟の解体工事以外（建築申請・基礎工事・プレハブ小屋納品・連結工事・電源工事等）を先送りすることによる減額	
		03維持修繕費 02施設・環境整備	14,245	▲ 14,245	0	太白C旗立農場の屋外トイレ設置及び選果場兼休憩所の設置を先送りすることによる減額	
02退職手当費用			73,731	16,302	90,033	所要見込額に基づく増額 (教員人件費より充当)	
03大規模修繕費			388,948	▲ 120,128	268,820	契約請差及び計画の先送りによる減額 運営費交付金財源分：▲120,128千円	
04実験実習機器更新費			62,250	▲ 58,901	3,349	事業構想学群の調達請差額：▲106千円 食産業学群の計画の先送りによる減額：▲58,795千円	
合計			4,406,754	▲ 182,278	4,224,476		

III 各審議会・委員会等の名簿

公立大学法人宮城大学 役員

(定款第8条、基本規則第6条)

令和6年4月1日現在

職名	氏名	摘要
理事長	佐野好昭	
副理事長	佐々木啓一	学長
理事（教育担当）	西川正純	副学長
理事（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）	風見正三	副学長
理事（総務・人事労務担当）（企画・広報担当）	佐々木靖彦	
理事（財務・施設担当）	工藤和浩	
監事	西村晃一	任期：令和8年度財務諸表承認日まで
監事	柴田純一	任期：令和8年度財務諸表承認日まで

※1 定例理事会は、原則、毎月末水曜日午後3時から、大会議室で開催

担当：総務課

公立大学法人宮城大学 主要構成員

令和6年4月1日現在

職名	氏名	摘要
学長	佐々木 啓一	副理事長
副学長（教育、学生支援、キャリア支援担当）	西川 正純	理事
副学長（研究、学術情報、産学地域連携担当）	風見 正三	理事、図書館長、最高情報責任者(CIO)、研究推進・地域未来共創センター長、研究委員会委員長、研究費審査会委員長
副学長（国際展開、将来構想担当）	三石 誠司	
副学長（広報、DEI 担当）	森本 素子	
副学長（評価、カリキュラム担当）	蒔苗 耕司	
○学群・研究科		
看護学群長兼看護学研究科長	菅原 よしえ	
事業構想学群長兼事業構想学研究科長	蒔苗 耕司	副学長
食産業学群長兼食産業学研究科長	井上 達志	
基盤教育群長	川島 滋和	
○教育推進センター等		
アドミッションセンター長	笠原 紳	
〃 高大連携推進室長	高山 純人	
カリキュラムセンター長	齊藤 奈緒	
〃 コモンズ運営室長	三好 俊文	
〃 地域連携実践教育推進室長	平岡 善浩	
スクーデントサービスセンター長	西川 正純	(再掲)
〃 健康支援室長	花里 陽子	
キャリア・インターンシップセンター長	瀧田 一夫	
〃 キャリア開発室長	須田 義人	キャリア・インターンシップセンター副センター長
〃 インターンシップ開発室長	内田 直仁	キャリア・インターンシップセンター副センター長
キャンパス整備委員会委員長	平岡 善浩	(再掲)
○全学センター		
学術情報センター長	茅原 拓朗	出版会長
〃 出版会長	茅原 拓朗	(再掲)
情報システムセンター長	太田 賢	
国際交流・留学生センター長	曾根 洋明	
研究推進・地域未来共創センター長	風見 正三	(再掲)
○図書館、CIO、附属農場、事務局		
図書館長	茅原 拓朗	(再掲)
最高情報責任者(CIO)	風見 正三	(再掲)
附属農場長	中村 聰	
事務局長	小野寺 明	

公立大学法人宮城大学 経営審議会委員

(定款第19条、基本規則第16条)

<令和5年4月1日～令和7年3月31日>

令和6年4月1日現在

	構成	根拠規定 基本規則	氏名	摘要
1	理事長	1号	佐野好昭	
2	副理事長	〃	佐々木啓一	学長
3	理事（財務・施設担当）	〃	工藤和浩	
4	理事長が指名する役職員	〃	西川正純	理事（教育担当）
5	〃	〃	風見正三	理事（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）
6	理事長が任命する有識者 (五十音順)	2号	石井幹子	(公社)宮城県看護協会会长
7	〃	〃	大山健太郎	アイリスグループ会長
8	〃	〃	小野和宏	宮城県町村会理事兼事務局長
9	〃	〃	佐藤勘三郎	宮城県中小企業団体中央会会长
10	〃	〃	里見進	(独)日本学術振興会顧問 東北大学名誉教授、前東北大学総長
11	〃	〃	田中正人	(株)菫匠三全顧問
12	〃	〃	吉岡敏明	(大)東北大学大学院環境科学研究科教授

※ 経営審議会は、年2回、大会議室で開催

担当：企画・入試課

公立大学法人宮城大学 教育研究審議会委員

(定款第23条、基本規則第18条)

令和6年4月1日現在

	職名	根拠規定 基本規則19条	氏名	摘要
1	学長	1号	佐々木啓一	副理事長
2	理事（教育担当）	3号	西川正純	副学長
3	理事（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）	〃	風見正三	副学長
4	理事（総務・人事労務担当）（企画・広報担当）	〃	佐々木 靖彦	
5	理事（財務・施設担当）	〃	工藤和浩	
一	副学長（教育、学生支援、キャリア支援担当）	4号	西川正純	(再掲)
一	副学長（研究、学術情報、産学地域連携担当）	〃	風見正三	(再掲)
6	副学長（国際展開、将来構想担当）	〃	三石誠司	
7	副学長（広報、DEI 担当）	〃	森本素子	
8	副学長（評価、カリキュラム担当）	〃	蒔苗耕司	
9	看護学群長兼看護学研究科長	5号	菅原よしえ	
一	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	〃	蒔苗耕司	
10	食産業学群長兼食産業学研究科長	〃	井上達志	
11	基盤教育群長	〃	川島滋和	
12	看護学群副学群長	〃	花里陽子	
13	事業構想学群副学群長	〃	平岡善浩	
14	食産業学群副学群長	〃	森田明	
一	食産業学群副学群長	〃	森本素子	(再掲)
15	基盤教育群副群長	〃	河西敏幸	
16	看護学研究科副研究科長	〃	谷津裕子	
17	事業構想学研究科副研究科長	〃	糟谷昌志	
18	食産業学研究科副研究科長	〃	須田義人	
19	アドミッションセンター長	6号	笠原紳	
20	カリキュラムセンター長	〃	齊藤奈緒	
一	スクーデントサービスセンター長	〃	西川正純	(再掲)
21	キャリア・インターナシッポンセンター長	〃	澁田一夫	
一	キャンパス整備委員会委員長	〃	平岡善浩	(再掲)
22	学術情報センター長	7号	茅原拓朗	
23	情報システムセンター長	〃	太田賢	
24	国際交流・留学生センター長	〃	曾根洋明	
一	研究推進・地域未来共創センター長	〃	風見正三	(再掲)
25	事務局長	8号	小野寺明	

※ 教育研究審議会は、原則、毎月第3水曜日午後2時30分から、大会議室で開催

担当：教務課

公立大学法人宮城大学 情報戦略推進会議 (基本規則第19条の2)

- ① 法人保有情報の収集・活用等方針に関すること
- ② 法人保有情報の収集、管理及び分析に関すること
- ③ 法人保有情報の活用による理事会、経営審議会、教育研究審議会その他の法人又は大学の組織における審議等の支援に
関すること
- ④ その他法人保有情報に関し理事会が必要と認める事項に関すること

令和6年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘要
委員長	理事長	佐野 好昭	
副委員長	学長兼副理事長	佐々木 啓一	
	理事（教育担当）	西川 正純	
	理事（研究、学術情報、産学地域連携担当）	風見 正三	
	理事（総務・人事労務担当）（企画・広報担当）	佐々木 靖彦	
	理事（財務・施設担当）	工藤 和浩	
	副学長（国際展開、将来構想担当）	三石 誠司	
	副学長（広報、DEI 担当）	森本 素子	
	副学長（評価、カリキュラム担当）	蒔苗 耕司	
	看護学群長兼看護学研究科長	菅原 よしえ	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	蒔苗 耕司	(再掲)
	食産業学群長兼食産業学研究科長	井上 達志	
	基盤教育群長	川島 滋和	
	アドミッションセンター長	笠原 紳	
	カリキュラムセンター長	齊藤 奈緒	
	スチューデントサービスセンター長	西川 正純	(再掲)
	キャリア・インターンシップセンター長	瀧田 一夫	
	キャンパス整備委員会委員長	平岡 善浩	
	学術情報センター長	茅原 拓朗	
	情報システムセンター長	太田 賢	
	国際交流・留学生センター長	曾根 洋明	
	研究推進・地域未来共創センター長	風見 正三	(再掲)
	事務局長	小野寺 明	

※ 担当：企画・入試課

公立大学法人宮城大学 評価委員会

(基本規則第20条)

- ① 法人の中期計画及び年度計画(原案の策定、実施案の策定、執行管理、報告書作成)に関すること
- ② 法人の自己点検評価及び外部評価に関すること
- ③ その他理事長から検討を指示された事項

令和6年4月1日現在

役職	職名	氏名	摘要
委員長	副理事長	佐々木 啓一	
副委員長	理事(総務・人事労務担当)(企画・広報担当)	佐々木 靖彦	
	理事(教育担当)	西川 正純	
	理事(研究、学術情報、産学地域連携担当)	風見 正三	
	理事(財務・施設担当)	工藤 和浩	
	副学長(国際展開、将来構想担当)	三石 誠司	
	副学長(広報、DEI 担当)	森本 素子	
	副学長(評価、カリキュラム担当)	蒔苗 耕司	
	看護学群長兼看護学研究科長	菅原 よしえ	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	蒔苗 耕司	(再掲)
	食産業学群長兼食産業学研究科長	井上 達志	
	基盤教育群長	川島 滋和	
	アドミッションセンター長	笠原 紳	
	カリキュラムセンター長	齊藤 奈緒	
	スクーデントサービスセンター長	西川 正純	(再掲)
	キャリア・インターンシップセンター長	瀧田 一夫	
	キャンパス整備委員会委員長	平岡 善浩	
	学術情報センター長	茅原 拓朗	
	情報システムセンター長	太田 賢	
	国際交流・留学生センター長	曾根 洋明	
	研究推進・地域未来共創センター長	風見 正三	(再掲)
	事務局長	小野寺 明	

※ 担当:企画・入試課

公立大学法人宮城大学 広報委員会

(基本規則第21条)

- ① 広報に関する基本方針の策定に関すること
- ② 各種メディアを活用した広報活動に関すること
- ③ 広報活動に関する学内等との連絡調整に関すること
- ④ その他広報に関すること

令和6年4月1日現在

役職	職名	氏名	摘要
委員長	副理事長	佐々木 啓一	学長
副委員長	副学長(広報、DEI 担当)	森本 素子	
	理事(総務・人事労務担当)(企画・広報担当)	佐々木 靖彦	
	看護学群長兼看護学研究科長	菅原 よしえ	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	蒔苗 耕司	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	井上 達志	
	基盤教育群長	川島 滋和	
	学術情報センター長	茅原 拓朗	
	情報システムセンター長	太田 賢	
	国際交流・留学生センター長	曾根 洋明	
	研究推進・地域未来共創センター長	風見 正三	
	事務局長	小野寺 明	

※ 担当:企画・入試課

公立大学法人宮城大学 懲戒審査会 (基本規則第22条)

- ① 職員の懲戒に関すること
- ② 当該職員が所属する学群長、研究科長、センター又は事務局長その他管理監督者に係る管理者責任の有無及び程度に関すること
- ③ その他理事長が必要と認める事項

令和6年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘要
委員長	理事（総務・人事労務担当）（企画・広報担当）	佐々木 靖彦	
	理事（教育担当）	西川 正純	
	看護学群長兼看護学研究科長	菅原 よしえ	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	蒔苗 耕司	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	井上 達志	
	基盤教育群長	川島 滋和	
	事務局長	小野寺 明	

※ 担当：総務課

公立大学法人宮城大学 兼業審査会 (基本規則第23条)

- ① 技術移転事業者の役員等（監査役を除く。）の兼業許可に関すること
- ② 研究成果活用企業の役員等（監査役を除く。）の兼業許可に関すること
- ③ 株式会社又は有限会社の監査役の兼業に関するこ
- ④ その他理事長が必要と認める事項

令和6年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘要
委員長	副理事長	佐々木 啓一	学長
	理事（総務・人事労務担当）（企画・広報担当）	佐々木 靖彦	
	副学長（研究、学術情報、产学地域連携担当）	風見 正三	研究推進・地域未来共創センター長
	看護学群長兼看護学研究科長	菅原 よしえ	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	蒔苗 耕司	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	井上 達志	
	基盤教育群長	川島 滋和	
	アドミッションセンター長	笠原 紳	
	カリキュラムセンター長	齊藤 奈緒	
	スチューデントサービスセンター長	西川 正純	
	キャリア・インターナシップセンター長	瀧田 一夫	
	キャンパス整備委員会委員長	平岡 善浩	
	学術情報センター長	茅原 拓朗	
	情報システムセンター長	太田 賢	
	国際交流・留学生センター長	曾根 洋明	
	研究推進・地域未来共創センター長	風見 正三	(再掲)
	事務局長	小野寺 明	

※ 担当：総務課

公立大学法人宮城大学 研修審査会 (基本規則第24条)

- ① 国内派遣研修（研修期間が1月以上のものに限る。）の承認に関すること
- ② 海外派遣研修（研修期間が1月以上のものに限る。）の承認に関すること
- ③ 学外自主研修に関すること
- ④ 大学院修学研修に関すること
- ⑤ その他理事長が必要と認める事項

令和6年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘要
委員長	副理事長	佐々木 啓一	学長
	理事（総務・人事労務担当）（企画・広報担当）	佐々木 靖彦	
	副学長（教育、学生支援、キャリア支援担当）	西川 正純	
	当該申請に係る学群長等	—	
	事務局長	小野寺 明	

※ 担当：総務課

公立大学法人宮城大学 学群・研究科役職員構成

(基本規則第30条・32条・33条)

令和6年4月1日現在

職 名	氏 名	摘要
看護学群長兼看護学研究科長	菅原 よしえ	
看護学群副学群長	花里 陽子	
看護学研究科副研究科長	谷津 裕子	
事業構想学群長兼事業構想学研究科長	薄苗 耕司	
事業構想学群副学群長	平岡 善浩	
事業構想学研究科副研究科長	糟谷 昌志	
食産業学群長兼食産業学研究科長	井上 達志	
食産業学群副学群長	森田 明	
食産業学群副学群長	森本 素子	
食産業学研究科副研究科長	須田 義人	
基盤教育群長	川島 滋和	
基盤教育群副群長	河西 敏幸	

公立大学法人宮城大学 教員人事委員会

(基本規則第35条)

- ① 教員の採用に係る選考に関すること
- ② 教員の再任に係る審査に関すること
- ③ 教員の昇任に係る選考に関すること
- ④ 教員の評価及び教員資格審査に関すること
- ⑤ その他理事長が必要と認める事項

令和6年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘要
委員長	学長	佐々木 啓一	副理事長
委員長代理	理事（総務・人事労務担当）（企画・広報担当）	佐々木 靖彦	
	副学長（教育、学生支援、キャリア支援担当）	西川 正純	
	副学長（研究、学術情報、産学地域連携担当）	風見 正三	
	副学長（広報、DEI 担当）	森本 素子	
	当該人事に係る学群長等	—	
	学長が定める委員	—	

※ 担当：総務課

公立大学法人宮城大学 教育研究等評価委員会

(基本規則第35条の2)

- ① 教育研究等の状況に係る自己点検評価に関すること
- ② 認証評価に関すること
- ③ 大学の内部質保証システムに関すること
- ④ その他学長から検討を指示された事項に関すること

令和6年4月1日現在

役職	職名	氏名	摘要
委員長	学長	佐々木 啓一	副理事長
副委員長	副学長（評価、カリキュラム担当）	蒔苗 耕司	
	理事（教育担当）	西川 正純	
	理事（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）	風見 正三	
	副学長（国際展開、将来構想担当）	三石 誠司	
	副学長（広報、DEI 担当）	森本 素子	
	理事（総務・人事労務担当）（企画・広報担当）	佐々木 靖彦	
	理事（財務・施設担当）	工藤 和浩	
	看護学群長兼看護学研究科長	菅原 よしえ	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	蒔苗 耕司	（再掲）
	食産業学群長兼食産業学研究科長	井上 達志	
	基盤教育群長	川島 滋和	
	アドミッションセンター長	笠原 紳	
	カリキュラムセンター長	齊藤 奈緒	
	スクーデントサービスセンター長	西川 正純	（再掲）
	キャリア・インターナシップセンター長	瀧田 一夫	
	キャンパス整備委員会委員長	平岡 善浩	
	学術情報センター長	茅原 拓朗	
	情報システムセンター長	太田 賢	
	国際交流・留学生センター長	曾根 洋明	
	研究推進・地域未来共創センター長	風見 正三	（再掲）
	事務局長	小野寺 明	

※ 担当：企画・入試課

公立大学法人宮城大学 研究委員会 (基本規則第36条)

- ① 研究の推進に関すること。
- ② 教員研究費、外部研究資金等の研究費及び国際学会等派遣旅費に関すること。
- ③ 研究倫理に関すること。
- ④ 発明、特許等知的財産に関すること。
- ⑤ その他理事長から検討を指示された事項に関すること。

令和6年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘要
委員長	理事（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）	風見 正三	副学長
	理事（教育担当）	西川 正純	
	理事（財務・施設担当）	工藤 和浩	
	副学長（研究、学術情報、産学地域連携担当）	風見 正三	(再掲)
	学術情報センター長	茅原 拓朗	
	情報システムセンター長	太田 賢	
	国際交流・留学生センター長	曾根 洋明	
	研究推進・地域未来共創センター長	風見 正三	(再掲)
	看護学群	高橋 和子	
	事業構想学群	千葉 克己	
	食産業学群	毛利 哲	
	基盤教育群	山本 まゆみ	
	基盤教育群	M・ウィルソン	
	看護学研究科	武田 和久	
	事業構想学研究科	櫻木 晃裕	
	食産業学研究科	北辻 政文	

※ 担当：研究推進・地域未来共創センター

公立大学法人宮城大学 研究費審査会 (基本規則第37条)

- ① 海外研究費の配分に関すること
- ② 指定研究費の配分に関すること

令和6年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘要
委員長	副学長（研究、学術情報、産学地域連携担当）	風見 正三	
	理事（財務・施設担当）	工藤 和浩	
	看護学群長兼看護学研究科長	菅原 よしえ	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	蒔苗 耕司	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	井上 達志	
	基盤教育群長	川島 滋和	
	学術情報センター長	茅原 拓朗	
	情報システムセンター長	太田 賢	
	国際交流・留学生センター長	曾根 洋明	
	研究推進・地域未来共創センター長	風見 正三	(再掲)

※ 担当：研究推進・地域未来共創センター

公立大学法人宮城大学 教育推進センター等役職員構成

(基本規則第38条)

令和6年4月1日現在

職名	氏名	摘要(主として勤務する学群・群)
アドミッションセンター長	笠原 紳	食産業学群
アドミッションセンター副センター長	風間 逸郎	看護学群
〃	藤澤 由和	事業構想学群
〃	菰田 俊一	食産業学群
〃	三浦 幸平	基盤教育群
高大連携推進室長	高山 純人	事業構想学群
高大連携推進室副室長	伊吹 竜太	食産業学群
〃	金井 典子	基盤教育群
カリキュラムセンター長	齊藤 奈緒	看護学群
カリキュラムセンター副センター長	三上 千佳子	看護学群
〃	石内 鉄平	事業構想学群
〃	中村 茂雄	食産業学群
〃	菅原 謙	基盤教育群
コモンズ運営室長	三好 俊文	基盤教育群
コモンズ運営室副室長	後藤 熱	食産業学群
地域連携実践教育推進室長	平岡 善浩	事業構想学群
地域連携実践教育推進室副室長	佐々木 秀之	事業構想学群
〃	中沢 峻	事業構想学群
スチューデントサービスセンター長	西川 正純	食産業学群
スチューデントサービスセンター副センター長	沢田 淳子	看護学群
〃	千葉 克己	事業構想学群
〃	柳澤 満則	食産業学群
〃	河西 敏幸	基盤教育群、健康支援室副室長
健康支援室長	花里 陽子	看護学群
健康支援室副室長	平泉 拓	看護学群
〃	河西 敏幸	(再掲)
キャリア・インターンシップセンター長	濵田 一夫	事業構想学群
キャリア・インターンシップセンター副センター長	竹本 由香里	看護学群、キャリア開発室副室長
〃	内田 直仁	事業構想学群、インターンシップ開発室長
〃	須田 義人	食産業学群、キャリア開発室長
キャリア開発室長	須田 義人	(再掲)
キャリア開発室副室長	竹本 由香里	(再掲)
〃	伊藤 真市	事業構想学群
インターンシップ開発室長	内田 直仁	(再掲)
インターンシップ開発室副室長	丹治 朋子	食産業学群
キャンパス整備委員会委員長	平岡 善浩	(再掲)
キャンパス整備委員会副委員長	岩井 孝尚	食産業学群

公立大学法人宮城大学 全学センター役職員構成

(基本規則第39条)

令和6年4月1日現在

職名	氏名	摘要(主として勤務する学群・群)
学術情報センター長	茅原 拓朗	事業構想学群、出版会長
学術情報センター副センター長	木村 真子	看護学群
〃	小林 仁	食産業学群
出版会長	茅原 拓朗	(再掲)
出版会副会長	三上 浩司	食産業学群
情報システムセンター長	太田 賢	事業構想学群
情報システムセンター副センター長	萩原 潤	看護学群
〃	高橋 信人	事業構想学群
〃	木村 和彦	食産業学群
国際交流・留学生センター長	曾根 洋明	基盤教育群
国際交流・留学生センター副センター長	小松 容子	看護学群
〃	土岐 謙次	事業構想学群
〃	川島 滋和	食産業学群
〃	山本 まゆみ	基盤教育群
研究推進・地域未来共創センター長	風見 正三	事業構想学群
研究推進・地域未来共創センター副センター長(総括担当)	佐藤 憲治	研究推進・地域未来共創センター
研究推進・地域未来共創センター副センター長(総括担当)	千葉 章	研究推進・地域未来共創センター
研究推進・地域未来共創センター副センター長(企画担当)	庄子 真樹	研究推進・地域未来共創センター
研究推進・地域未来共創センター副センター長	金子 さゆり	看護学群
〃	佐々木秀之	事業構想学群
〃 兼太白分室長	金内 誠	食産業学群
〃	三好 俊文	基盤教育群

公立大学法人宮城大学 図書館、附属農場、CIO 役職員構成

(基本規則第39条・40条、

食産業学群附属農場管理運営規程第3条、最高情報責任者等の設置に関する規程2条・3条) 令和6年4月1日現在

職名	氏名	摘要(主として勤務する学群・群)
最高情報責任者(CIO)	風見 正三	事業構想学群、図書館長
最高情報責任者(CIO)代理	茅原 拓朗	事業構想学群、図書館副館長
図書館長	茅原 拓郎	(再掲)
図書館副館長	小林 仁	食産業学群
附属農場長	中村 聰	食産業学群
附属農場副農場長(旗立農場)	中村 茂雄	食産業学群
〃(坪沼農場)	須田 義人	食産業学群

公立大学法人宮城大学 事務局幹部職員構成

(基本規則第43条)

令和6年4月1日現在

職名	氏名	摘要
事務局長	小野寺 明	
〃 次長	佐々木道晴	
〃 総務課長	石川 秀晴	
〃 財務課長	後藤 尊之	
〃 企画・入試課長	藤田 信治	
〃 学務課長兼学術情報室長	吉川 陽大	
〃 太白事務室長	佐藤 尚志	

IV その他業務実績評価の実施に当たり根拠となる資料